

事業年度	令和8年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	中大工-3

課長	係長	検算	設計

工事名 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。

積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市 教育委員会事務局 教育総務課

当初 設計書

工事番号	中大工-3	工事箇所	可児市 臯ヶ丘 地内	施設名	東可児小学校
工事名	可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）				
理 由			工 事 概 要		
<p>本工事は東可児中学校において、令和5年度に策定した「可児市小中学校トイレ改修計画」に基づき、経年により老朽化して環境が悪化したトイレの環境改善と共に、洋式化やバリアフリー化を図り、多様性へ十分配慮したトイレを整備するものである。</p>			<p>建築工事 一式 ・躯体改修工事 ・防水改修工事 ・建具改修工事 ・内装改修工事 ・塗装改修工事</p> <p>電気設備工事 一式 ・電灯設備工事 ・コンセント設備工事 ・弱電設備工事</p> <p>機械設備工事 一式 ・冷暖房設備工事 ・換気設備工事 ・衛生器具設備工事 ・給水設備工事 ・排水通気設備工事</p>		
金 額		円	内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書					
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工物品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて 本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm²以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm²以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について 本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。 「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>					

7. 電子納品について
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人を兼務することができる。
1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。
なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鋸を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう十分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について
工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。
13. 統一の一斉休工の取組について
(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー(中部地区統一の一斉休工)」に取組むものとする。
なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。
(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。
(巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く)
14. その他
(1) 学校の児童や先生、来校者への安全対策に配慮すること。また、学校運営に支障が無いようにするため、学校や教育委員会と事前に仮設計画や工程等に関する協議を行うこと。
(2) 工事共通仕様
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版
(3) 工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書
(条件明示)

工事名 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 期間 (~)
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ()
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ()	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input type="checkbox"/> A. 施工時期 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 9. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 (学校運営に支障がないよう配慮すること。)
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ No.) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 () <input type="checkbox"/> C. 内容 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 () <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 () <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
公 害 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 騒音 (学校運営に支障がないよう配慮すること。) <input checked="" type="checkbox"/> B. 振動 (学校運営に支障がないよう配慮すること。) <input type="checkbox"/> C. 水質 () <input type="checkbox"/> D. その他 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. 土壌汚染対策法に関する届出	<input type="checkbox"/> A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 石綿含有に関する事前調査	<input checked="" type="checkbox"/> A. 発注者による含有調査 (含有有り) <input type="checkbox"/> B. 受注者による含有調査 <input type="checkbox"/> C. 調査結果の報告 (一定規模以上)
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. フロン回収あり <input type="checkbox"/> B. その他 ()
安 全 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input checked="" type="checkbox"/> C. 時間制限あり (登下校時間帯)
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 3. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間(No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間(No. ~) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 4. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり () <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ()
	<input type="checkbox"/> 5. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 () <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 (学校敷地内及び学校周囲通行時徐行)
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 () <input type="checkbox"/> C. 路面工 () <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 () <input type="checkbox"/> E. 構造 () <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 () <input type="checkbox"/> B. 内容 ()
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生廃棄物係	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地 (押土、敷均、締固等) 必要 <input type="checkbox"/> D. 整地 (押土) 必要
	<input type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 () <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地 (押土、敷き均し、転圧) あり <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 () <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり (運搬距離 km) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋戻し <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり () <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 () <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 () <input type="checkbox"/> B. 場所 () <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 (km) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可児市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コブリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり (電気)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (R 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり (電話)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (R 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり (水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (R 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり (下水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (R 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり (ガス)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 (R 年 月 頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり (マンホール蓋、仕切り弁蓋等)	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 () <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ()
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり (その他)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 () <input type="checkbox"/> B. 移設時期 (別途協議)
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 ()
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
再生材使用	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. RC <input checked="" type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材 (30% 再生) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材 (100% 再生) <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 () <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ()
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 () <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ()
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 () <input type="checkbox"/> B. 安全費 () <input type="checkbox"/> C. 営繕費 () <input type="checkbox"/> D. 地域連携 ()
	<input type="checkbox"/> 4. 「可児市工物品質証明実施要領」該当あり	<input type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲 () <input type="checkbox"/> B. 時期 ()
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ()

記号	工事名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)						
A	建築工事		1.0	式			
E	電気設備工事		1.0	式			
M	機械設備工事		1.0	式			
I	直接工事費 計		1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1.0	式			
	総合計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
A	建築工事						
(1)	管理・特別教室棟						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	躯体改修工事		1.0	式			
3	防水改修工事		1.0	式			
4	建具改修工事		1.0	式			
5	内装改修工事		1.0	式			
6	塗装改修工事		1.0	式			
7	外構改修工事		1.0	式			
8	撤去工事		1.0	式			
9	発生材処理		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し		1.0	式			別紙明細1-1
	養生		1.0	式			別紙明細1-2
	整理清掃後片付け		1.0	式			別紙明細1-3
	内部仕上足場		1.0	式			別紙明細1-4
	仮設間仕切り		1.0	式			別紙明細1-5
	外部足場		1.0	式			別紙明細1-6
	災害防止		1.0	式			別紙明細1-7
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	躯体改修工事						
	2.1 地業		1.0	式			
	2.2 鉄筋		1.0	式			
	2.3 コンクリート		1.0	式			
	2.4 型枠		1.0	式			
	計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.1	地業						
	砕石地業	再生砕石	4.8	m3			
	防湿シート	厚0.15	48.3	m2			
	土間下断熱	ポリスチレンフォーム3種b 厚25	48.3	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.2	鉄筋						
	異形鉄筋	SD295 D10	0.3	t			
	異形鉄筋	SD295 D13	31.9	kg			
	鉄筋加工組立		0.3	t			
	鉄筋運搬費		0.3	t			
	あと施工アンカー	D10 横打ち金属系	420.0	箇所			
	溶接費	D13 溶接長 片面10d以上	64.0	箇所			
	溶接金網	φ 6 100x100	47.1	m2			
	スクラップ控除	へビーH2	13.5	kg			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.3	コンクリート						
	普通コンクリート	土間 Fc21-18	7.5	m3			
	普通コンクリート	嵩上げ Fc21-18	3.8	m3			
	普通コンクリート	躯体 Fc21-18	0.6	m3			
	構造体補正		1.0	式			別紙明細書3
	コンクリート打設手間		1.0	式			別紙明細書4
	ポンプ°圧送		1.0	式			別紙明細書5
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2.4	型枠						
	普通合板型枠	地上軸部	3.9	m ²			
	型枠運搬費		3.9	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水改修工事						
	シーリング	SR-1 10x10	34.3	m			
	シーリング	MS-2 10x10	14.6	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	建具改修工事						
	SD-1		4.0	か所			
	SD-2		1.0	か所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	内装改修工事						
	5.1 床		1.0	式			
	5.2 巾木・壁		1.0	式			
	5.3 天井		1.0	式			
	5.4 その他		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.1	床						
	コンクリート直均し	金ゴテ 張物下地	95.4	m2			
	ビニル床シート	抗菌性・防滑性厚2	104.0	m2			
	汚垂石		5.5	m2			
	モルタル塗	厚30	2.9	m2			
	既設配管部モルタル閉鎖		1.0	式			別紙明細6
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.2	巾木・壁						
	不燃メラミン化粧板	厚3 タイル・モルタル下地直張り 不陸調整共	280.0	m2			
	不燃メラミン化粧板	厚3 ボード下地	141.0	m2			
	シーリング石膏ボード	GB-S 準不燃 厚12.5 突き付け工法	143.0	m2			
	軽量鉄骨壁下地	65型 直張り用	148.0	m2			
	軽量鉄骨壁下地	90型 直張り用	21.1	m2			
	軽量鉄骨壁下地 開口補強	300角程度	1.0	箇所			
	軽量鉄骨壁下地 開口補強	600角程度	4.0	箇所			
	SUS巾木	H60	147.0	m			
	SUS小口枠	SUS304 t1.5 曲げ加工 幅95	26.0	m			
	耐火間仕切壁	GB-F21+21片面張り LGS65共	15.2	m2			
	耐火壁周囲シーリング	耐火シーリング 片面	41.8	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.3	天井						
	化粧石膏ボード	GB-D 準不燃 厚9.5 突き付け工法	113.0	m2			
	石膏ボード	GB-R 準不燃 厚9.5 突き付け工法	2.0	m2			
	軽量鉄骨天井下地	19型 直張り用 @300	67.7	m2			
	軽量鉄骨天井下地 開口補強	ホ-ト切込み共450x450程度	20.0	箇所			
	天井点検口	額縁タイプ 450x450	20.0	箇所			
	塩ビ廻り縁		176.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5.4	その他						
	TB-1		4.0	箇所			
	TB-2		4.0	箇所			
	TB-3		1.0	箇所			
	TB-4		1.0	箇所			
	TB-5		2.0	箇所			
	ポストフォーム面台	W125	17.2	m			
	掃除道具掛け	W600	8.0	箇所			
	掃除道具掛け	W300	1.0	箇所			
	サイン	平付型 200x200 (8-44-1)	10.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	塗装改修工事						
	天井						
	EP塗り	石こうボード面 素地ごしらえB種 工程B種	2.0	m			
	建具						
	SOP塗り	亜鉛メッキ面 素地ごしらえB種 工程B種	6.3	m ²			
	さび止め塗装	亜鉛メッキ面A種	6.3	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	外構改修工事						
	砕石地業	再生砕石	0.8	m3			
	捨てコンクリート		1.0	式			別紙明細書7
	異形鉄筋	D10	57.7	kg			
	異形鉄筋	D13	0.1	t			
	鉄筋加工組立		0.1	t			
	鉄筋運搬費		0.1	t			
	スクラップ控除	へビーH2	2.2	kg			
	あと施工アンカー	D10 横打ち 金属系	68.0	箇所			
	普通コンクリート	Fc18-18	1.7	m3			
	コンクリート打設手間		1.0	式			別紙明細書8
	モルタル塗	厚30	8.4	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	撤去工事						
	8.1 床 撤去		1.0	式			
	8.2 巾木・壁 撤去		1.0	式			
	8.3 天井 撤去		1.0	式			
	8.4 その他 撤去		1.0	式			
	8.5 外構 撤去		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.1	床 撤去						
	土間コンクリート撤去	厚120 ハンドブレーカ	4.8	m3			
	コンクリートカッター入れ		90.6	m			
	砕石撤去		4.8	m3			
	ビニル床シート撤去	石綿材含有 接着剤共 下地モルタル残置	33.6	m ²			
	テラゾーブロック沓摺撤去	50×50	10.8	m			
	モルタル撤去		11.7	m ²			
	タイル撤去	下地モルタル共	80.7	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.2	巾木・壁 撤去						
	タイル撤去	下地モルタル共	30.7	m ²			
	コンクリートブロック撤去	間仕切り	5.1	m ³			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.3	天井 撤去						
	ケイカル板撤去	石綿含有レベル3撤去	116.0	m ²			
	LGS天井下地撤去		69.8	m ²			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.4	その他 撤去						
	和便器撤去	配管別途	8.0	箇所			
	室名札撤去		8.0	箇所			
	面台撤去	テラゾーブロック	27.5	m			
	SUS流し撤去		6.0	箇所			
	鋼製建具撤去	600角	4.0	箇所			
	鋼製建具撤去	300角	1.0	箇所			
	トイレブース撤去	TB1	4.0	箇所			
	トイレブース撤去	TB2	4.0	箇所			
	トイレブース撤去	TB3	1.0	箇所			
	トイレブース撤去	TB4	1.0	箇所			
	トイレブース撤去	TB5	1.0	箇所			
	手洗いカウンター撤去	人工大理石カウンター W1400×D600×H750	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8.5	外構 撤去						
	土間コンクリート撤去	厚120 ハンドブレイカ	1.9	m3			
	コンクリートカッター入れ		18.6	m			
	砕石撤去		0.8	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	発生材処理						
	積込・運搬	コンクリートがら(無筋)	12.3	m3			
	積込・運搬	砕石	5.7	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック 石綿含有	0.1	m3			
	積込・運搬	ガラス・コンクリート・陶器くず類	1.5	m3			
	積込・運搬	ボード類 石綿含有	0.7	m3			
	積込・運搬	ボード類	4.4	m3			
	積込・運搬	鉄くず	0.5	t			
	積込・運搬	ステンレスくず	0.8	kg			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1-1	墨出し						
	墨出し	仕上	123.0	m ²			
	小計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1-6	外部足場						
	外部足場	枠組み足場 W1200 高さ20m未満 存置2カ月	51.9	m ²			
	最上部安全手すり	存置2カ月	16.8	m			
	伸縮ブラケット足場	各階1段	1.0	式			別紙明細書2
	小計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	発生材処分(建築)						
	発生材処分	コンクリートがら(無筋)	36.4	m3			
	発生材処分	砕石	12.5	m3			
	発生材処分	アスファルト類	0.2	m3			
	発生材処分	廃プラスチック 石綿含有	0.2	m3			
	発生材処分	陶磁器くず	3.8	m3			
	発生材処分	ボード類 石綿含有	1.7	m3			
	発生材処分	ボード類	10.8	m3			
	発生材処分	混合物	1.5	m3			
	有価物	鉄くず	1.3	t			
	有価物	ステンレスくず	3.1	kg			
	有価物	アルミくず	56.6	kg			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯（幹線）設備工事						
	ケーブル	600V EM-CE 8mm2-3C 管内(PF)	12.0	m			
	電線	600V EM-IE 5.5mm2 管内(PF)	24.0	m			
	電線管	PF-S 36 隠ぺい	12.0	m			
	電灯分電盤	1 L - 1 A - 1	1.0	面			
	電灯分電盤	1 L - 2 A - 1	1.0	面			
	電灯分電盤	1 L - 3 A - 1	1.0	面			
	既設1階電灯分電盤 1 L - 1 A改修費	主開閉器一次側幹線取出し	1.0	式			
	既設2階電灯分電盤 1 L - 2 A改修費	主開閉器一次側幹線取出し	1.0	式			
	既設3階電灯分電盤 1 L - 3 A改修費	主開閉器一次側幹線取出し	1.0	式			
	既設コンクリート壁貫通穴明け	コア抜き 補修共	1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯（照明）設備工事						
	ケーブル	EM-EEF 1.6mm-2C ころがし	115.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6mm-3C ころがし	184.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6mm-3C 管内(PF)	24.0	m			
	電線管	PF-S 22 隠ぺい	24.0	m			
	アウトレットボックス	中四角 浅型 カバー付 樹脂製	10.0	個			
	アウトレットボックス	中四角 深型 カバー付 樹脂製	35.0	個			
	熱線センサ付自動スイッチ	天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型	10.0	個			
	熱線センサ付自動スイッチ	天井付型 親子式・子機 広角検知型	10.0	個			
	熱線センサ付自動スイッチ	天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 間欠運転付	10.0	個			
	(自,切,手)切替スイッチ	2回路型 P:ガード型(鍵付)	10.0	個			
	LED照明器具	A 3 2 1 H	15.0	台			
	LED照明器具	C 3 2 1 H	10.0	台			
	LED照明器具	E 1 0 0	19.0	台			
	LED照明器具	E 1 5 0	10.0	台			
	既設配線接続費	既設調査含む	1.0	式			
	既設コンクリート壁貫通穴明け	コア抜き 補修共	1.0	式			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	電灯（コンセント）設備工事						
	ケーブル	EM-EEF 1.6mm-2C ころがし	16.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 1.6mm-2C 管内(PF)	15.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0mm-3C ころがし	332.0	m			
	ケーブル	EM-EEF 2.0mm-3C 管内(PF)	84.0	m			
	電線管	PF-S 16 隠ぺい	15.0	m			
	電線管	PF-S 22 隠ぺい	84.0	m			
	アウトレットボックス	中四角 浅型 カバー付 樹脂製	46.0	個			
	アウトレットボックス	中四角 深型 カバー付 樹脂製	10.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×1(E極ET付) P:新金属	35.0	個			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	火災報知設備工事						
	ケーブル	EM-AE 1.2mm-4C ころがし	1.0	m			
	アウトレットボックス	中四角 深型 カバー付 樹脂製	1.0	個			
	定温式スポット型感知器	1種 確認灯付	4.0	個			
	既設配線接続費	既設調査含む	1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
(1)	管理・特別教室棟						
1	冷暖房設備		1.0	式			
2	換気設備		1.0	式			
3	衛生器具設備		1.0	式			
4	給水設備		1.0	式			
5	排水通気設備		1.0	式			
6	仮設給水設備		1.0	式			
7	発生材処理		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	冷暖房設備						
	ドレン管(便所配管)	JIS K 6741 VP 30	16.0	m			
	既設管接続		1.0	式			
	コア抜き		1.0	式			
	保温工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	換気設備						
	天井換気扇	FE-1	10.0	台			
	換気ダクト	SPD φ150	20.0	m			
	既設ダクト接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-1	12.0	組			
	腰掛便器	既設品再取付	3.0	組			
	壁掛小便器	U-1	11.0	組			
	洗面カウンター	ML-2	9.0	組			
	洗面カウンター	ML-3	1.0	組			
	掃除用流し	SK-1	9.0	組			
	L型手摺り	TR-1	10.0	組			
	小便器用手摺り	TR-4	5.0	組			
	化粧鏡	M-1	20.0	枚			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
4	給水設備						
	給水管(便所配管)	JIS K 6742 HIVP 50	6.0	m			
	給水管(便所配管)	JIS K 6742 HIVP 40	4.0	m			
	給水管(便所配管)	JIS K 6742 HIVP 30	5.0	m			
	給水管(便所配管)	JIS K 6742 HIVP 25	13.0	m			
	給水管(便所配管)	JIS K 6742 HIVP 20	39.0	m			
	給水管(便所配管)	JWWAK-116 SGP-VB 80	2.0	m			
	給水管(便所配管)	JWWAK-116 SGP-VB 65	4.0	m			
	給水管(便所配管)	JWWAK-116 SGP-VB 50	30.0	m			
	給水管(便所配管)	JWWAK-116 SGP-VB 40	10.0	m			
	給水管(便所配管)	JWWAK-116 SGP-VB 32	8.0	m			
	給水管(便所配管)	JWWAK-116 SGP-VB 25	16.0	m			
	給水管(便所配管)	JWWAK-116 SGP-VB 20	78.0	m			
	弁類	GV-80	1.0	個			
	弁類	GV-65	1.0	個			
	弁類	GV-50	5.0	個			
	弁類	GV-40	1.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	バルブ名札	樹脂製	8.0	個			
	既設管接続		1.0	式			
	コア抜き		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	保温工事		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5	排水通気設備						
	排水管(便所配管)	JIS K 6741 VP 100	58.0	m			
	排水管(便所配管)	JIS K 6741 VP 75	42.0	m			
	排水管(便所配管)	JIS K 6741 VP 65	16.0	m			
	排水管(便所配管)	JIS K 6741 VP 50	8.0	m			
	排水管(便所配管)	JIS K 6741 VP 40	17.0	m			
	排水管(便所配管)	FDPD(VP) 100	56.0	m			
	排水管(便所配管)	FDPD(VP) 75	23.0	m			
	排水管(便所配管)	FDPD(VP) 65	37.0	m			
	排水管(便所配管)	FDPD(VP) 50	13.0	m			
	排水管(便所配管)	FDPD(VP) 40	27.0	m			
	通気管(便所配管)	JIS K 6741 VP 75	1.0	m			
	通気管(便所配管)	JIS K 6741 VP 65	11.0	m			
	通気管(便所配管)	JIS K 6741 VP 50	5.0	m			
	通気管(便所配管)	JIS K 6741 VP 40	10.0	m			
	通気管(便所配管)	FDPD(VP) 100	9.0	m			
	通気管(便所配管)	FDPD(VP) 75	19.0	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	通気管(便所配管)	FDPD(VP) 65	24.0	m			
	通気管(便所配管)	FDPD(VP) 50	14.0	m			
	通気管(便所配管)	FDPD(VP) 40	13.0	m			
	床上掃除口	CIR 65	30.0	個			
	満水継手	100A	6.0	個			
	既設管接続		1.0	式			
	コア抜き		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
6	仮設給水設備						
	給水管(便所配管)	JIS K 6742 HIVP 40	10.0	m			
	既設管切断接続		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	発生材処理						
	積込・運搬	鉄くず	4.9	ton			
	積込・運搬	保温くず	2.4	m3			
	積込・運搬	廃プラ	0.1	m3			
	積込・運搬	陶器くず	0.7	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	発生材処分(機械)						
	処分費	鉄くず	4.90	ton			
	処分費	保温くず	2.40	m3			
	処分費	廃プラ	0.10	m3			
	処分費	陶器くず	0.70	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	共通仮設費(積上げ分)						
	仮囲い		1.0	式			別紙明細 共通仮設1
	小計						
	改め計						

① 共通事項	③④ 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。																
	③⑤ 事故防止策	安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。 1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 2) 墜落制止用器具は一連の作業において親綱の架け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集(下記URL参照)の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2) 当該工事内容等の周知徹底 3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4) 当該工事における災害対策訓練 5) その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishuu.html																
	③⑥ 工事着手前協議	受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を確認し、受注者及び発注者側が現場状況を把握の上、設計と現場との整合性及び問題点を整理した後に、工事着手協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。																
	③⑦ 県産材の利用	「公共施設県産材利用推進方針」(岐阜県)に基づいて県産材利用促進に取り組む。																
	③⑧ 用語の読み替え	「日本工業規格」を「日本産業規格」に読み替える。 「改正工業標準化法(平成16年6月9日公布 法律第95号)」、「工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布 法律95号)」、「改正工業標準化法(平成16年6月)をそれぞれ「産業標準化法」に読み替える。 適用日を令和元年7月1日とする。																
	③⑨ その他	ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について 1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。 2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。																
	② 仮設工事	①騒音・粉じん等対策	(2.1.3) ・防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・足場全面 ○粉じん飛散防止対策(仮設間仕切り)															
		②足場等	(2.2.1)(表2.2.1) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同おける2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ○設置する(設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・) ・設置しない 防護シート ○設置する(設置範囲 ○工事に必要な範囲 ・) ・設置しない 内部足場 ○設置する(脚立、足場板等 ・) ・設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ○E種) C種: 利用可能なエレベーター () D種: 利用可能な階段 (基本はE種とし、窓より搬出不可の) 物のみとする。															
		③既存部分の養生	(2.3.1) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。															
		④仮設間仕切り	(2.3.2)(表 2.3.1) 1) 仮設間仕切り及び仮設庫の設置箇所 ・図示 ・ 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗 装</th> <th>充 填</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>○せつこうボード(9.5mm) 種類(・) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材</td> <td>○なし</td> <td>グラスウール 厚さ()mm</td> </tr> <tr> <td>○B種</td> <td>・合板(9.0mm) 材種() 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>防火シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	仕上げ(厚さmm)	塗 装	充 填	・A種	○せつこうボード(9.5mm) 種類(・) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材	○なし	グラスウール 厚さ()mm	○B種	・合板(9.0mm) 材種() 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材			・C種	防火シート	
種 別		仕上げ(厚さmm)	塗 装	充 填														
・A種		○せつこうボード(9.5mm) 種類(・) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材	○なし	グラスウール 厚さ()mm														
○B種		・合板(9.0mm) 材種() 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材																
・C種		防火シート																
5 監督職員事務所		(2.4.1) ・構内既存建物の一部を使用する。 ・構内に新設する。 規模(m2程度) ・10 ・20 35 ・65 ・100																
⑥工事用水		構内既存の施設 利用できる(有償 ・無償) ・利用できない																
⑦工事電力	構内既存の施設 利用できない ・利用できる(有償 ・無償)																	
8 確認済の表示	建築基準法第89条に基づく「確認があった旨」の表示をする。 適用する ・適用しない																	
9 イメージアップ	工事概要及びイメージパースを印刷した看板を 箇所設置する。 なお、内容、設置位置については監督員と協議する。																	
10 建設現場環境改善対象工事	・担い手確保のための建設現場環境改善対象工事 「岐阜県都市建築部公共建築課発注の建設現場環境改善モデル工実施要領」に基づき、「快適トイレ」を設置すること。																	

③ 防水改修工事	①一般事項	防水工事は、専門業者の責任施工とする。																										
	2 既存防水の処理	既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (3.2.3~6) ・行う(・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X)																										
	3 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 図示 (3.2.6)																										
	4 アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種別 (3.1.4)(3.3.2~5) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種 別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ・A-2 ・A-3</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上</td> <td rowspan="2">乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え</td> </tr> <tr> <td>・PIB</td> <td>・B-1 ・B-2 ・B-3</td> </tr> <tr> <td>・P2A1</td> <td>・A I - 1 ・A I - 2 ・A I - 3</td> <td rowspan="2">(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A (スキム層付き)</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">フラットヤーンクロス 70g/m2程度</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・P1B1 ・T1B1</td> <td>・B I - 1 ・B I - 2 ・B I - 3</td> </tr> </table>	工法	種 別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3	図示		ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え	・PIB	・B-1 ・B-2 ・B-3	・P2A1	・A I - 1 ・A I - 2 ・A I - 3	(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A (スキム層付き)		フラットヤーンクロス 70g/m2程度		・P1B1 ・T1B1	・B I - 1 ・B I - 2 ・B I - 3				
	工法	種 別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁用シート	立上り部の保護																						
	・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3	図示		ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	乾式保護材 ・コンクリート押え ・れんが押え																						
	・PIB	・B-1 ・B-2 ・B-3																										
	・P2A1	・A I - 1 ・A I - 2 ・A I - 3	(種類) JIS A 9521に基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種b A (スキム層付き)		フラットヤーンクロス 70g/m2程度																							
	・P1B1 ・T1B1	・B I - 1 ・B I - 2 ・B I - 3																										
	・乾式保護材 ・窯業系パネル 類(寒冷地仕様) 厚さ()mm 幅()mm ・窯業系パネル 類(一般仕様) 厚さ()mm 幅()mm ・窯業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したものの ・金属複合板 厚さ()mm 幅()mm 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの																											
屋根露出防水 防水層の種別 (3.1.4)(3.3.2~5) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・M3D ・POD</td> <td>・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P0D1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・DI-1 ・DI-2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.3.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50</td> <td rowspan="2"></td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ・無	・M3D ・POD	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・P0D1 ・M3D1 ・M4D1	・DI-1 ・DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																						
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ・無																						
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																					
・P0D1 ・M3D1 ・M4D1	・DI-1 ・DI-2	改修標準仕様書 3.3.2(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																					
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 個																												
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示 [S]: 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。[G]																												
屋内防水 (3.1.4)(3.3.2~5)(表3.1.1)(表3.3.10) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・P1E ・P2E</td> <td>・E-1 ・E-2</td> <td></td> <td>・設ける ・設けない</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	保護層	・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける ・設けない																				
工法	種別	施工箇所	保護層																									
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2		・設ける ・設けない																									
・E-1の工程3を行う部位(貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・) 押え金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 図示																												

③ 防水改修工事	5 改質アスファルト防水 (3.1.4)(3.4.2~4) 防水層の種別 (表3.1.1)(表3.4.1~3)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材[G]</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水の適用[S]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・M4AS</td> <td rowspan="2">・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・M3AS</td> <td rowspan="2">・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・M3AS1 ・M4AS1 ・P0AS1</td> <td rowspan="2">・AS-T1 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.4.2(3)(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50</td> <td rowspan="2"></td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用[S]	備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3	図示		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3AS1 ・M4AS1 ・P0AS1	・AS-T1 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3	改修標準仕様書 3.4.2(3)(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	工法	種別					施工箇所	断熱材[G]			仕上塗料						高日射反射率防水の適用[S]	備考																														
			種類	使用量																																												
	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	図示		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無																																									
					・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																								
	・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3	図示		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																								
					・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																								
	・M3AS1 ・M4AS1 ・P0AS1	・AS-T1 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3	改修標準仕様書 3.4.2(3)(9)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない																																								
					・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・改質アスファルトシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																								
	屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類、設置数量 種類 改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 改質アスファルトシートの製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート (・設置する ・設置しない) 押え金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L・30×15×2.0(mm)程度 [S]: 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。[G]																																															
6 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.1.4)(3.5.2~4) 防水層の種別 (表3.1.1)(表3.5.1~2)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POS ・S4S</td> <td rowspan="2">・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○M4S ○S-M2 ・S-M3</td> <td rowspan="2">・S-M1 ・S-M2 ・S-M3</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2"></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ○設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td> <td rowspan="2">・S1-F1 ・S1-F2</td> <td rowspan="2">改修標準仕様書 3.5.2(3)(I)(a)(種類) (厚さmm) ・25 ・50</td> <td rowspan="2"></td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・ルーフィングシートの製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない	○M4S ○S-M2 ・S-M3	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ○設ける ・設けない	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2	改修標準仕様書 3.5.2(3)(I)(a)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない				
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																																										
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																									
				・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																																									
○M4S ○S-M2 ・S-M3	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ○設ける ・設けない																																									
				・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																									
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F1 ・S1-F2	改修標準仕様書 3.5.2(3)(I)(a)(種類) (厚さmm) ・25 ・50		・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																									
				・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																																									
分 類 非歩行 ・軽歩行 [S]: 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。[G] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 機械的固定方法に使用するピン(長さについては、監督職員会いのもとピンの引き抜き試験(1箇所/200㎡)を行い、協議の上決定する。 ○S・M2の場合で立上りが接着工法の場合 立上り面のシート厚さ(1.5mm ・) ・S I ・M1及びS I ・M2の場合における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない																																																
屋内防水 防水層の種別 (表3.1.1)(表3.5.1~2) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り</th> <th>立上り部の</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S-C1</td> <td rowspan="2">図示</td> <td>塗り厚さ</td> <td>保護モルタル塗厚</td> </tr> <tr> <td>・床塗り工法</td> <td>7mm以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・床塗り工法</td> <td>・下地モルタル塗り</td> </tr> </table>	種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル塗り	立上り部の	・S-C1	図示	塗り厚さ	保護モルタル塗厚	・床塗り工法	7mm以下			・床塗り工法	・下地モルタル塗り																																
種別			施工箇所	保護層																																												
	平場のモルタル塗り	立上り部の																																														
・S-C1	図示	塗り厚さ	保護モルタル塗厚																																													
		・床塗り工法	7mm以下																																													
		・床塗り工法	・下地モルタル塗り																																													
床塗りの場合の床の目地 目地割り(2 m程度 最大目地間隔3 m程度 ・) 目地の種類(押し目地 ・)																																																
絶縁用シートの材質 発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板																																																
脱気装置の種類及び設置数量 種類 ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ルーフィングシートの製造所の仕様 個																																																
接着工法の目地処理 プレキャストコンクリート下地(・) ・行う(・図示 ・) ・行わない																																																

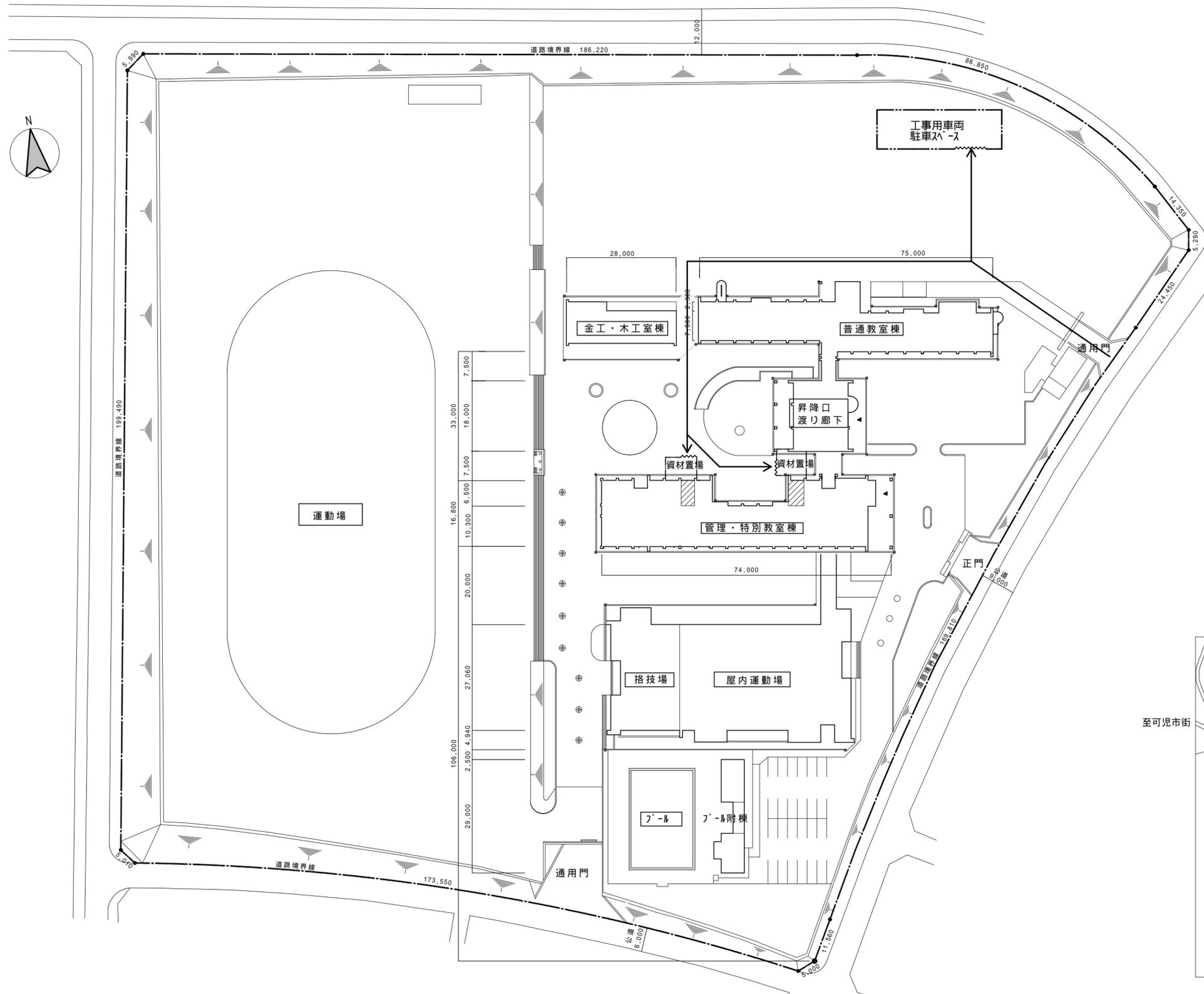
③ 防水改修工事	7 塗膜防水 (3.1.4)(3.6.2~4) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POX</td> <td rowspan="2">・X-1 ・X-2</td> <td rowspan="2">図示</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・L4X</td> <td rowspan="2">・X-1 ・X-2</td> <td rowspan="2">図示</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・POX	・X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない	・L4X	・X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない
	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																							
	・POX	・X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																						
				・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																						
	・L4X	・X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																						
				・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																						
	ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 種類 主材料の製造所の仕様 設置数量 主材料の製造所の仕様 個 [S]: 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。[G]																												
	(表3.1.1)(表3.6.1) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POX</td> <td rowspan="2">・X-1 ・X-2</td> <td rowspan="2">図示</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・L4X</td> <td rowspan="2">・X-1 ・X-2</td> <td rowspan="2">図示</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・製造所の仕様による</td> <td>・有 ・無</td> <td>脱気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・POX	・X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない	・L4X	・X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない
	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																							
	・POX	・X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																						
・製造所の仕様による				・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																							
・L4X	・X-1 ・X-2	図示	・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																							
			・製造所の仕様による	・製造所の仕様による	・有 ・無	脱気装置 ・設ける ・設けない																							
⑧シーリング (3.1.4)(3.7.2~8) シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレッカー張り ・適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.1による。(表3.7.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>・建具廻り</td> <td>・MS-2</td> </tr> <tr> <td>・打継・ひび割れ誘発・ALC目地</td> <td>・PU-2</td> </tr> </table>	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	・建具廻り	・MS-2	・打継・ひび割れ誘発・ALC目地	・PU-2																							
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																												
・建具廻り	・MS-2																												
・打継・ひび割れ誘発・ALC目地	・PU-2																												
シーリング材の目地寸法 改修標準仕様書3.7.3(1)(7)-(9)による シーリング材の接着性試験 簡易接着性試験 ・引張接着性試験																													
⑨ とい (3.8.2、3) といその他の材種 ・配管用銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレン ・ ルーフトレンの材種その他 (表3.8.1) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 種</th> <th>張掛幅</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用(・縦型 ・横型)</td> <td>・鋳鉄製</td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>・鋳鉄製</td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>・鋳鉄製</td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> </table>	種 別	材 種	張掛幅	・ろく屋根用(・縦型 ・横型)	・鋳鉄製	・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー用	・鋳鉄製	・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー中継用	・鋳鉄製	・100mm以上 ・50mm以上																	
種 別	材 種	張掛幅																											
・ろく屋根用(・縦型 ・横型)	・鋳鉄製	・100mm以上 ・50mm以上																											
・バルコニー用	・鋳鉄製	・100mm以上 ・50mm以上																											
・バルコニー中継用	・鋳鉄製	・100mm以上 ・50mm以上																											
⑩ アルミニウム製笠木 (表3.9.1)(3.9.2、3) 種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) ・押出175形 ・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式) 本体幅()mm 板厚(2.0mm ・ mm) 表面処理 種別 ・A B ・1種 B B ・1種 ・B B ・2種 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系																													
⑪ 長尺金属板葺 (表3.9.1)(3.9.2、3) 既存笠木等の撤去 ・行う(範囲 ・図示 ・) ・行わない 下地補修の工法 図示 板材折曲げ形の笠木の取付方法 図示 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(○1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 [13.2.2、3][表13.2.1~3] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> </tr> <tr> <td></td> <td>JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td></td> <td></td> <td>・心木なし瓦葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺</td> </tr> </table>	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式		JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺																			
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式																									
	JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺																									
下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 ・一般タイプ ・覆層材タイプ ・粘着層付タイプ) 工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)の風圧力に対応した工法 止め ・設置する(施工箇所 ・図示 ・)																													
教育委員会事務局 教育総務課 <table border="1"> <tr> <th>工事名</th> <td colspan="3">可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(期)</td> </tr> <tr> <th>種 別</th> <td>改修特記仕様書 2</td> <td>図面番号</td> <td>02/18</td> </tr> <tr> <th>縮 尺</th> <td>-</td> <td>作成年月日</td> <td>2024.10</td> </tr> <tr> <th>設計者</th> <td colspan="3">有限会社 小林建築設計事務所</td> </tr> <tr> <th>氏名</th> <td colspan="3">一級建築士 大臣登録 第175199号 小林一輝</td> </tr> </table>	工事名	可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(期)			種 別	改修特記仕様書 2	図面番号	02/18	縮 尺	-	作成年月日	2024.10	設計者	有限会社 小林建築設計事務所			氏名	一級建築士 大臣登録 第175199号 小林一輝											
工事名	可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(期)																												
種 別	改修特記仕様書 2	図面番号	02/18																										
縮 尺	-	作成年月日	2024.10																										
設計者	有限会社 小林建築設計事務所																												
氏名	一級建築士 大臣登録 第175199号 小林一輝																												

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																												
3	防水改修工事	<p>12 折板葺</p> <p>[13.2.2][13.3.2、3][表13.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチによる区分</th> <th>山高、山ピッチ</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形</td> <td></td> <td></td> <td>()種</td> <td>鋼板製 ・アルミニウム 合金板製</td> <td></td> <td>・有り ・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類(塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号) タイプフレーム にJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 標準仕様書表14.2.2による E種 F種 断熱材 ・有り(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間) ・無し</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)の風圧力に対応した工法 折板のけらば納め けらば包みによる方法</p>	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	山高、山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能		・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形			()種	鋼板製 ・アルミニウム 合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し	4-2	3 浮き部改修工法	<p>(4.1.4)(4.2.2)(4.4.4)(4.4.4、10~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>○アンカーピンニング</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注入口付アンカーピンニング</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p> <p>アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m²かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm²以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場調査材料 既調合材料 <p>仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p>	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	○アンカーピンニング	16	25	-	-	25	部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・アンカーピンニング	13	20	12	20	25	全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・アンカーピンニング	13	20	12	20	50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-	注入口付アンカーピンニング	16	16	-	-	25	部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	9	16	9	16	25	全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	9	16	9	16	50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-	・充填工法	-	-	-	-	-	・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-	4-3	外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m²かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm²以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場調査材料 既調合材料 <p>仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p>	5	⑤ 1改修工法	<p>(5.1.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td></td> <td></td> <td>建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td></td> <td></td> <td>建具表による</td> </tr> <tr> <td>○鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td></td> <td>建具表による</td> </tr> <tr> <td>○鋼製軽量建具</td> <td>○内部</td> <td></td> <td>建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td></td> <td></td> <td>建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書 3章 防水改修工事による</p> <p>指定する適用箇所(建具表による) ・指定しない (5.1.4)</p> <p>ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 連動させる(建具表による) ・連動させない</p> <p>3 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う(建具符号:) (5.1.5) 建具見本の程度 ・工事(使用するものとして、あらかじめ製作する特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:) ・納まり等がわかる程度のもの</p> <p>4 防犯建物部品 ・適用する 適用箇所(建具表による) (5.1.7)</p> <p>5 アルミニウム製建具 (5.2.2~5)(表5.2.1、2)</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種別 ・A種(建具符号: 建具表による ・全て) ・B種(建具符号: 建具表による) ・C種(建具符号: 建具表による) 枠の見込み寸法 建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級() 耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>表面処理 外部に面する建具 B B - 1種 ・ B B - 2種 ・ 着色 ・ ステンカラー ・ ブロンズ ・ ブラック系 屋内の建具 B C - 1種 ・ B C - 2種 ・ 着色 ・ ステンカラー ・ ブロンズ ・ ブラック系</p> <p>ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 結露水の処理方法 図示 水切り板、せん板 図示</p> <p>6 網戸等 (5.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>ステンレス(SUS316)製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製</td> <td>0.25mm以上</td> <td>16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>外部に面する窓の建具(枠見込み70mmのみ)には、脱落防止装置付又は完全内はずしとし、見本(模型など)又は施工図を提出して監督員の承認を要する。 (5.2.2)(5.3.2~5)</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種別 ・A種(建具符号: 建具表による) ・B種(建具符号: 建具表による) ・C種(建具符号: 建具表による) 枠の見込み寸法 建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(T-1 T-2) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(H-4 H-5 H-6)</p> <p>表面色 標準色 ・ 特注色 水切り板、せん板 図示 ガラス 複層ガラス</p> <p>7 樹脂製建具 (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5)</p> <p>性能値級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: 建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号: 建具表による) ・S-5(建具符号: 建具表による) ・S-6(建具符号: 建具表による)</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級() 耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>鋼板の厚さ 改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>性能値級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号: 建具表による) ・適用しない</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級() 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級() 耐震ドア 面内変形追随性の等級()</p> <p>鋼板の種類 ○亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板</p> <p>鋼板の厚さ 改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出形材</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">教育委員会事務局 教育総務課</td> </tr> <tr> <td>工事名</td> <td>可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(期)</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>改修特記仕様書 3 図面番号 03/18</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>- 作成年月日 2024.10</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td>有限会社 小林建築設計事務所</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>一級建築士 大臣登録 第175199号 小林一輝</td> </tr> </table>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具			建具表による	・樹脂製建具			建具表による	○鋼製建具	・外部		建具表による	○鋼製軽量建具	○内部		建具表による	・ステンレス製建具			建具表による	種類	材種	線径	網目	・防虫網	ステンレス(SUS316)製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製	0.25mm以上	16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm	教育委員会事務局 教育総務課		工事名	可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(期)	種別	改修特記仕様書 3 図面番号 03/18	縮尺	- 作成年月日 2024.10	設計者	有限会社 小林建築設計事務所	氏名	一級建築士 大臣登録 第175199号 小林一輝																												
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	山高、山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																																																															
	・重ね形 ・はげ締め形 ・かん合形			()種	鋼板製 ・アルミニウム 合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し																																																																																																																																																																																															
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)																																																																																																																																																																																																		
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																			
○アンカーピンニング	16	25	-	-	25																																																																																																																																																																																																		
部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング	13	20	12	20	25																																																																																																																																																																																																		
全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング	13	20	12	20	50																																																																																																																																																																																																		
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
注入口付アンカーピンニング	16	16	-	-	25																																																																																																																																																																																																		
部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング	9	16	9	16	25																																																																																																																																																																																																		
全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング	9	16	9	16	50																																																																																																																																																																																																		
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・充填工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・モルタル塗替え工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																																				
・アルミニウム製建具			建具表による																																																																																																																																																																																																				
・樹脂製建具			建具表による																																																																																																																																																																																																				
○鋼製建具	・外部		建具表による																																																																																																																																																																																																				
○鋼製軽量建具	○内部		建具表による																																																																																																																																																																																																				
・ステンレス製建具			建具表による																																																																																																																																																																																																				
種類	材種	線径	網目																																																																																																																																																																																																				
・防虫網	ステンレス(SUS316)製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製	0.25mm以上	16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																				
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																																																																				
教育委員会事務局 教育総務課																																																																																																																																																																																																							
工事名	可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(期)																																																																																																																																																																																																						
種別	改修特記仕様書 3 図面番号 03/18																																																																																																																																																																																																						
縮尺	- 作成年月日 2024.10																																																																																																																																																																																																						
設計者	有限会社 小林建築設計事務所																																																																																																																																																																																																						
氏名	一級建築士 大臣登録 第175199号 小林一輝																																																																																																																																																																																																						
4	外壁改修(共通事項)	<p>1 可とう性エポキシ樹脂 (品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による (4.2.2)</p> <p>2 バテ状エポキシ樹脂 (品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による (4.2.2)</p> <p>3 エポキシ樹脂モルタル (品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂(JIS A 6024)による (4.2.2)</p> <p>4 シーリング材 (品質、試験方法) 建築用シーリング材(JIS A 5758)による (4.2.2)</p> <p>5 ポリマーセメントモルタル (品質・性能) (4.2.2) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>6 ポリマーセメントスラリー (品質・試験方法) (4.2.2) 試験方法・品質基準(独立行政法人 都市再生機構)による</p> <p>7 既調合モルタル (品質・性能) (4.2.2) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	4-3	1 ひび割れ部改修工法	<p>(4.1.4)(4.2.2)(4.5.2)(4.5.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 低粘度形(0.5mm未満) 中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 目視により充填状況を確認する</p> <p>・リカットシール材充填工法 (4.5.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> シーリング材 充填材料の種類 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない 可とう性エポキシ樹脂 <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.3)(4.5.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・タイル張替え工法 張替え用材料 ・接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル(・現場調査材料 ・既調合モルタル) <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 改修標準仕様書 表4.5.1による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験(表4.5.2) ・行う ・行わない</p> <p>3 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.4)(4.5.9~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m²)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m²)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注入口付アンカーピンニング</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂注入工法</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング	16	25	-	-	25	部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・アンカーピンニング	13	20	12	20	25	全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・アンカーピンニング	13	20	12	20	50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-	注入口付アンカーピンニング	16	16	-	-	25	部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	9	16	9	16	25	全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	9	16	9	16	50	全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-	・注入口付アンカーピンニング	16	16	-	-	25	エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-	4-4	外壁改修(塗り仕上げ外壁改修)	<p>1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (4.6.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>ひび割れ部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法(30MPa程度以上)</td> <td>既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>浮き部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離工法</td> <td>既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法(15MPa程度)</td> <td>サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体</td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない</p> <p>2 下地調整塗材 (4.6.3、4)</p> <p>3 仕上げ塗材仕上げ (4.1.5)(4.2.2)(4.6.5)</p> <p>規制対象外</p> <p>新規仕上げ塗材の種類 (表4.2.4~6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">・薄付け仕上げ塗材</td> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td></td> <td>・砂壁状 ・ さざ波状 ・ 平たん状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 S i</td> <td></td> <td>・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td></td> <td>・凹凸状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td></td> <td>・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td></td> <td>吸放湿性 ・適用する</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・厚付け仕上げ塗材</td> <td>・外装厚塗材 C</td> <td></td> <td>・吹出し ・凸部処理 ・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S i</td> <td></td> <td>・凹凸状 ・ひき起こし ・掻き落とし</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td></td> <td>上塗材 ・適用する ・適用しない 吸放湿性 ・適用する</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">・複層仕上げ塗材</td> <td>・複層塗材 C E</td> <td></td> <td>・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 C E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 S i</td> <td></td> <td>耐候性 耐候形3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td></td> <td>上塗材</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 R E</td> <td></td> <td>溶解 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">・可とう形改修用仕上げ塗材</td> <td>・防水形複層塗材 C E</td> <td></td> <td>樹脂 アクリル系</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 E</td> <td></td> <td>つやあり ・ つやなし</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R E</td> <td></td> <td>外観</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R S</td> <td></td> <td>・メタリック</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修用仕上げ塗材</td> <td></td> <td>・平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状</td> </tr> </table> <p>4 マスチック塗材塗り (4.1.5)(4.7.2)(表4.7.1)</p> <p>種類 ・ A種 ・ B種</p>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	既存仕上げ面全体 ・図示	ひび割れ部改修工法	・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	既存仕上げ面全体 ・図示	浮き部改修工法	・塗膜はく離工法	既存仕上げ面全体 ・図示	欠損部改修工法	・水洗い工法(15MPa程度)	サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体		種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 S i		・砂壁状 ・ さざ波状 ・ 平たん状	・可とう形外装薄塗材 S i		・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り)	・外装薄塗材 E		・凹凸状(・吹付け・こて塗り)	・可とう形外装薄塗材 E		・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り)	・外装薄塗材 S		吸放湿性 ・適用する	・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C		・吹出し ・凸部処理 ・平たん状	・外装厚塗材 S i		・凹凸状 ・ひき起こし ・掻き落とし	・外装厚塗材 E		上塗材 ・適用する ・適用しない 吸放湿性 ・適用する	・複層仕上げ塗材	・複層塗材 C E		・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状	・可とう形複層塗材 C E			・複層塗材 S i		耐候性 耐候形3種	・複層塗材 E		上塗材	・複層塗材 R E		溶解 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系	・可とう形改修用仕上げ塗材	・防水形複層塗材 C E		樹脂 アクリル系	・防水形複層塗材 E		つやあり ・ つやなし	・防水形複層塗材 R E		外観	・防水形複層塗材 R S		・メタリック	・可とう形改修用仕上げ塗材		・平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																																																																				
自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	120																																																																																																																																																																																																				
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																				
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		注入量(mL/箇所)																																																																																																																																																																																																		
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング	16	25	-	-	25																																																																																																																																																																																																		
部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング	13	20	12	20	25																																																																																																																																																																																																		
全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング	13	20	12	20	50																																																																																																																																																																																																		
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
注入口付アンカーピンニング	16	16	-	-	25																																																																																																																																																																																																		
部分エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング	9	16	9	16	25																																																																																																																																																																																																		
全面エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング	9	16	9	16	50																																																																																																																																																																																																		
全面ポリマーセメントスラリー注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング	16	16	-	-	25																																																																																																																																																																																																		
エポキシ樹脂注入工法	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																		
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																																																																																																																																																					
・サンダー工法	既存仕上げ面全体 ・図示	ひび割れ部改修工法																																																																																																																																																																																																					
・高圧水洗工法(30MPa程度以上)	既存仕上げ面全体 ・図示	浮き部改修工法																																																																																																																																																																																																					
・塗膜はく離工法	既存仕上げ面全体 ・図示	欠損部改修工法																																																																																																																																																																																																					
・水洗い工法(15MPa程度)	サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体																																																																																																																																																																																																						
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																				
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 S i		・砂壁状 ・ さざ波状 ・ 平たん状																																																																																																																																																																																																				
	・可とう形外装薄塗材 S i		・ゆず肌状(・吹付け・ローラー塗り)																																																																																																																																																																																																				
	・外装薄塗材 E		・凹凸状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																				
	・可とう形外装薄塗材 E		・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																																																																																				
	・外装薄塗材 S		吸放湿性 ・適用する																																																																																																																																																																																																				
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C		・吹出し ・凸部処理 ・平たん状																																																																																																																																																																																																				
	・外装厚塗材 S i		・凹凸状 ・ひき起こし ・掻き落とし																																																																																																																																																																																																				
	・外装厚塗材 E		上塗材 ・適用する ・適用しない 吸放湿性 ・適用する																																																																																																																																																																																																				
・複層仕上げ塗材	・複層塗材 C E		・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状																																																																																																																																																																																																				
	・可とう形複層塗材 C E																																																																																																																																																																																																						
	・複層塗材 S i		耐候性 耐候形3種																																																																																																																																																																																																				
	・複層塗材 E		上塗材																																																																																																																																																																																																				
	・複層塗材 R E		溶解 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系																																																																																																																																																																																																				
・可とう形改修用仕上げ塗材	・防水形複層塗材 C E		樹脂 アクリル系																																																																																																																																																																																																				
	・防水形複層塗材 E		つやあり ・ つやなし																																																																																																																																																																																																				
	・防水形複層塗材 R E		外観																																																																																																																																																																																																				
	・防水形複層塗材 R S		・メタリック																																																																																																																																																																																																				
	・可とう形改修用仕上げ塗材		・平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状																																																																																																																																																																																																				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																														
⑧ ユニット及びその他工事	1 フリーアクセスフロア [20.2.2]	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> </tr> </table> <p>寸法精度 標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)～(c)による</p> <p>パネルの長さ 各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>パネルの平面形状(角度) 各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>フリーアクセスフロアの高さ ±0.5mm以内</p> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	⑧ ユニット及びその他工事	8 表示 [20.2.10]	<p>・衝突防止表示 形状・寸法() 材質()</p> <p>案内用記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ・適用する(消防法に適合する市販品) ・適用しない 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 図示 その他の表示 図示</p>	⑧ 排水工事	3 グレーチング [21.2.1]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>垂鉛めっき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・受枠付き、 ・ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ・普通目 ・細目</td> <td>-</td> <td>・凹凸形 ・平形</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・受枠付き、 ・ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・凹凸形 ・平形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び荷重試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき(付着量)	上面形状	・鋼製	・受枠付き、 ・ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目	-	・凹凸形 ・平形	・ステンレス製	・受枠付き、 ・ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	-	-	・凹凸形 ・平形	9 煙突ライニング [20.2.11]	<p>煙突用成形ライニング材 種類 ・ソノトライト系けい酸カルシウムライニング材 適用安全使用温度(上限温度) ・400 ・650 適用安全使用温度(下限温度) ・ (適用安全使用温度(上限温度)が400 又は650 の場合) 品質・性能及び試験方法 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による (適用安全使用温度(上限温度)が400 又は650 以外の場合) 品質・性能等</p>	4 街きよ、緑石、及び側溝 [21.3.1、2][表21.3.1]	<p>街きよ、緑石、側溝</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・緑石</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>砂利地業に用いる材料 ①再生クラッシュラン [G] ・切込砂利又は切込砕石 砂利地業の厚さ 100(mm) 図示 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 18N/mm² 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ①行わない</p>	種類	形状、寸法	・緑石	図示	・L形側溝	図示	・U形側溝	図示	・U形側溝ふた	図示		図示	5 埋戻し土 [21.2.1]	<p>B種</p>																																												
	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材																																																																																																		
		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																																																																																																		
	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めっき(付着量)	上面形状																																																																																																		
	・鋼製	・受枠付き、 ・ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目	-	・凹凸形 ・平形																																																																																																		
	・ステンレス製	・受枠付き、 ・ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	-	-	・凹凸形 ・平形																																																																																																		
	種類	形状、寸法																																																																																																							
・緑石	図示																																																																																																								
・L形側溝	図示																																																																																																								
・U形側溝	図示																																																																																																								
・U形側溝ふた	図示																																																																																																								
	図示																																																																																																								
2 可動間仕切 [20.2.3]	<table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性(db/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>・スタッド</td> <td>・パネル</td> <td>・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり(図示) ・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512による F 以上</p>	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スタッド	・パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	11 ロールスクリーン [G] [20.2.13]	<p>操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅・高さ 図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製 品質等 その他の材料 ロールスクリーンの製造所の仕様による</p>	10 旗竿 [20.2.12]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>スラット・レールの材質</th> <th>幅・高さ</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>・ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>・アルミニウム合金製 G</td> <td>・25</td> <td>・鋼製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>・2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 ・アルミスラット 焼付塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする。</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	スラット・レールの材質	幅・高さ	・横形	・手動 ・電動	・ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製 G	・25	・鋼製	・図示	・縦形	・手動 ・電動	・2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・アルミニウム合金製	・図示	21 旗竿 [20.3.3、4]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材質	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		22 旗竿受金物	<p>材質 ・ステンレス製(SUS304)</p>	23 車止めさく	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内籠式 ・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式鎖内籠式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製			24 プレキャストコンクリート [20.4.2、3]	<p>コンクリートの設計基準強度 ・図示 配筋 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示 取付け方法 図示</p>	25 間知石及びコンクリート間知ブロック積み [20.4.2、3]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td></td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 谷積み ・布積み 目塗り ・図示 ・伸縮目地 伸縮調整目地 材質 図示 厚さ 図示</p>	材質	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	-	-	・コンクリート間知ブロック		・A ・B		10 その他(舗装工事)	1 路床 [22.2.2、3、5][表22.2.1]	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂</td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>路床安定処理 安定処理の方法 ・置換工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰() ・消石灰() 添加量 ・ kg/m³(目標CBR ・3以上) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5～1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10⁻⁶cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	図示	・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	図示	・フィルター層	・砂	図示	2 路盤 [22.2.2、3、5][表22.3.1]	<p>路盤の厚さ 図示 路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>①クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> </table>	種類	材料	砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石	再生材	①クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]	3 アスファルト舗装 [22.4.2～6][表 22.4.4]	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ 図示 材料及び種類 アスファルト ①再生アスファルト [G] (・60～80 ・80～100) ・ストレートアスファルト 骨材 ①道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 [G]</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 ①密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ①行わない 舗装の平坦性 通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>
構造形式による種類	構成基材の種類	パネル	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500Hz)	防火性能																																																																																																				
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スタッド	・パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																																																																				
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	スラット・レールの材質	幅・高さ																																																																																																			
・横形	・手動 ・電動	・ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	・アルミニウム合金製 G	・25	・鋼製	・図示																																																																																																			
・縦形	・手動 ・電動	・2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・アルミニウム合金製	・図示																																																																																																			
材質	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																				
・アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																					
形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																						
・上下式鎖内籠式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製																																																																																																								
材質	種類	質量区分	備考																																																																																																						
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	-	-																																																																																																						
・コンクリート間知ブロック		・A ・B																																																																																																							
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																							
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	図示																																																																																																							
・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	図示																																																																																																							
・フィルター層	・砂	図示																																																																																																							
種類	材料																																																																																																								
砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石																																																																																																								
再生材	①クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																								
3 移動間仕切 [20.2.4]	<table border="1"> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方法による種類</th> <th>パネル圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性(db/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td></td> <td>・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>ランナー パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。</p> <p>(品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性(db/500Hz)	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	12 カーテン [20.2.14]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・手引き ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>(暗幕)</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり 300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・手引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(暗幕)	13 カーテンレール [20.2.14]	<p>材料による区分 アルミニウム又はアルミニウム合金の押し成型材</p> <p>強さによる区分 10-90 仕上げ アルマイト 形状 角形</p>	9 排水工事	1 屋外雨水排水 [21.2.1、2][表21.2.1、2]	<p>材料 [21.2.1、2][表21.2.1、2]</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>・外圧管(1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP ・VU ・RS-VU [G]</td> <td></td> <td>・図示 ・図示 ・図示</td> </tr> </table> <p>基床の厚さ及び種類 図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 接着剤 側塊の形状及び寸法 図示 排水溝の種類 図示 砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕石 砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン [G] ・切込砂利又は切込砕石 現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 18N/mm² ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 SD295A ・現場打ちの場合の足掛け金物 標準仕様書21.2.2(6)(イ) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 ・ 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p>	材質	種類・記号	形状	呼び径	・遠心力鉄筋コンクリート管	・外圧管(1種)	・B形管	・図示	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU ・RS-VU [G]		・図示 ・図示 ・図示	4 トイレブース [20.2.4]	<table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>・幅木タイプ ・アジャスター</td> <td>・標準 R ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	表面材の材料	脚部	ドアエッジ	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	・幅木タイプ ・アジャスター	・標準 R ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	14 ブラインドボックス及びカーテンボックス [20.2.14]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>①アルミニウム製</td> <td>①450×450 ・600×600</td> <td>①一般形 ②屋内外用 ③屋内用</td> <td>①縁縁タイプ ②目地タイプ</td> <td>①縁縁タイプ ②目地タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	寸法	形式	外枠	内枠	①アルミニウム製	①450×450 ・600×600	①一般形 ②屋内外用 ③屋内用	①縁縁タイプ ②目地タイプ	①縁縁タイプ ②目地タイプ	15 天井点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用</td> <td>・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したもとする (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き	16 床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用</td> <td>・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したもとする (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き	5 階段滑り止め [20.2.6]	<p>材質 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 滑り止め材 形状 ・ひも型 ・タイヤ型 材質 ・ゴム又は合成樹脂 取付け方法 接着工法 ・埋め込み工法 幅()mm 端部フラットエンド(・あり ・なし)</p>	6 手すり	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ・木調樹脂成型品</td> <td>・クリアコート ・HL ・SOP ・DP</td> <td>・35 図示</td> <td></td> </tr> </table>	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ・木調樹脂成型品	・クリアコート ・HL ・SOP ・DP	・35 図示		7 黒板及びホワイトボード [20.2.8]	<p>・黒板 区分 焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろろ黒板 色 緑 ・ホワイトボード</p>							
走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性(db/500Hz)																																																																																																				
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																																																																																				
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																				
・シングル ・ダブル	・手引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(暗幕)																																																																																																				
材質	種類・記号	形状	呼び径																																																																																																						
・遠心力鉄筋コンクリート管	・外圧管(1種)	・B形管	・図示																																																																																																						
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU ・RS-VU [G]		・図示 ・図示 ・図示																																																																																																						
表面材の材料	脚部	ドアエッジ																																																																																																							
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	・幅木タイプ ・アジャスター	・標準 R ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																																																																																							
材質	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																					
①アルミニウム製	①450×450 ・600×600	①一般形 ②屋内外用 ③屋内用	①縁縁タイプ ②目地タイプ	①縁縁タイプ ②目地タイプ																																																																																																					
材質	寸法	形式	備考																																																																																																						
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き																																																																																																						
材質	寸法	形式	備考																																																																																																						
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き																																																																																																						
材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所																																																																																																						
・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ・木調樹脂成型品	・クリアコート ・HL ・SOP ・DP	・35 図示																																																																																																							

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																																																																																															
1.2 1 環境配慮 改修工事	<p>石綿含有建材の除去工事 (9.1.1、3~5)</p> <p>施工調査 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲 (○) 内部改修範囲 () 図示 貸与資料 (なし) () 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td>・ 箇所数 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p> <p>・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速 1 m/s以下の位置 計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td></td> <td>処理作業室外</td> <td>・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 湿潤化・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 破砕して除去 手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 湿潤化・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○石綿含有成型板の除去 除去対象範囲 図示 除去した石綿含有成型板の処分 ・石綿含有せっこうボード 埋立処分(管理型最終処分場) ○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成型板 埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4				・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()				・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()				・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()				・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()			適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点		測定2		調査対象室外部の付近	計 点		測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点		測定4		セキュリティゾーン入口	計 点		測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1 m/s以下の位置 計 点		測定6		処理作業室外	・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界		測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点		測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点		測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点		測定名称	測定方法	測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	測定4	25	5	30	測定5					47	10	120		47	10	240	<p>2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.2~3)</p> <p>3 外断熱改修工事 (9.3.2~4)</p> <p>断熱材 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 施工箇所 図示 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 鋼材による</p> <p>笠木 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による</p> <p>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 あり なし 下地面の清掃 行う 行わない 欠損部の改修工法 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 外装材製造所の仕様による 通気層の有無 あり(mm) なし 外装材の外壁への取付け 図示 笠木の施工 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による</p> <p>3 ガラス改修工事 (9.4.2、3)</p> <p>複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・ 建具表による 断熱性による区分 ・ T1・T2・T3・T4・T5・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・ G・S 乾燥気体の種類 ・ 空気 アルゴン</p> <p>上記以外は、改修特記仕様書第5章 建具改修工事による</p> <p>4 断熱・防露改修工事 (9.5.2~4)</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 種類 A種 1H 吹き付け厚さ(mm) 25・30 施工箇所 図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>5 屋上緑化改修工事 (9.6.2、3)</p> <p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・適用する 適用しない 芝及び地被類の種類等 図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 設置する(種類) 既存保護層の撤去 行う 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 引き渡しの日から1年</p>	種類	防火性能	備考				<p>1.3 1 土工事 (8.2.3)</p> <p>埋戻し及び盛土 埋戻し及び盛土 ・ A種 適用場所 () ・ B種 適用場所 (犬走・土間) ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 ()</p> <p>2 砂利地業 (8.2.15)(8.2.4)</p> <p>材料 ○再生クラッシュラン () 切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ 60mm</p> <p>3 捨コンクリート地業 (8.2.15)(8.2.4)</p> <p>捨コンクリートの厚さ 50mm コンクリートの種類 普通コンクリート 設計基準強度 18 N/mm2 スラブ 15cm又は18cm</p> <p>1.4 1 鉄筋工事 (8.2.1)</p> <p>鉄筋の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ SD295A</td> <td>D10・13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>1.5 1 コンクリート工事 (8.1.3)</p> <p>1 コンクリートの種類 コンクリートの類別 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>2 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 (8.1.3、4)(8.2.5)(8.9.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm2)</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m3)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 21</td> <td>○ 18</td> <td>○ 2.3程度</td> <td>・ 土間、スラブ</td> </tr> <tr> <td>○ 18</td> <td>○ 18</td> <td>○ 2.3程度</td> <td>・ 捨てコン</td> </tr> </tbody> </table> <p>印は構造体強度補正值(S)を適用しない</p> <p>3 セメント (8.2.5)</p> <p>種類 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする) 適用箇所 () ・高炉セメントB種 () 適用箇所 (基礎及び基礎梁) ・フライアッシュセメントB種 () 適用箇所 ()</p> <p>4 骨材 (8.2.5)</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 A ・ B</p>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	○ SD295A	D10・13		・ SD345			設計基準強度 (N/mm2)	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m3)	適用箇所	○ 21	○ 18	○ 2.3程度	・ 土間、スラブ	○ 18	○ 18	○ 2.3程度	・ 捨てコン	<p>1.6 1 材料等 (8.2.4)</p> <p>2 穿孔前の埋め込み配管等の調査 (8.11.2)</p> <p>○金属系アンカー セット方式 ○本体打込式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用径</th> <th>埋込み深さ L1(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○D10</td> <td>○50以上</td> <td>R C土間、R C壁</td> </tr> <tr> <td>○D13</td> <td>○65以上</td> <td>R C壁</td> </tr> <tr> <td>・D16</td> <td>・80以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D19</td> <td>・95以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D22</td> <td>・110以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>構造設計上使用する有効埋込み長さ(Le)は $Le = L1 - da$ で算出している。 L1:埋込み長さ da:アンカー本体の外径</p> <p>○接着系アンカー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用径</th> <th>埋込み深さ L1(mm)</th> <th>接合筋定着長 L2(mm)</th> <th>耐力(kN)</th> <th>引張りせん断</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○D10</td> <td>○80以上</td> <td>○400以上</td> <td>24.6</td> <td></td> <td>開口閉鎖</td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○D13</td> <td>○105以上</td> <td>○260以上</td> <td>43.7</td> <td></td> <td>開口閉鎖</td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>構造設計上使用する有効埋込み長さ(Le)は $Le = L1 - da$ で算出している。 L1:埋込み長さ da:アンカー本体の外径</p> <p>鉄筋、配管類の調査 (8.11.2) 調査範囲 あと施工アンカー施工範囲全て 調査方法 鉄筋(金属)探知機により調査し、鉄筋・配管類位置の墨出を行う ・はつり出しによる レントゲンによる</p>	適用径	埋込み深さ L1(mm)	適用箇所	○D10	○50以上	R C土間、R C壁	○D13	○65以上	R C壁	・D16	・80以上		・D19	・95以上		・D22	・110以上		適用径	埋込み深さ L1(mm)	接合筋定着長 L2(mm)	耐力(kN)	引張りせん断	適用箇所	○D10	○80以上	○400以上	24.6		開口閉鎖	SD345						○D13	○105以上	○260以上	43.7		開口閉鎖	SD345					
材 料 名	定性分析方法		定量分析方法																																																																																																																																																																																			
	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4																																																																																																																																																																																				
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()																																																																																																																																																																																				
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()																																																																																																																																																																																				
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()																																																																																																																																																																																				
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()																																																																																																																																																																																				
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																																																																		
測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																			
測定2		調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																																																			
測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																			
測定4		セキュリティゾーン入口	計 点																																																																																																																																																																																			
測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1 m/s以下の位置 計 点																																																																																																																																																																																			
測定6		処理作業室外	・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界																																																																																																																																																																																			
測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																			
測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																																																			
測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																																																			
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																																					
測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																																					
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																																																			
測定4	25	5	30																																																																																																																																																																																			
測定5																																																																																																																																																																																						
	47	10	120																																																																																																																																																																																			
	47	10	240																																																																																																																																																																																			
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																																																				
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																																																																																																																																				
○ SD295A	D10・13																																																																																																																																																																																					
・ SD345																																																																																																																																																																																						
設計基準強度 (N/mm2)	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m3)	適用箇所																																																																																																																																																																																			
○ 21	○ 18	○ 2.3程度	・ 土間、スラブ																																																																																																																																																																																			
○ 18	○ 18	○ 2.3程度	・ 捨てコン																																																																																																																																																																																			
適用径	埋込み深さ L1(mm)	適用箇所																																																																																																																																																																																				
○D10	○50以上	R C土間、R C壁																																																																																																																																																																																				
○D13	○65以上	R C壁																																																																																																																																																																																				
・D16	・80以上																																																																																																																																																																																					
・D19	・95以上																																																																																																																																																																																					
・D22	・110以上																																																																																																																																																																																					
適用径	埋込み深さ L1(mm)	接合筋定着長 L2(mm)	耐力(kN)	引張りせん断	適用箇所																																																																																																																																																																																	
○D10	○80以上	○400以上	24.6		開口閉鎖																																																																																																																																																																																	
SD345																																																																																																																																																																																						
○D13	○105以上	○260以上	43.7		開口閉鎖																																																																																																																																																																																	
SD345																																																																																																																																																																																						

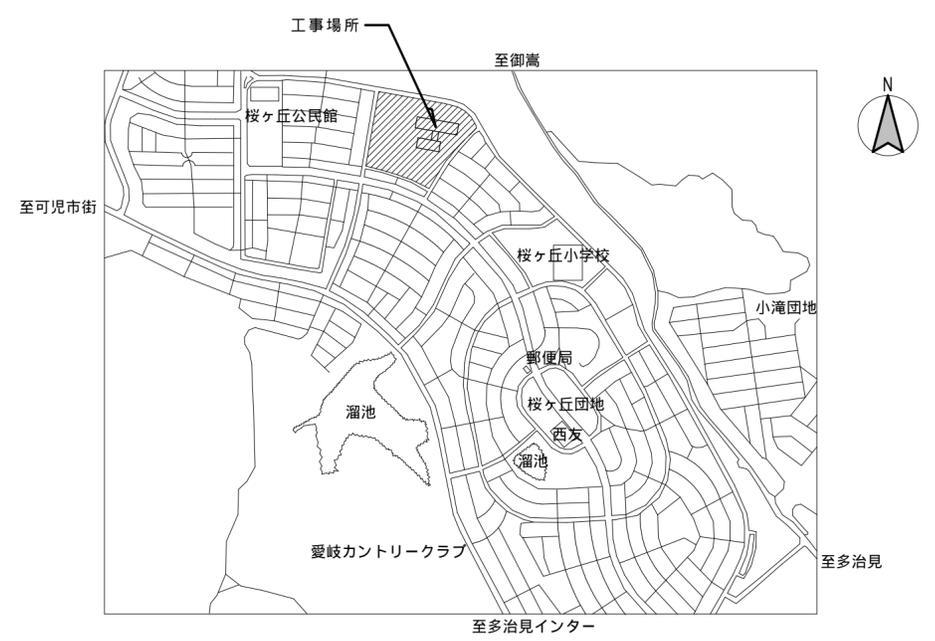
教育委員会事務局 教育総務課			
工事名	可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(期)		
種 別	改修特記仕様書7	図面番号	07/18
縮 尺	-	作成年月日	2024.10
設計者	有限会社 小林建築設計事務所		
氏名	一級建築士 大臣登録 第175199号 小林一輝		



配置図 1/800

- 凡例
- 工事箇所
 - 仮囲い (パネルフェンス H=1,800)
 - ゲート (クロスゲート H=1,800 W=3,000)
工事車両置き場 (クロスゲート H=1,800 W=6,000)
 - 工事搬入経路 (作業車両)

仮設計画と工事車両駐車スペースは、事前に学校との協議を十分に行なうこと。
搬出入時間は生徒の登下校時間を避けた計画とすること。
施工上支障のある仮囲い内の学校施設器具は養生の上移設し、工事終了後復旧する。移設場所、復旧場所は学校との協議による。
場内の砂、土、芝生、舗装等は現状復旧とする。
大型車の搬出入時は誘導員配置のこと。

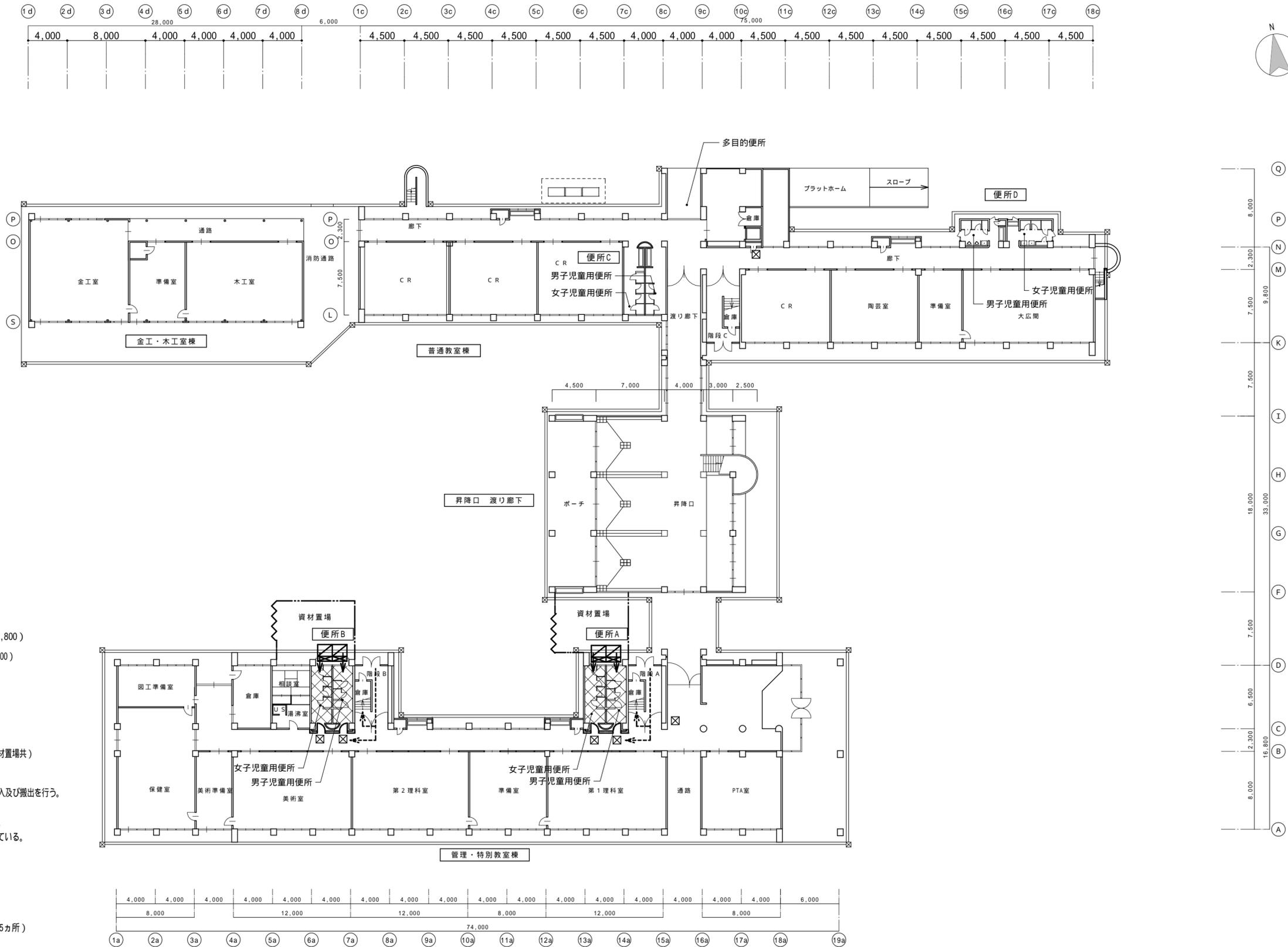


付近見取図

Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事 (期)	Date. 2024.10	Draw. A.K	Section. 建築	No. 08/18
配置図、付近見取図				
Scale. A2: 1/800 A3: x70%	Code.		1級建築士登録第175199号 小林 一輝	



- 仮設凡例**
- 工事箇所
 - 仮囲い(パネルフェンス H=1,800)
 - ゲート(クロスゲート H1800 W3000)
 - 仮設間仕切り B種
 - 仮設扉
 - 工事搬入経路
 - 職入経路
 - 枠組本足場 足場ステージ(資材置場共)
 - ブラケット足場
- 工事材料、解体材料は窓より枠組み足場を利用して搬入及び搬出を行う。
職人の移動は極力少なくし、時間帯に配慮すること。
プール棟は、プール使用期間外の工事を想定している。
多目的便所及び便所C廊下は、夏休みの工事を想定している。

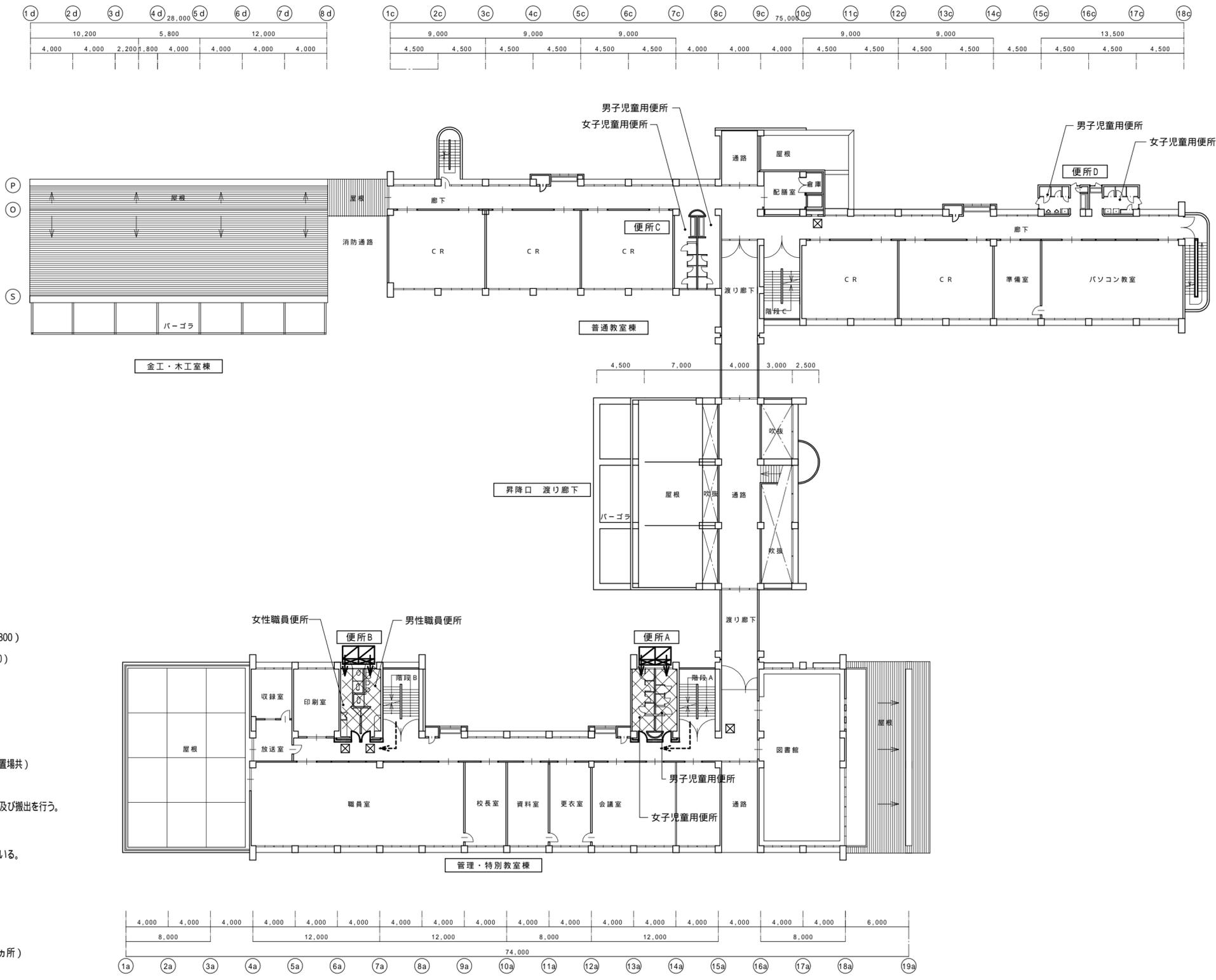
- 仕上凡例**
- 天井点検口(廊下)新設 450角(1階:5カ所)

Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

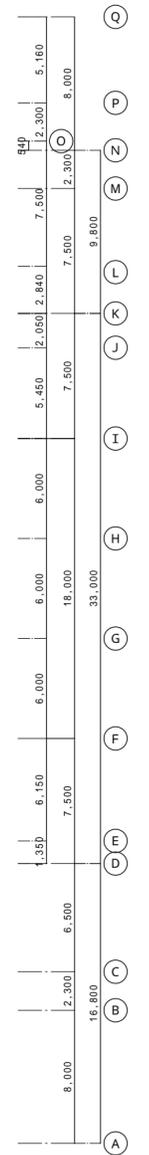
Project. 児見市立東児見中学校トイレ大規模改造工事(期)
 1階 平面図
 Scale. A2: 1/300 A3: x70% Code.

Date. 2024.10 Draw. M.I Section. No. 建築 09/18
 1級建築士登録第175199号 小林 一輝



- 仮設凡例**
- 工事箇所
 - 仮囲い (パネルフェンス H=1,800)
 - ゲート (クロスゲート H1800 W3000)
 - 仮設間仕切り B種
 - 仮設扉
 - 工事搬入経路
 - 職人経路
 - 枠組本足場 足場ステージ (資材置場共)
 - ブラケット足場
- 工事材料、解体材料は窓より枠組み足場を利用して搬入及び搬出を行う。
職人の移動は極力少なくし、時間帯に配慮すること。
プール棟は、プール使用期間外の工事を想定している。
多目的便所及び便所C廊下は、夏休みの工事を想定している。

- 仕上凡例**
- 天井点検口 (廊下) 新設 450角 (2階: 3カ所)

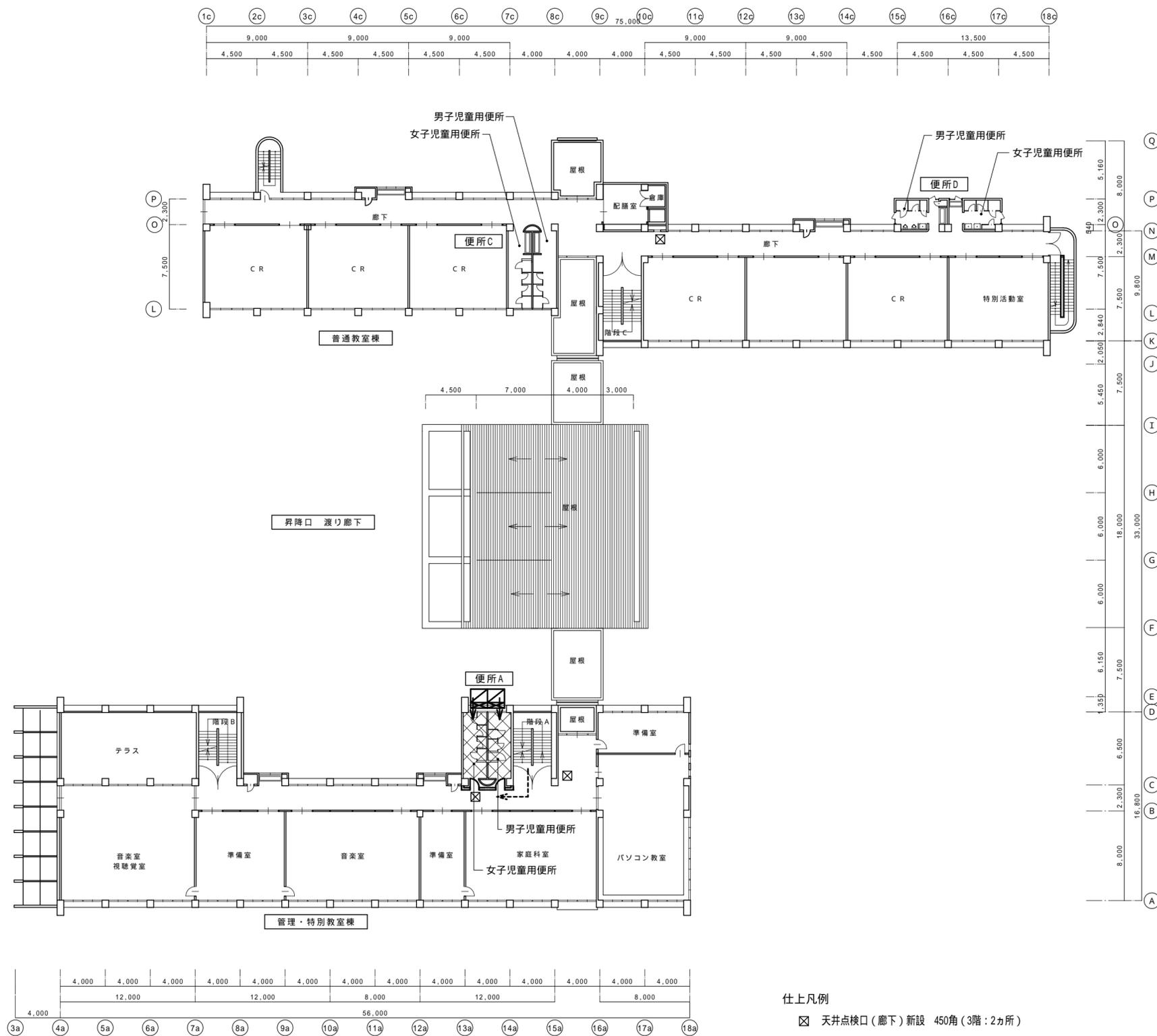


Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事 (期)
 2階 平面図
 Scale. A2: 1/300 A3: x70% Code.

Date. 2024.10 Draw. M.I Section. No. 建築 10/18
 1級建築士登録第175199号 小林 一輝



仕上凡例
 ☒ 天井点検口(廊下)新設 450角(3階:2カ所)

- 凡例
- 工事箇所
 - 仮囲い(パネルフェンス H=1,800)
 - ゲート(クロスゲート H1800 W3000)
 - 仮設間仕切り B種
 - 仮設扉
 - 工事搬入経路
 - 職人経路
 - 枠組本足場 足場ステージ(資材置場共)
 - ブラケット足場

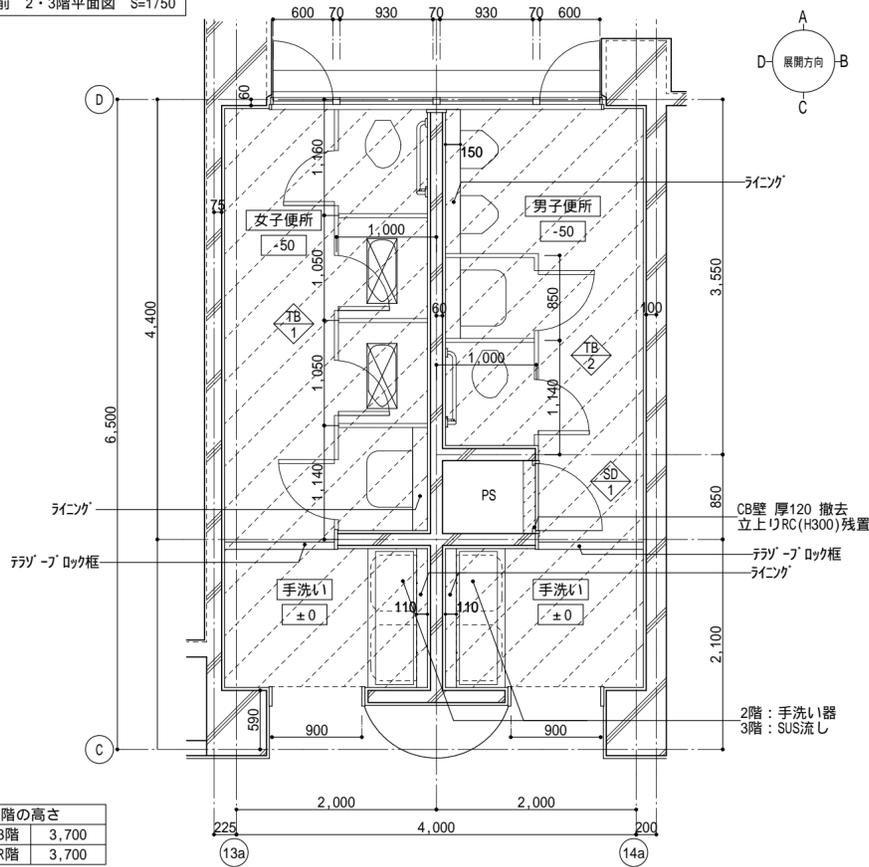
工事材料、解体材料は窓より枠組み足場を利用して搬入及び搬出を行う。
 職人の移動は極力少なくし、時間帯に配慮すること。
 プール棟は、プール使用期間外の工事を想定している。
 多目的便所及び便所C廊下は、夏休みの工事を想定している。

Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

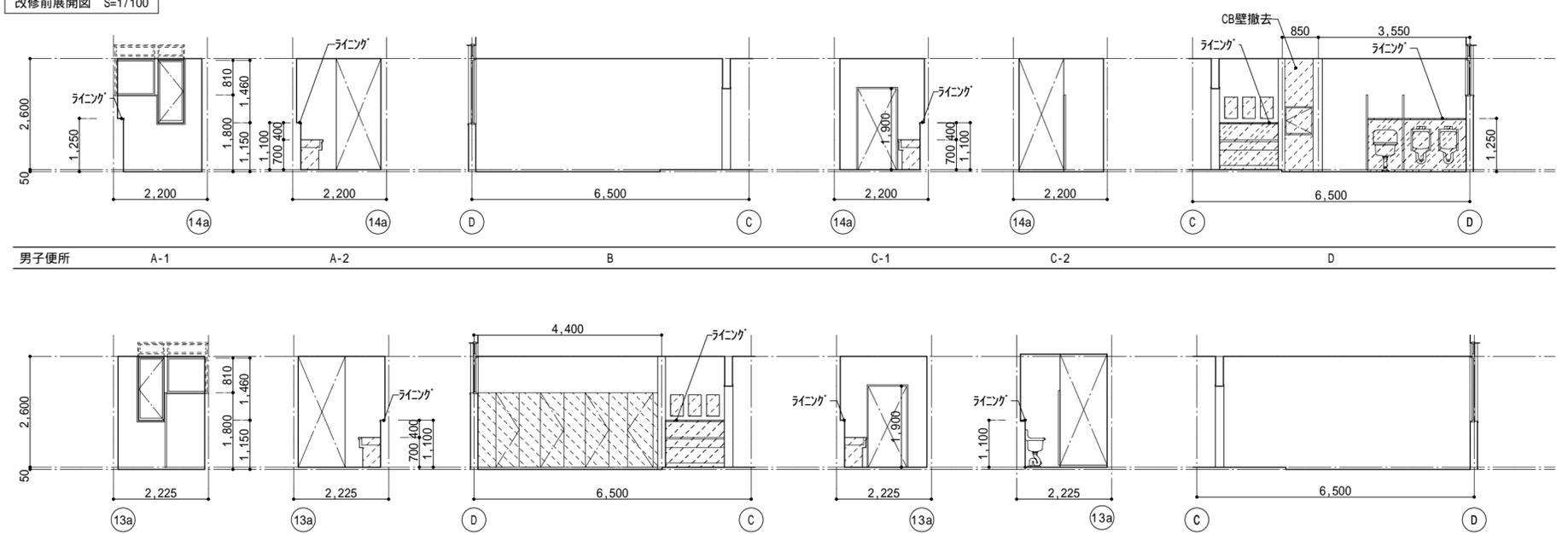
Project.	可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事(期)	Date.	2024.10	Draw.	M.I	Section.	No.
	3階 平面図					建築	11/18
Scale.	A2: 1/300 A3: x70%	Code.	1級建築士登録第175199号 小林 一輝				

改修前 2・3階平面図 S=1/50



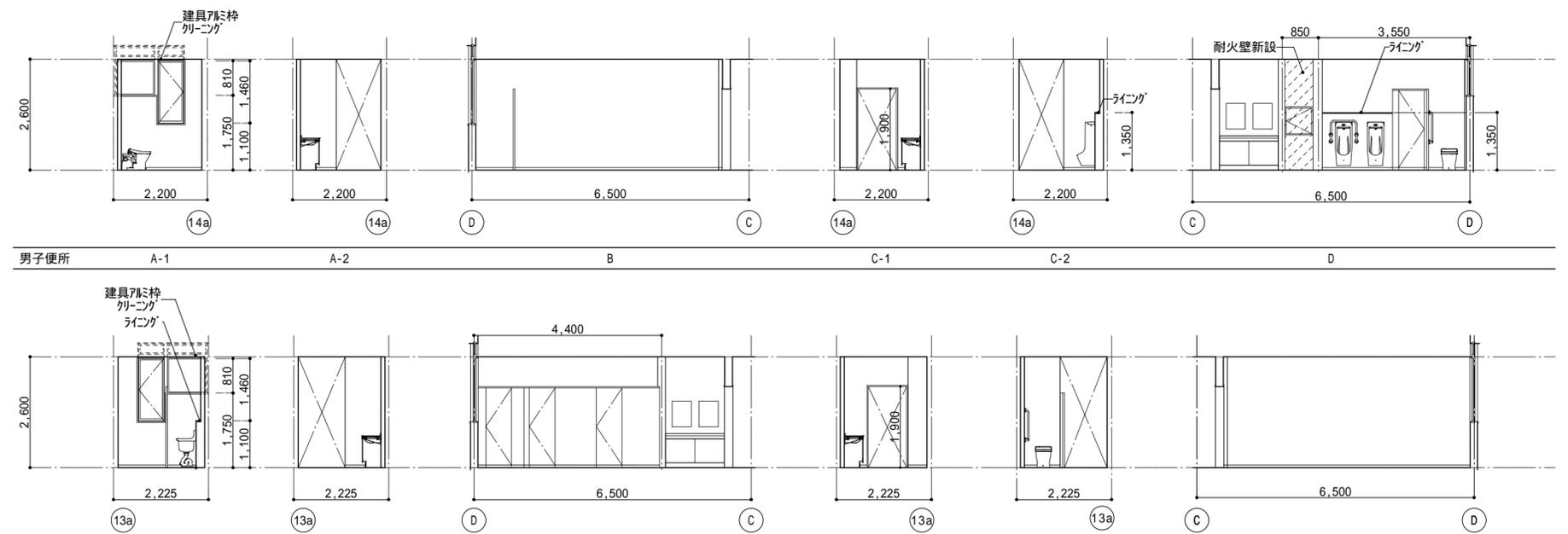
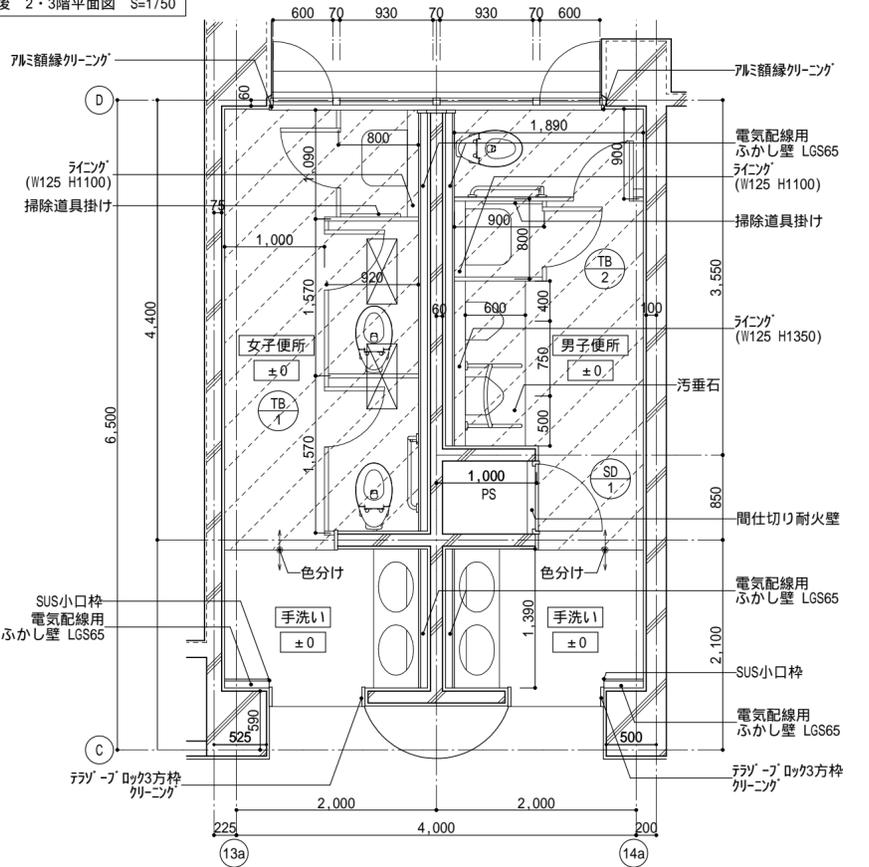
階の高さ	
2階-3階	3,700
3階-R階	3,700

改修前展開図 S=1/100

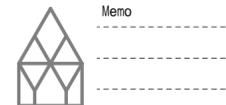


女子便所	A-1	A-2	B	C-1	C-2	D																											
改修前仕上表	<table border="1"> <tr> <td>床 (トイレ)</td> <td>ビニルシート撤去 (下地モルタル共)</td> </tr> <tr> <td>床 (手洗い)</td> <td>ビニルシート厚2.5 (下地モルタル) : 撤去</td> </tr> <tr> <td>床 (共通)</td> <td>シタココンクリート : 一部撤去、アスファルト防水 : 残存</td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>ビニルシート (下地モルタル) : 残存</td> </tr> <tr> <td>ライニング</td> <td>CB壁 厚100 (ビニルシート張り、下地モルタル) : 撤去 面台 テラゾーロック厚30 : 撤去</td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>ケイ化板厚6 VP (LGS天井下地) : 撤去 LGS天井下地 : 2階は撤去、3階は残置</td> </tr> </table>			床 (トイレ)	ビニルシート撤去 (下地モルタル共)	床 (手洗い)	ビニルシート厚2.5 (下地モルタル) : 撤去	床 (共通)	シタココンクリート : 一部撤去、アスファルト防水 : 残存	壁	ビニルシート (下地モルタル) : 残存	ライニング	CB壁 厚100 (ビニルシート張り、下地モルタル) : 撤去 面台 テラゾーロック厚30 : 撤去	天井	ケイ化板厚6 VP (LGS天井下地) : 撤去 LGS天井下地 : 2階は撤去、3階は残置	<table border="1"> <tr> <td>三方枠、床見切</td> <td>テラゾーロック枠 : 残存、テラゾーロック枠 : 撤去</td> </tr> <tr> <td>手洗い</td> <td>スチール手洗い : 撤去 手洗い器 : 撤去 (機械設備工事)</td> </tr> <tr> <td>トイレス</td> <td>撤去</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>和式便器 : 撤去 (建築工事) 洋式便器 : 撤去、小便器 : 撤去、SK : 撤去、 SUS手摺 : 撤去、鏡 : 撤去 (機械設備工事)</td> </tr> </table>		三方枠、床見切	テラゾーロック枠 : 残存、テラゾーロック枠 : 撤去	手洗い	スチール手洗い : 撤去 手洗い器 : 撤去 (機械設備工事)	トイレス	撤去	備考	和式便器 : 撤去 (建築工事) 洋式便器 : 撤去、小便器 : 撤去、SK : 撤去、 SUS手摺 : 撤去、鏡 : 撤去 (機械設備工事)	<table border="1"> <tr> <td>撤去範囲</td> <td>床 : 特記なき限り仕上表による 壁 : 特記なき限り仕上表による ライニング 壁 : 磁器質ビニルシート張り (CB共) 撤去 ライニング 面台 : テラゾーロック厚30</td> </tr> <tr> <td>撤去範囲</td> <td>床 : 特記なき限り仕上表による 壁 : 特記なき限り仕上表による ライニング 壁 : 磁器質ビニルシート張り (CB共) 撤去 ライニング 面台 : テラゾーロック厚30</td> </tr> <tr> <td>撤去範囲</td> <td>トイレス撤去 和便器撤去 周囲土間コンクリート厚100 かけ入れ、撤去</td> </tr> </table>		撤去範囲	床 : 特記なき限り仕上表による 壁 : 特記なき限り仕上表による ライニング 壁 : 磁器質ビニルシート張り (CB共) 撤去 ライニング 面台 : テラゾーロック厚30	撤去範囲	床 : 特記なき限り仕上表による 壁 : 特記なき限り仕上表による ライニング 壁 : 磁器質ビニルシート張り (CB共) 撤去 ライニング 面台 : テラゾーロック厚30	撤去範囲	トイレス撤去 和便器撤去 周囲土間コンクリート厚100 かけ入れ、撤去
床 (トイレ)	ビニルシート撤去 (下地モルタル共)																																
床 (手洗い)	ビニルシート厚2.5 (下地モルタル) : 撤去																																
床 (共通)	シタココンクリート : 一部撤去、アスファルト防水 : 残存																																
壁	ビニルシート (下地モルタル) : 残存																																
ライニング	CB壁 厚100 (ビニルシート張り、下地モルタル) : 撤去 面台 テラゾーロック厚30 : 撤去																																
天井	ケイ化板厚6 VP (LGS天井下地) : 撤去 LGS天井下地 : 2階は撤去、3階は残置																																
三方枠、床見切	テラゾーロック枠 : 残存、テラゾーロック枠 : 撤去																																
手洗い	スチール手洗い : 撤去 手洗い器 : 撤去 (機械設備工事)																																
トイレス	撤去																																
備考	和式便器 : 撤去 (建築工事) 洋式便器 : 撤去、小便器 : 撤去、SK : 撤去、 SUS手摺 : 撤去、鏡 : 撤去 (機械設備工事)																																
撤去範囲	床 : 特記なき限り仕上表による 壁 : 特記なき限り仕上表による ライニング 壁 : 磁器質ビニルシート張り (CB共) 撤去 ライニング 面台 : テラゾーロック厚30																																
撤去範囲	床 : 特記なき限り仕上表による 壁 : 特記なき限り仕上表による ライニング 壁 : 磁器質ビニルシート張り (CB共) 撤去 ライニング 面台 : テラゾーロック厚30																																
撤去範囲	トイレス撤去 和便器撤去 周囲土間コンクリート厚100 かけ入れ、撤去																																
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・タイル及びモルタル浮部のうち化粧板の下地とする箇所は、撤去の上モルタル塗りとして下地調整する ・タイル及びモルタルひび割れ箇所は、浮きが生じてない場合は残置とする ・2階以上の和便器撤去部分は開口閉鎖を行う 																																

改修後 2・3階平面図 S=1/50

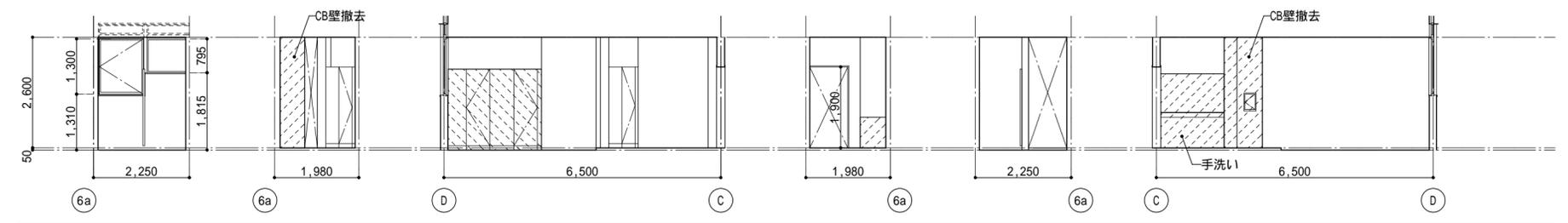
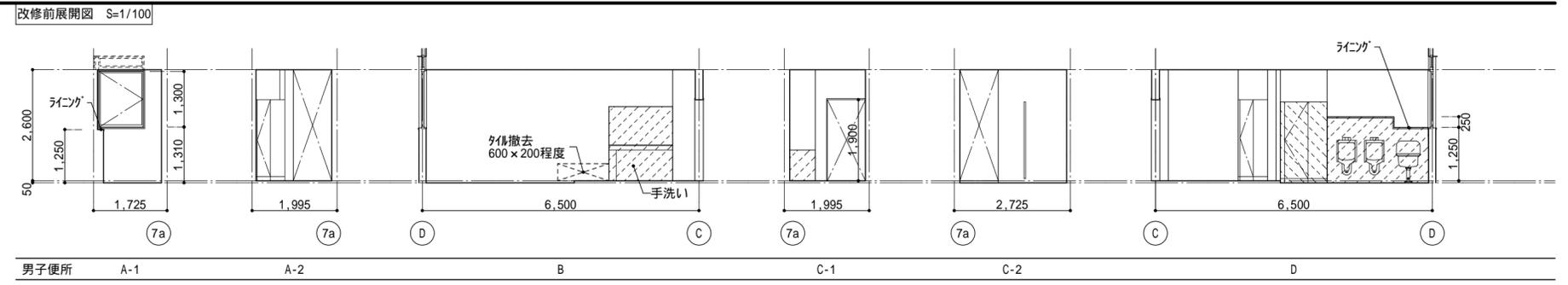
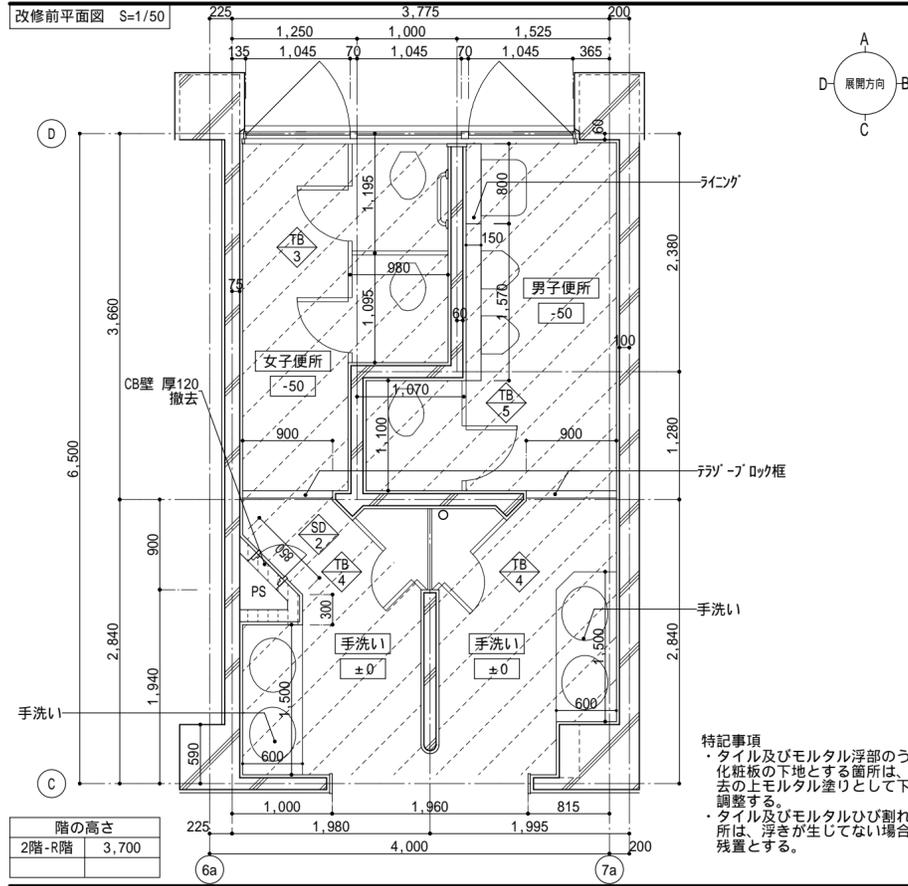


女子便所	A-1	A-2	B	C-1	C-2	D																			
改修後仕上表	<table border="1"> <tr> <td>床 (便所)</td> <td>ビニルシート厚2.0 : 新設</td> </tr> <tr> <td>床 (手洗い)</td> <td>ビニルシート厚2.0 : 新設</td> </tr> <tr> <td>巾木</td> <td>SUS巾木H=60 : 新設</td> </tr> <tr> <td>壁</td> <td>既設タイル下地調整の上、不燃珪藻土化粧板厚3 直張り : 新設 LGS下地、GB-S 厚12.5下張り不燃珪藻土化粧板厚3 : 新設 PS壁 : LGS65下地 強化石膏ボード厚21+21片面 下張り 不燃珪藻土化粧板厚3 : 新設 (5/27 下まで、1時間耐火仕様)</td> </tr> <tr> <td>ライニング</td> <td>LGS下地、GB-S厚12.5下張り不燃珪藻土化粧板厚3 : 新設 ※ ストーム面台 : 新設</td> </tr> </table>			床 (便所)	ビニルシート厚2.0 : 新設	床 (手洗い)	ビニルシート厚2.0 : 新設	巾木	SUS巾木H=60 : 新設	壁	既設タイル下地調整の上、不燃珪藻土化粧板厚3 直張り : 新設 LGS下地、GB-S 厚12.5下張り不燃珪藻土化粧板厚3 : 新設 PS壁 : LGS65下地 強化石膏ボード厚21+21片面 下張り 不燃珪藻土化粧板厚3 : 新設 (5/27 下まで、1時間耐火仕様)	ライニング	LGS下地、GB-S厚12.5下張り不燃珪藻土化粧板厚3 : 新設 ※ ストーム面台 : 新設	<table border="1"> <tr> <td>天井</td> <td>GB-D厚9.5 : 新設 LGS天井下地 : 新設 (最上階は既存のまま)</td> </tr> <tr> <td>トイレス</td> <td>珪藻土化粧板フラッシュ : 新設</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>スチール掃除道具掛け : 新設 建具7mm緑線カーニング 洋式便器 : 新設、小便器 : 新設、手すり (L型) : 新設、 小便器用手すり : 新設、SK : 新設 手洗い器 : 新設、鏡 : 新設 (機械設備工事)</td> </tr> </table>		天井	GB-D厚9.5 : 新設 LGS天井下地 : 新設 (最上階は既存のまま)	トイレス	珪藻土化粧板フラッシュ : 新設	備考	スチール掃除道具掛け : 新設 建具7mm緑線カーニング 洋式便器 : 新設、小便器 : 新設、手すり (L型) : 新設、 小便器用手すり : 新設、SK : 新設 手洗い器 : 新設、鏡 : 新設 (機械設備工事)	<table border="1"> <tr> <td>改修内容</td> <td>コンクリート嵩上げ 厚80 溶接金網 6 100x100 和便器開口閉塞 FC21-18</td> </tr> </table>		改修内容	コンクリート嵩上げ 厚80 溶接金網 6 100x100 和便器開口閉塞 FC21-18
床 (便所)	ビニルシート厚2.0 : 新設																								
床 (手洗い)	ビニルシート厚2.0 : 新設																								
巾木	SUS巾木H=60 : 新設																								
壁	既設タイル下地調整の上、不燃珪藻土化粧板厚3 直張り : 新設 LGS下地、GB-S 厚12.5下張り不燃珪藻土化粧板厚3 : 新設 PS壁 : LGS65下地 強化石膏ボード厚21+21片面 下張り 不燃珪藻土化粧板厚3 : 新設 (5/27 下まで、1時間耐火仕様)																								
ライニング	LGS下地、GB-S厚12.5下張り不燃珪藻土化粧板厚3 : 新設 ※ ストーム面台 : 新設																								
天井	GB-D厚9.5 : 新設 LGS天井下地 : 新設 (最上階は既存のまま)																								
トイレス	珪藻土化粧板フラッシュ : 新設																								
備考	スチール掃除道具掛け : 新設 建具7mm緑線カーニング 洋式便器 : 新設、小便器 : 新設、手すり (L型) : 新設、 小便器用手すり : 新設、SK : 新設 手洗い器 : 新設、鏡 : 新設 (機械設備工事)																								
改修内容	コンクリート嵩上げ 厚80 溶接金網 6 100x100 和便器開口閉塞 FC21-18																								
【床断面詳細図 1/30】																									

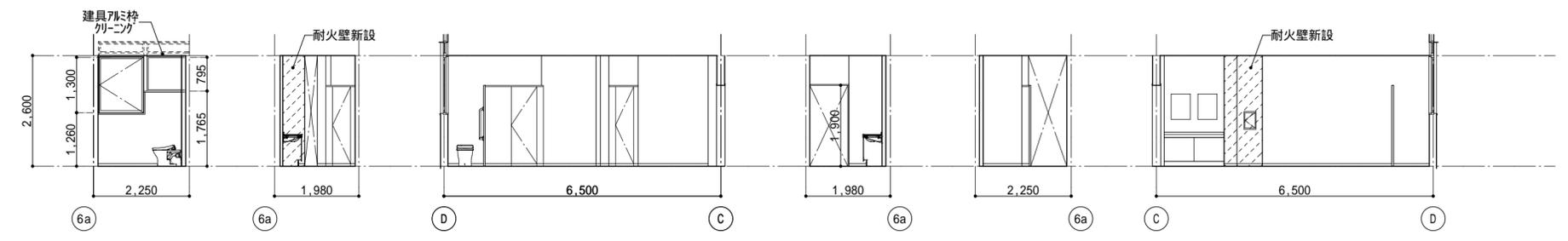
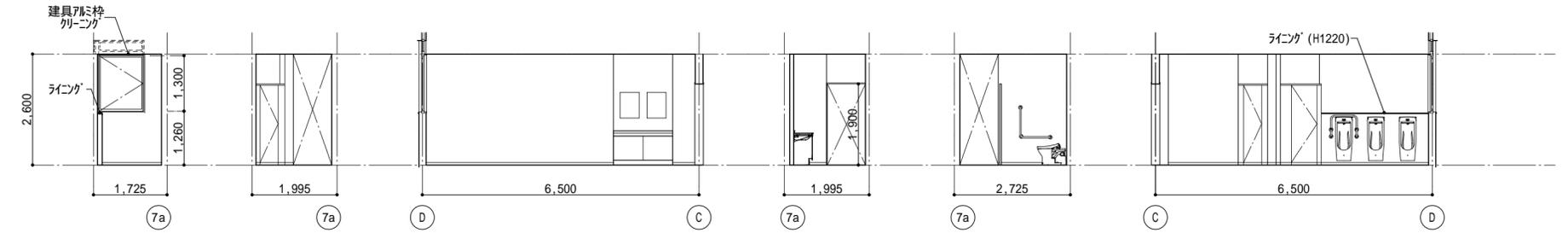
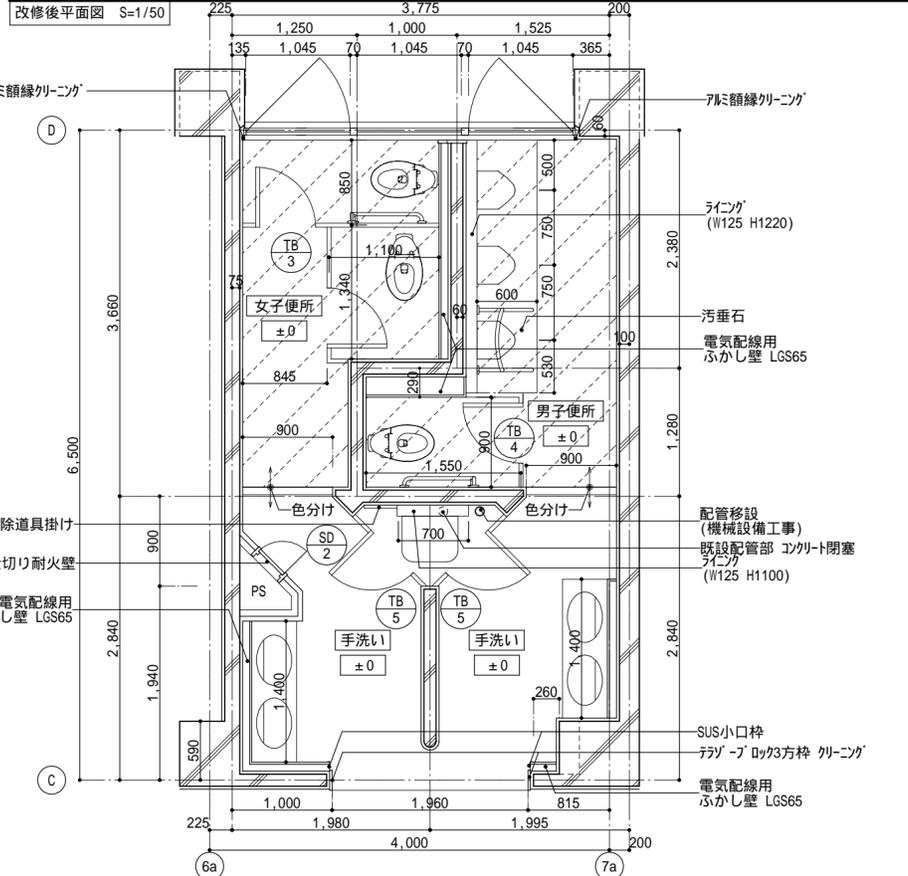
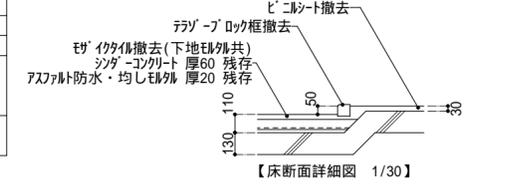


設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

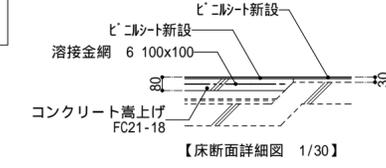
Project.	可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事 (期)	Date.	2024.10	Draw.	M.I	Section.	建築	No.	13/18
Scale.	A2: 1/50・100 A3: ×70%	Code.							
		1級建築士登録第175199号 小林 一輝							



改修前仕上表		撤去範囲	
床(トイレ)	ビニルシート撤去(下地除外共)	床	特記なき限り仕上表による
床(手洗い)	ビニルシート厚2.5(下地除外)：ビニルシートのみ撤去	壁	特記なき限り仕上表による
壁	ビニルシート(下地除外)：残存	ライニング壁	磁器質タイル張り(CB共)撤去
ライニング	CB壁厚100(タイル張り、下地除外)：撤去	ライニング面台	テゾーロック厚30
面台	テゾーロック厚30：撤去	トイレノース	撤去
天井	石綿付加板厚6 VP(LGS天井下地)：撤去	備考	洋式便器：撤去、小便器：撤去、SK：撤去、鏡：撤去、SUS手摺：撤去(機械設備工事)
	LGS天井下地：残存		



改修後仕上表		改修内容	
床(便所)	ビニルシート厚2.0：新設	天井	GB-D厚9.5：新設
床(手洗い)	ビニルシート厚2.0：新設	ライニング	LGS天井下地：既存のまま
壁	SUS巾木H=60：新設	ライニング	タイル化粧板フラッシュ：新設
ライニング	既設タイル下地調整の上、不燃タイル化粧板厚3直張り：新設	備考	スチール掃除道具掛け：新設
	LGS下地、GB-S厚12.5下張り不燃タイル化粧板厚3：新設		建具アルミ枠：クリンク
	PS壁：LGS65下地 強化石膏ボード厚21+21片面下張り		洋式便器：既設のまま、小便器：新設、手すり(L型)：新設、小便器用手すり：新設、SK：新設
	PS壁：LGS65下地 強化石膏ボード厚21+21片面下張り		手洗い器：新設、鏡：新設(機械設備工事)
	不燃タイル化粧板厚3：新設(スチール下地、1時間耐火仕様)		
	面台		
	不燃タイル化粧板厚3：新設		
	面台		
	不燃タイル化粧板厚3：新設		
	面台		
	不燃タイル化粧板厚3：新設		



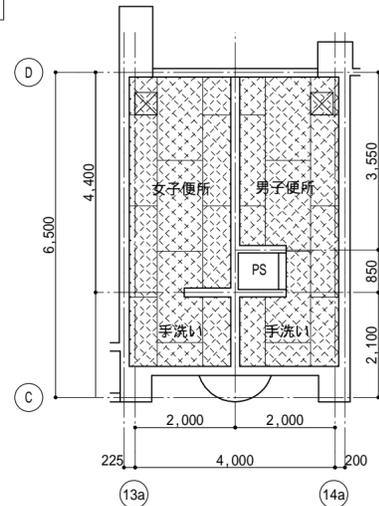
Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(期)
改修後 管理・特別教室棟 2階便所B 平面詳細図、展開図
Scale. A2: 1/50・100 A3: ×70% Code.
Date. 2024.10 Draw. M.I Section. No. 建築 14/18
1級建築士登録第175199号 小林 一輝

改修前天井伏図 S=1/100

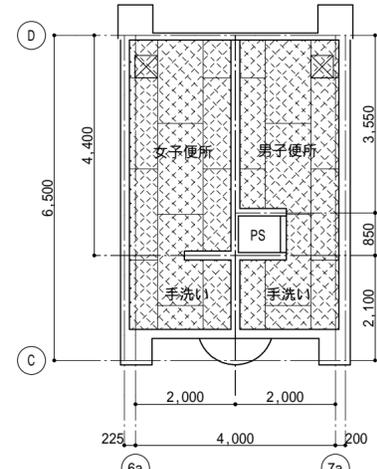
改修前 凡例	
	天井仕上げ撤去
	LGS天井地下撤去 最上層は残置



・3階のみLGS下地残置

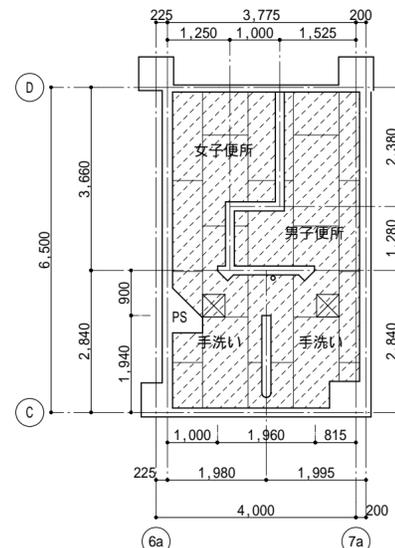
1・2・3階

管理・特別教室棟 便所A



1階

管理・特別教室棟 便所B



・2階のみLGS下地残置

2階

改修前 天井仕上表

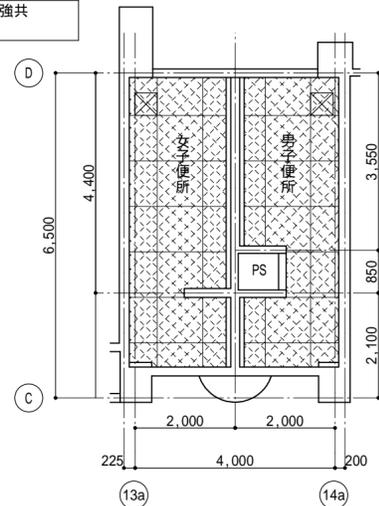
管理・特別教室棟 便所A	ケガレ板厚6 VP：撤去
--------------	--------------

改修前 天井仕上表

管理・特別教室棟 便所B	ケガレ板厚6 VP：撤去
--------------	--------------

改修後天井伏図 S=1/100

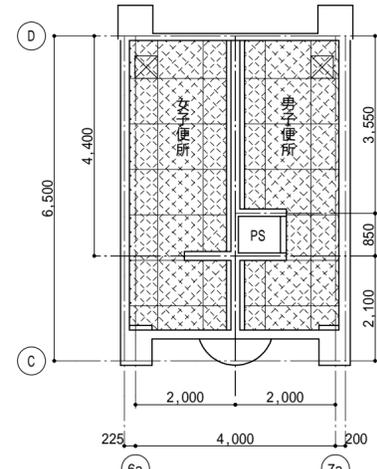
改修後 凡例	
	天井仕上げ新設
	LGS天井地下新設 特記なき限り19型 最上層は既存のまま
	天井点検口新設 開口補強共 7#に製 450 額縁タイプ



・3階のみLGS下地既存利用

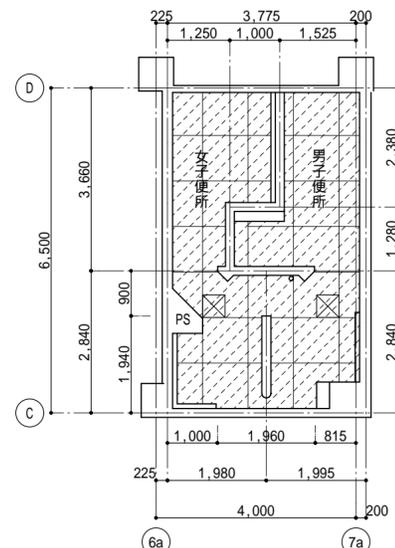
1・2・3階

管理・特別教室棟 便所A



1階

管理・特別教室棟 便所B



・2階のみLGS下地既存利用

2階

改修後 天井仕上表

管理・特別教室棟 便所A	GB-D厚9.5：仕上のみ新設 塩ビ廻り縁新設
--------------	----------------------------

改修後 天井仕上表

管理・特別教室棟 便所B	GB-D厚9.5：仕上のみ新設 塩ビ廻り縁新設
--------------	----------------------------

Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

Project.	可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事(期)	Date.	2024.10	Draw.	M.I	Section.	建築	No.	15/18
Scale.	A2: 1/100 A3: x70%	Code.		1級建築士登録第175199号 小林 一輝					

符号 (材質)	使用場所 (階、室名)	形式・機構	数量	内法寸法		枠見込	ガラス 複層ガラス (外+空気層+内)	材質程度 ・仕上げ	金物類			性能 (枠・窓摺・付属品等)	符号 (材質)	使用場所 (階、室名)	形式・機構	数量	内法寸法		枠見込	ガラス 複層ガラス (外+空気層+内)	材質程度 ・仕上げ	金物類			性能 (枠・窓摺・付属品等)
				W	H				支持金物 +自閉機構	ハドノ類	錠						W	H				支持金物 +自閉機構	ハドノ類	錠	
SD 1 撤去	1-3F 便所A 男子便所 1F 便所B 男子便所	点検口扉	4	600	600								TB 1 新設	1-3F 便所A 女子便所 1F 便所B 女子便所	トイレブース	4	図示による	1,900	40	ガラス化粧板 (芯材H=11-7F)	中心吊り付 錠	取手付き 表示錠	SUS巾木・SUS笠木 7本曲面1ヶ 戸当たり(帽子掛け付き) 扉は常時開放45°とする		
SD 2 撤去	2F 便所B 女子手洗い	点検口扉	1	300	300								TB 2 新設	1-3F 便所A 男子便所 1F 便所B 男子便所	トイレブース	4	図示による	1,900	40	ガラス化粧板 (芯材H=11-7F)	中心吊り付 錠	取手付き 表示錠	SUS巾木・SUS笠木 7本曲面1ヶ 戸当たり(帽子掛け付き) 扉は常時開放45°とする		
TB 1 撤去	1-3F 便所A 女子便所 1F 便所B 女子便所	トイレブース	4	図示による	1,800	40		ガラス化粧板 SUS笠木 SUS巾木					TB 3 新設	2F 便所B 女子便所	トイレブース	1	図示による	1,900	40	ガラス化粧板 (芯材H=11-7F)	中心吊り付 錠	取手付き 表示錠	SUS巾木・SUS笠木 7本曲面1ヶ 戸当たり(帽子掛け付き) 扉は常時開放45°とする		
TB 2 撤去	1-3F 便所A 男子便所 1F 便所B 男子便所	トイレブース	4	図示による	1,800	40		ガラス化粧板 SUS笠木 SUS巾木					TB 4 新設	2F 便所B 男子便所	トイレブース	1	図示による	1,900	40	ガラス化粧板 (芯材H=11-7F)	中心吊り付 錠	取手付き 表示錠	SUS巾木・SUS笠木 7本曲面1ヶ 戸当たり(帽子掛け付き) 扉は常時開放45°とする		
TB 3 撤去	2F 便所B 女子便所	トイレブース	1	図示による	1,800	40		ガラス化粧板 SUS笠木 SUS巾木					TB 5 新設	2F 便所B 女子手洗い 便所B 男子手洗い	トイレブース	2	図示による	1,900	40	ガラス化粧板 (芯材H=11-7F)	中心吊り付 錠	取手付き 表示錠	SUS巾木・SUS笠木 7本曲面1ヶ		
TB 4 撤去	2F 便所B 男子便所	トイレブース	1	1,100	1,800	40		ガラス化粧板 SUS笠木 SUS巾木					SD 1 新設	1-3F 便所A 男子便所 1F 便所B 男子便所	点検口扉	4	600	600	50		垂鉛付鋼板 SOP	H	CSH	点検口錠	
TB 5 撤去	2F 便所B 女子手洗い 便所B 男子手洗い	トイレブース	2	1,000	1,800	40		ガラス化粧板 SUS笠木 SUS巾木					SD 2 新設	2F 便所B 女子手洗い	点検口扉	1	300	300	50		垂鉛付鋼板 SOP	H	CSH	点検口錠	
SD 1 新設	1-3F 便所A 男子便所 1F 便所B 男子便所	点検口扉	4	600	600	50		垂鉛付鋼板 SOP	H	CSH	点検口錠		TB 5 新設	2F 便所B 女子手洗い 便所B 男子手洗い	トイレブース	2	図示による	1,900	40	ガラス化粧板 (芯材H=11-7F)	中心吊り付 錠	取手付き 表示錠	SUS巾木・SUS笠木 7本曲面1ヶ 扉の開き勝手は平面図による		
SD 2 新設	2F 便所B 女子手洗い	点検口扉	1	300	300	50		垂鉛付鋼板 SOP	H	CSH	点検口錠														

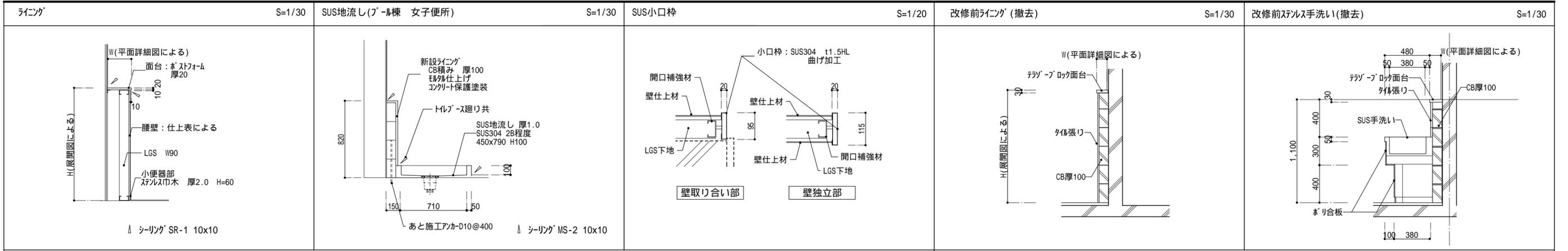
建具の種類と符号					建具金物などの種類と仕様					建具金物などの種類と仕様								
符号	種類	符号	種類	種類	区分	符号	種類	符号	種類	符号	種類	符号	種類	種類				
AD	アルミニウム製戸	WD	木製戸	AG	アルミニウム製がらり	C	空錠	SL-1	引戸錠(鍵錠)	G-1	グレモン錠	DC-S	ドアクローザー(ストップ付)	DC-SN	ドアクローザー(ストップ無)			
SD	鋼製戸	AW	アルミニウム製窓	SG	鋼製がらり	PD	本締り錠	SL-2	引戸錠(上吊り戸用・ロッドタイプ)	G-2	グレモン錠(脱着ハンドル)	H	丁番	PH	ピボットヒンジ(枠付け)	FD	上げ落とし(フランス落し)	
LD	鋼製軽量戸	TB	トイレブース	STG	ステンレス製がらり	CP	シリンダー箱錠	SL-3	引違戸錠	K	点検扉錠(面付け本締り錠)	FH	フロアヒンジ	SH	軸吊りヒンジ			
ガラスの種類と符号					建具金物などの種類と仕様	LCD	レバーハンドル錠	MW	本締り付きモノロック(両面錠)			LH	レバーハンドル	CSH	ケースハンドル	HH	掘込引手	
FL	フロ-ト板ガラス	T型	型板強化ガラス	PWC		網入ガラス(防火設備)	MCP	握玉ハンドル錠	MS	本締り付きモノロック(片面錠)			N	握玉	PP	プッシュプル錠	PB	押し手バー
F	型板ガラス	D	複層ガラス	FWC		網入型板ガラス(防火設備)							DS	戸当り				
T	強化ガラス	LE	Low-Eガラス										AS	アームストッパー				

Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事 (期)
 Date . 2024.10
 Draw. M.I
 Section. No. 建築 16/18
 Scale . A2 : 1/100 A3 : x70% Code. 1級建築士登録第175199号 小林 一輝

建具表 (1)

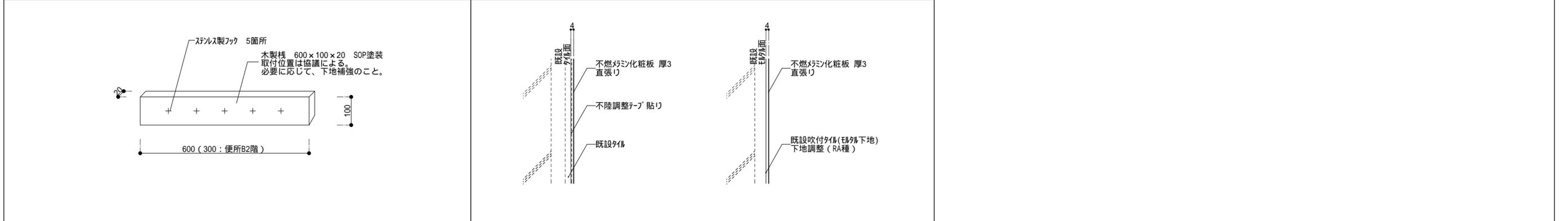


和便器開口閉鎖 S=1/20

室名	版厚	配筋	短辺方向	長辺方向
便所A 2・3階	150	上端	D13@150	D13@150
		下端	D13@150	D13@150
便所B 2階	130	上端	D13@150	D13@150
		下端	D13@150	D13@150

特記事項
 あと施工アンカー(接着系)の埋込長10dとする。
 あと施工アンカーとスラブ筋、もしくは開口補強筋の定着は、重ね継手40d、またはフレア溶接10d(片面)とすること。

掃除用具掛け S=1/10 化粧タイル合板直貼り S=1/5



サイン姿図 S=1/5

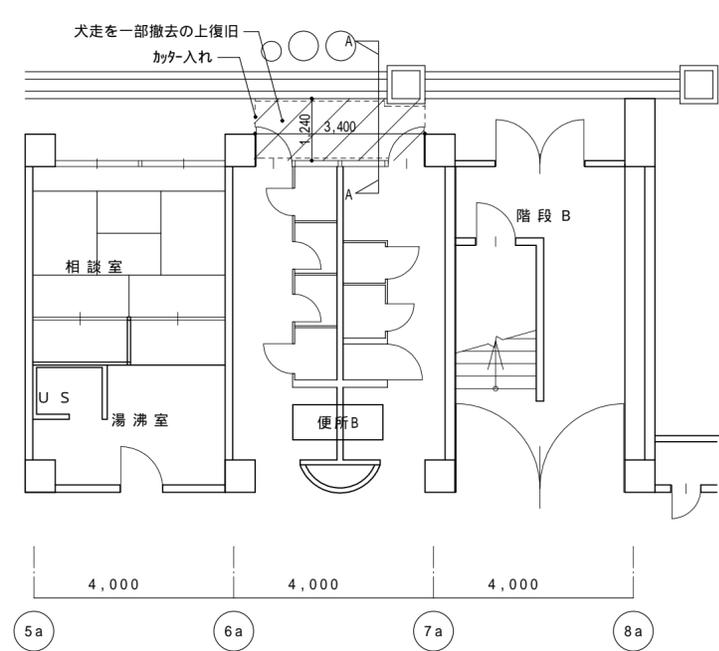
室名札仕様
 本体: アクリル板 厚5.0 つや消し
 表示: インクジェット印刷
 枠材: アルミ型材(シルバー)
 表示する案内用図記号はJIS Z 8210による。
 案内用図記号の色彩はJIS Z 9101-1995による。
 多目的トイレ用の表示マークは設置する設備による。

リスト

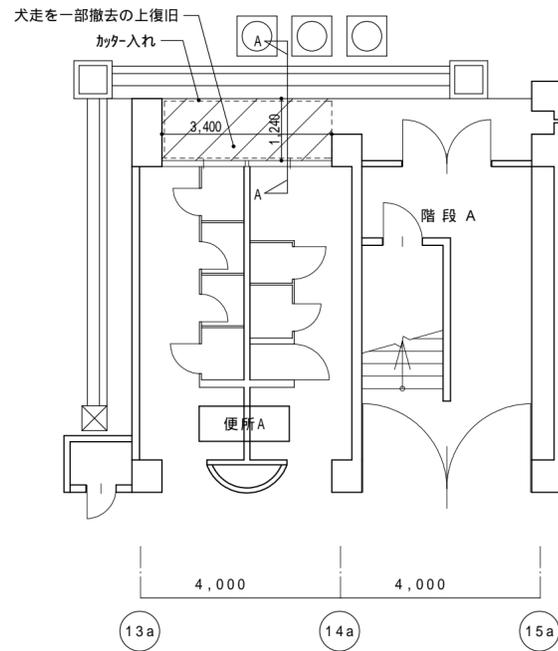
案内図	タイプ	数量	備考	室名
男子便所	平付け	5	標準詳細図: 8-44-1	便所A 1~3階 便所B 1・2階
女子便所	平付け	5	標準詳細図: 8-44-1	便所A 1~3階 便所B 1・2階

撤去リスト

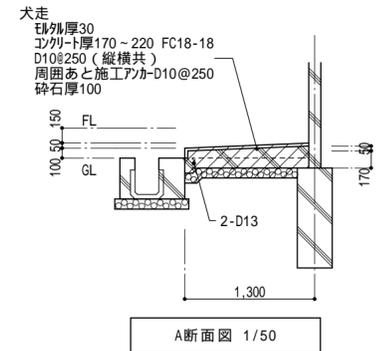
案内図	タイプ	数量	室名
男子便所	平付け	4	便所A 1~3階 便所B 1階
女子便所	平付け	4	便所A 1~3階 便所B 1階



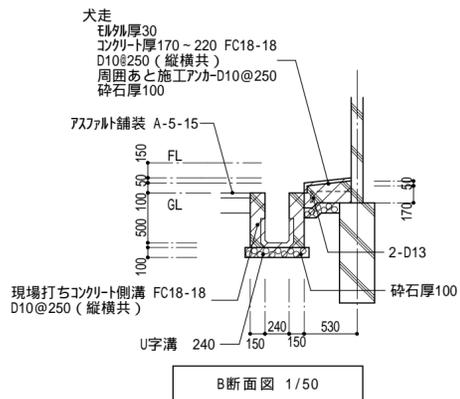
便所B土間改修図 1/100



便所A土間改修図 1/100



A断面図 1/50



B断面図 1/50

撤去・復旧範囲



Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(期)
 土間改修図
 Scale. A2: 1/50・100 A3: ×70%

Date. 2024.10
 Draw. A.K
 Section. No. 建築 18/18
 1級建築士登録第175199号 小林 一輝

電 気 設 備 工 事 仕 様 書

I, 工事概要

1. 工事名称 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）
2. 工事場所 岐阜県 可児市 皇ヶ丘 4丁目71
3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
管理・特別教室	煉	RC	3	2,402	7項 () 改修
	煉				項 ()
	煉				項 ()
	煉				項 ()
	煉				項 ()
	煉				項 ()

4. 工事項目 (○印内に番号記入のもの及び 印のみ適用する)

工事項目	建物名称								屋外その他
	管理・特別教室	ホール							
○ 高圧受変電設備									
○ 自家発電設備									
① 幹線設備	○								
○ 動力設備									
② 電灯設備									
○ 照明設備	○								
○ コンセント設備	○								
・ 電気暖房設備									
○ 放送、電気時計設備									
・ 館内放送 設備									
・ 設備									
・ 電気時計設備									
○ 電話設備									
・ 電話用配線設備									
・ LAN用配線設備									
○ 表示、警報設備									
・ トイレ呼出表示設備									
・ 警備保障会社用配管設備									
・ ITV設備									
○ インターホン設備									
○ テレビ共聴設備									
○ 防災設備									
・ 自動火災報知設備									
・ 自動閉鎖装置設備									
・ ガス漏れ警報設備									
・ 誘導灯設備									
・ 非常用照明設備									
・ 非常警報設備									
・ 漏電火災警報設備									
○ 避雷針設備									
○ 構内配電線路 (強電)									
○ 構内配電線路 (弱電)									
○ 太陽光発電設備									

5. 別途工事

- 建築工事 ○ 機械設備工事

II, 工事仕様

1. 共通仕様 (○印のみ適用する)

特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。

- 工事請負契約書
- 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 最新版 (国土交通大臣官房官庁官構部監修)
- 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) 最新版 (国土交通大臣官房官庁官構部監修)
- 公共建築改修工事標準仕様書 最新版 (国土交通大臣官房官庁官構部監修)
- ・ 公共住宅建設工事共通仕様書 最新版 (公共住宅事業者等連絡協議会監修)
- 可児市建築工事共通仕様書 最新版 (可児市)
- 内線規程 最新版 (電気技術基準調査委員会編)
- 放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各機材メーカー標準と読み替える。

2. 特記仕様 (項目は番号に○印記入のもの、選択式の特記事項は 印のみ適用する)

項目	特記事項
① 適用範囲 (1)	この特記仕様書、図面及び現場説明書 (質疑応答を含む) に記載されていない事項は全て国土交通大臣官房官庁官構部監修の公共建築工事標準仕様書 (最新版)、公共建築改修工事標準仕様書 (最新版) による。設計図書間等に相違がある場合の優先順位は下記のとおりとする。 1) 質疑応答書 2) 現場説明書 3) 工事仕様書 4) 標準特記仕様書 (添付された場合に限る) 5) 図面 6) 公共建築改修工事標準仕様書 7) 公共建築工事標準仕様書 8) 可児市建築工事共通仕様書 本工事に関係する法律、政令、省令、告示、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。 受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。 公共建築工事標準仕様書 第1編 第1章 1-1-4 工事実績情報の登録により、工事受注代金額500万円以上の工事について「CORINS」を作成、登録することとする。 手続きの流れは別紙のとおりとする。
② 適用範囲 (2)	
③ 法規等の事項	
④ 工事実績情報の作成・登録	
⑤ 提出書類	本工事に係る提出書類は、可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき作成し提出または提示とする。 また、工事着手時に工事用製本(A3二つ折り)3部を提出とする。 工事完成時には可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき書類を整理し完成図書としてまとめ監督員に提出とする。 完成図は施工図も含め完成製本(A2二つ折り、A3二つ折り)各2部提出とする。 また、CADデータ(JWW又はDXF及びPDF)を提出とする。 提出・指示書類は可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき実施するものとする。 また、工事打合簿(指示・協議・承諾は除く)、材料確認簿、段階確認簿、確認・立会願、夜間・休日作業届の書類を提出する場合は、所定様式に基づき電子メールにて提出するものとし、書面には署名又は押印する必要は無いものとする。 これらに定めない事項については、監督員と協議とする。
⑥ 完成時の提出書類	
⑦ 工事書類の簡素化	
⑧ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。
⑨ 質 疑	本工事に係る設計図書に関する質疑は、工事着手前に確かめておかなければならない。設計図書に記載がなくとも、外観上、構造上、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い施工しなければならない。 発注者の希望、その他により設計変更が生じる時は、原則として当該工事の見積書を予め提出し、承認を受けた後変更工事に着手する。尚この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、本工事施工において工務上必要な微細なる工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工する。
⑩ 設計変更	
⑪ 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない
⑫ 実施状況の提出について	受注者は、工事施工において自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について工事完了時までに所定の様式により提出することが出来る。 下記項目については、監督員の立合検査を受け、検査立合記録書に監督員の了承を得るものとする。 ○各種製品検査 ○各種仕上検査 ○工事中間検査及び竣工検査
⑬ 立会検査	○本工事使用資材については、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。 ○上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。 本工事に使用する材料の内、監督員より指示あるものに関してはその成績表を提出するか、又は監督員の承認する試験所で試験を行い、承認を受けなくてはならない。尚試験に要する費用は全て受注者の負担とする。 本工事施工に伴う既存設備の軽微な加工、改造は、本工事とする。 撤去及び取壊し工事は、事前に既存設備の概要を把握し、他に影響が及ばないよう充分検討した上で着工する。 撤去した後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。 但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。
⑭ 使用材料	引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引渡す。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の産業廃棄物適正処理の項及び関係法令等に従い適正に処理する。 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い産業廃棄物関連書類の提出並びに確認及び処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されている事を確認しなければならない。 廃棄物マニフェストE票を一覧にし提出する。
⑮ 材料試験	処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「岐阜県廃
⑯ 既存との取合い	
⑰ 撤去工事	
⑱ 再利用機器	
⑲ 発生材の処理	
⑳ 産業廃棄物の適正処理	
㉑ 新築時廃棄物	

㉒ 再資源化施設への搬出

㉓ 再生資材計画書及び再生資源利用促進計画書(COBRIS)

㉔ 再生資材の利用

25 残土処分

㉖ はつり

㉗ 耐震施工

㉘ 配線器具

㉙ フラッシュプレート

30 別途工事

㉚ 工事方法

㉛ 照明器具の吊ボルト

建築物の適正処理に関する条例「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。
混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。
工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出とする。
○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ○木屑 ・繊維屑 ・プラスチック屑 ○石膏ボード ○鉄・アルミ・ステンレス屑 ・ガラス・陶磁器屑
建設工事にリサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完了後に同計画書の実施報告書を提出とする。
下記の資材については再生資材を使用する。

資材名	規格	使用場所
再生加熱アスファルト混合物	プラント再生舗装技術指針 (日本道路協会)	構内アスファルト
再生クラッシュラン		アスファルト舗装下

場外処分とする。
はつり工事は、事前に walkthrough 調査を行い、監督員に報告を行うこと。 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。
設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kg f] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。
設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の取扱い		一般取扱い	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	上部支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	機器 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機器	1.5	1.0	1.0	0.5
中間階	上部支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	大層類 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.5
地下・階	機器	1.0	0.5	0.5	0.4
	大層類 (※1)	1.0	1.0	1.0	0.5

【備考】 (※1): 大層類には、オイルタンク等を含む。

重要機器
・配電盤 ・発電装置 ・逆流電源装置 ・交流無停電電源装置
・交巻機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置
上層階の定義は次に従う。
2～6階建の場合は地上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
配線器具は、下記を標準とする。
○大角形連用型 ○ワイドハンドル型
プレートは、下記を標準とする。
・ 樹脂製 (洋風モダン) ○ 新金属製
・ 電力会社外線工事負担金 ・ 電話機器納入、取付
・ 光ケーブル (CATV) 引込工事
・ 警備保障配線工事及び機器納入、取付

- 電力、電話等の引込方法、位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。
- 建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。
- 分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が4個以下の場合はPF-S22を1本、5個以上の場合は2本以上天井裏まで立上げる。(露出配管の場合は屋内:E-25、屋外:G-22とする)
- 配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線(1.2m/mビニル被覆鉄線)を挿入する。
- 鋼製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。(エッチングプライマー下処理の後、指定色OP2同塗り)
- 位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。
- 建物内で、配管の1区間が30m以上となる場合は、途中にプルボックス又はジョイントボックスを設ける。
- F/P板 (スタイロフォーム等) 打込みの部分に取付ける位置ボックスには、保温及び結露防止処置を施す。(外壁部のみ)
- ジョイントボックス等、配線器具を実装しない位置ボックスに取付けるプレートには、用途を明記する。
- 分電盤、制御盤及び端子盤には、盤名称を記したネームプレート (樹脂製、エッチング文字) を設ける。
- 防火区画貫通部の耐火処置の仕様は下記とする。
(イ) 建築基準法 告示 第3183号に準拠
(ロ) (財) 日本建築センター (BCJ) 防災評定品の使用
(イ) 吊りボルトを必要とする機種及び施工方法は「公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)」及び「公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編)」によりものとする。

㉜ 工事保証

㉝ 経年検査

㉞ 施工調査

㉟ 工事着手前協議

㊱ ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について

㊲ 改修工事注記事項

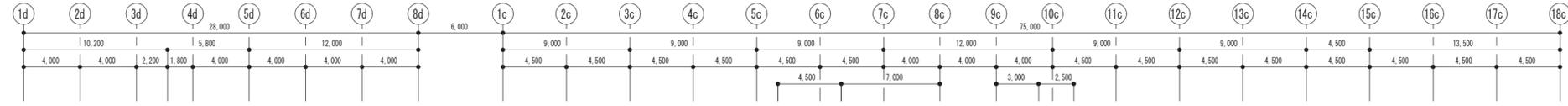
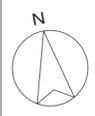
㊳ 撤去工事注記事項

㊴ 工事中の既設備

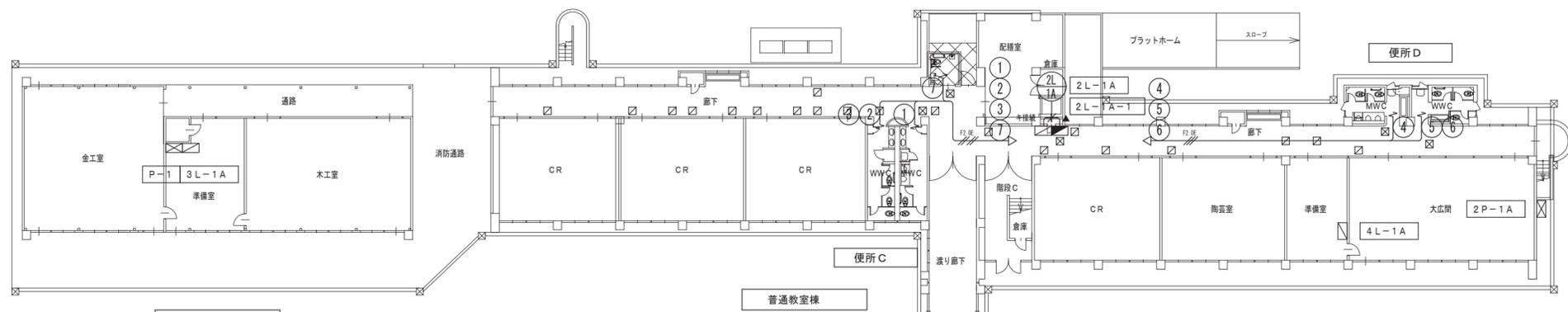
㊵ そ の 他

- 改修工事に於いて吊りボルト用あと施工用アンカーは本工事とする。
(ロ) その他の照明器具は、上記による他、位置ボックスにネジ止め、又はフィックスチュアスタッド等を使用し支持する。
(ハ) 特殊な照明器具は、上記による他、監督員の指示による。
建築竣工引渡し後、原則として5年以内 (特に指定のある工種を除く) において、工事不良の発生じたと認められる損害等についても、受注者の費用負担にて迅速丁寧に変更しなければならない。ただし工事不良が故意又は重大な過失により生じた場合は10年間とする。
建築竣工引渡し後1年が経過した時点において監督員立合のもとで1年検査を行い、工事不良の発生じたと認められる損害等についても、監督員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については受注者の負担とする。
○ 事前調査 (○ 本工事 ・ 別途)
○ 調査項目 (○ 既存資料調査 ○ 既設配線ルート)
○ 調査範囲 (○ 図示 ○ 工事範囲)
○ 調査方法 (○ 図示 ○ 目視)
- 1) 本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容について、監督員と工事着手前協議を行うこと。
2) 協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。
3) 協議に当たって、発注者側は監督員及び係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。
4) 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答 (その他) 欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人 (主任技術者) が受け取ること。
1) ディーゼルエンジンを動力とする車両にはJIS規格の軽油を使用すること。
2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。
- 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従う。
○ 撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。
○ 図記明記無き場合でも建築工事又は機械設備工事に於いて、天井張替え、壁張替え及び機器取り外し→再取付等に伴う既設電気設備機器の取り外し→再取付、配線の再接続等は本工事とする。
○ 図面明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。
○ 不要となる隠蔽部既設配管を利用し、新設配線を施工出来る部分については積極的に利用とする。
○ 図面上、配管及び線び施工表記の部分も調査の上、ケーブル隠蔽施工が可能な場合はケーブル隠蔽施工とする。
○ 上記、2項目に於いて金額の増減は無いものとする。
○ 既設配管は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。 建築工事において天井撤去、壁撤去に伴い一緒に撤去される配管は建築工事に於いて処分とする。
○ 既設配線は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。 建築工事において天井撤去、壁撤去に伴い一緒に撤去される配線は建築工事に於いて処分とする。
○ 上記に於いて廃止となる配線は端末処理の上、「未使用」表記を行うものとする。
○ 上記配管配線撤去は隠蔽部における注記事項であり、露出配管及び露出配線は本工事にて全て撤去とする。
- 工事範囲外の部屋は工事期間内でも使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備に影響が有る場合は監督員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設備工事を行う事とする。
○ 別途機器への接続は、本工事とする。
○ 資図の寸法、形状は参考とする。

改修後 1階 幹線、コンセント設備図 1/300

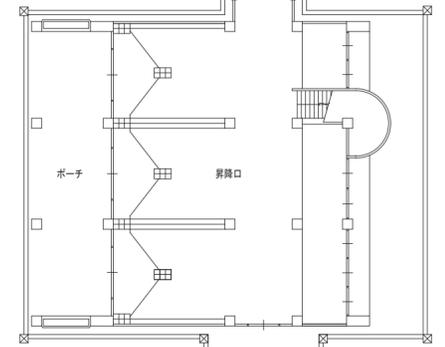


多目的便所



金工・木工室棟

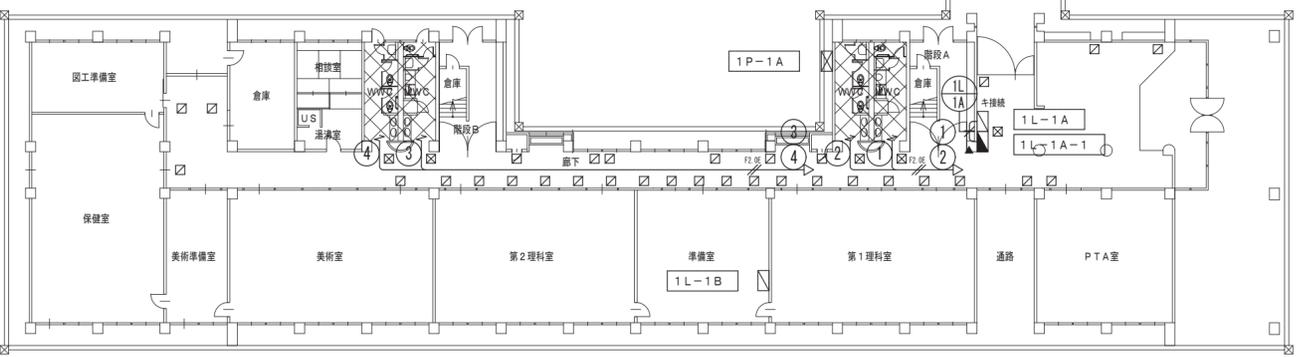
普通教室棟



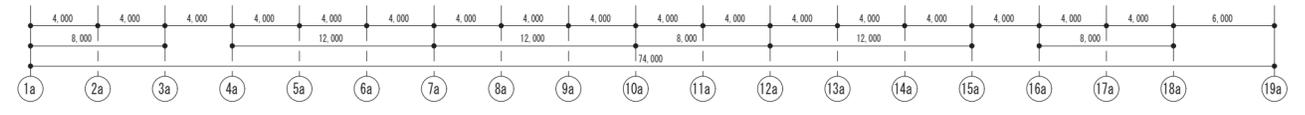
昇降口 渡り廊下

便所B

便所A



管理・特別教室棟



線路内訳表 (幹線)

番号	ケーブル・電線	配管			相電圧	用途	送り元 (接続箇所)
		二重天井内	壁内 (壁内)	壁面 (露出)			
1L-1A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	1L-1A-1	1L-1A (主閉閉器一次側へ接続)
1L-2A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	1L-2A-1	1L-2A (主閉閉器一次側へ接続)
1L-3A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	1L-3A-1	1L-3A (主閉閉器一次側へ接続)
2L-1A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-1A-1	2L-1A (主閉閉器一次側へ接続)
2L-2A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-2A-1	2L-2A (主閉閉器一次側へ接続)
2L-3A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-3A-1	2L-3A (主閉閉器一次側へ接続)

線種記入なきは下記とする。

記号	ケーブル・電線	配管					
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート 内埋設	壁内埋設部 (埋設)	壁内露出部 (その他)	屋外埋設部
—	EM-EEF 2.0-3C (1C-E)	—	PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 2.0-3C x2 (1C-E)	—	PF-S28	PF-S28	MM1-B	E-31	E-31
—	EM-EEF 2.0-3C x3 (1C-E)	—	PF-S36	PF-S36	MM1-B	E-39	E-39
—	EM-EEF 2.0-3C x4 (1C-E)	—	PF-S36	PF-S36	MM1-B	E-39	E-39

注記1) 上記に於いて屋外露出配管となる部分は 室内: 1種金属製線(MM1-)、その他: 金属製電線管(管)とする。
 注記2) 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。
 注記3) コンクリート躯体内等保護必要箇所の配管はPF-S管にて保護とする。
 注記4) 露出配管(金属製電線管)は指定色塗装とする。
 注記5) ▲ 既設コンクリート壁貫通穴開け部を示す。
 注記6) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。

改修工事 凡例

- 今回工事 配線、配管を示す。
- (半) 既設 配線、配管を示す。
- 今回工事 機器を示す。
- 既設 機器を示す。
- キ 取外し既設機器 再取付を示す。
- キ接続 既設配線に接続を示す。
- キ接続 既設品に新設配線接続を示す。

凡例

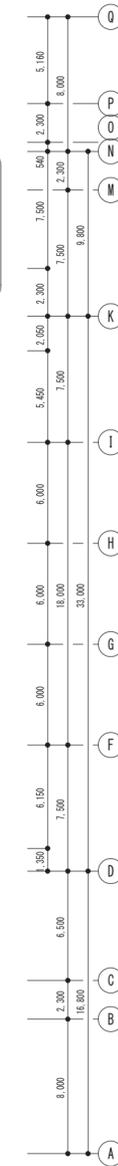
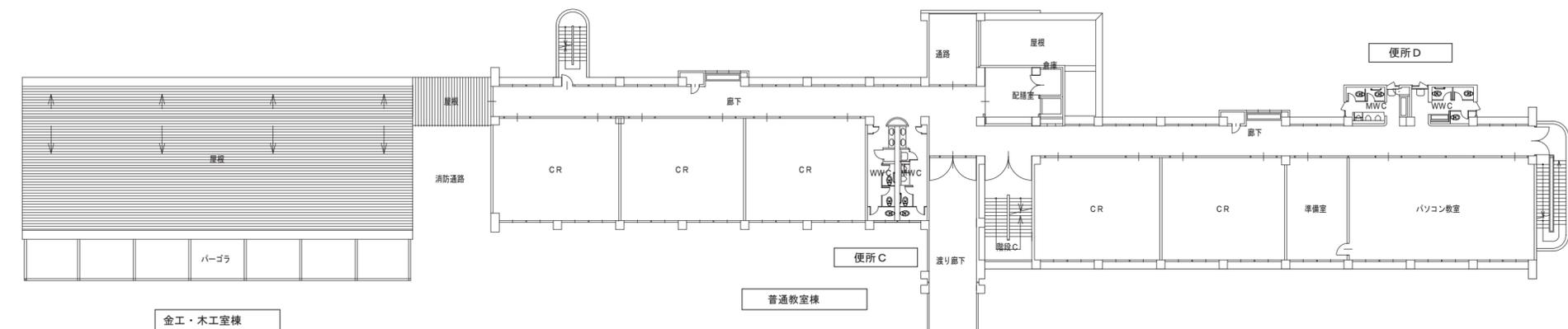
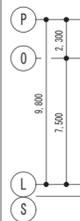
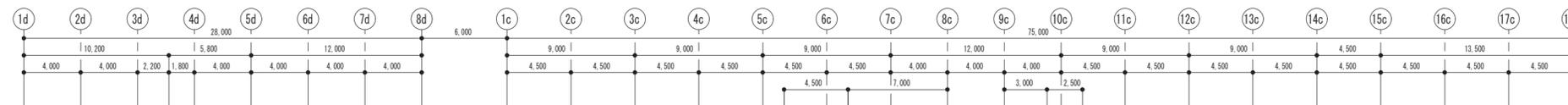
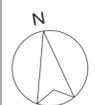
- J ジョイントボックス OB102×54 (ブランクカバー共)
- KP(X) ノズルプレート (角型)
- KP(X) カバープレート (角型)
- KP(O) カバープレート (丸型)
- KP(X)/# カバープレート (角型) 防水型SUS製
- KP 防雨入線カバー
- ⊥ 接地極埋設指示板 (黄銅製)
- 防火区画貫通部を示す。(注記2参照)
- 既設天井点検口
- 新設天井点検口 (建築工事)
- 既設動力制御盤
- 既設電灯分電盤
- 新設(今回工事) 電灯分電盤 取付高: 盤上面=天井面

Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

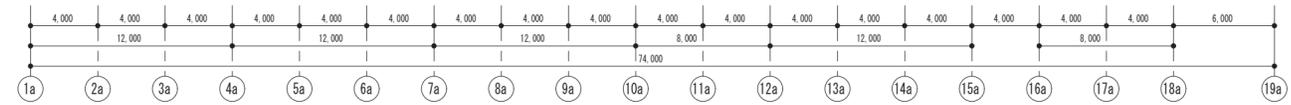
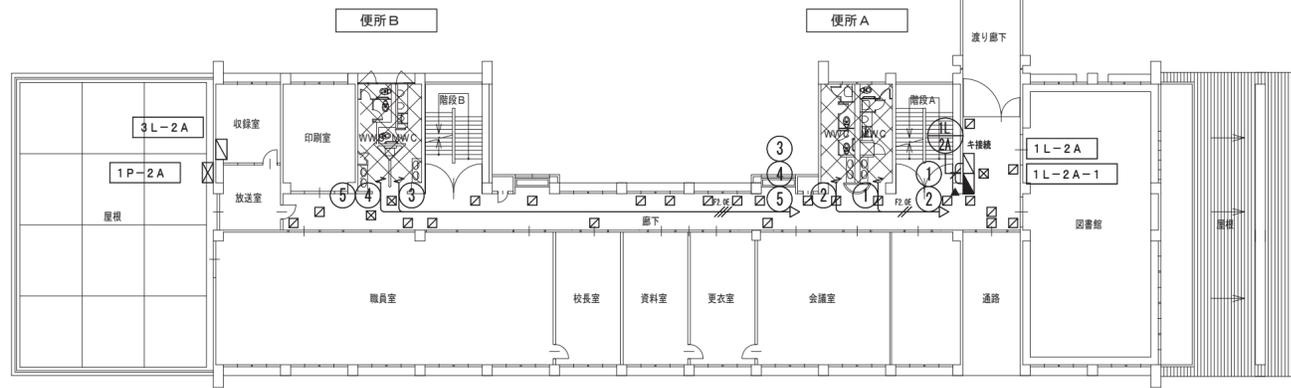
Project: 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)
 改修後 1階 幹線、コンセント設備図
 Scale: A2: 1/300 A3: ×70%

Date: 2024.10
 Draw: F.S
 Section: 電気
 No: 02 / 11
 1級建築士登録第175199号 小林一輝



線路内訳表 (幹線)

番号	ケーブル・電線	配管			相電圧	用途	送り元 (接続箇所)
		二重天井内	壁内 (PS内)	壁内 (壁内)			
1L 1A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	1L-1A-1 (主開閉器一次側へ接続)
1L 2A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	1L-2A-1 (主開閉器一次側へ接続)
1L 3A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	1L-3A-1 (主開閉器一次側へ接続)
2L 1A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-1A-1 (主開閉器一次側へ接続)
2L 2A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-2A-1 (主開閉器一次側へ接続)
2L 3A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-3A-1 (主開閉器一次側へ接続)

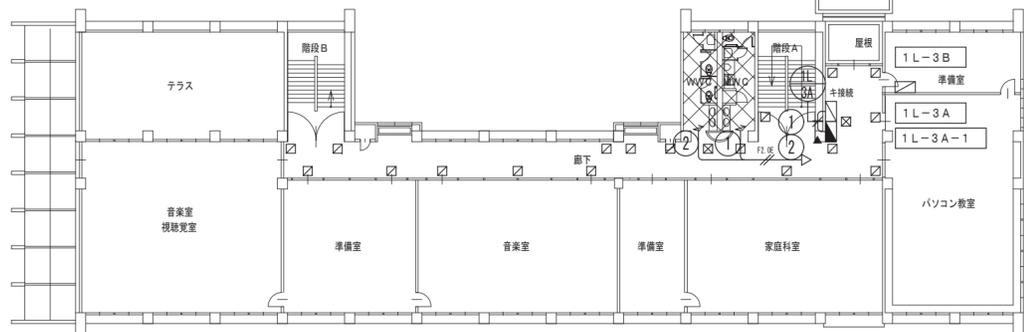
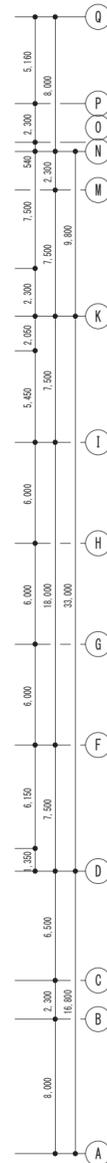
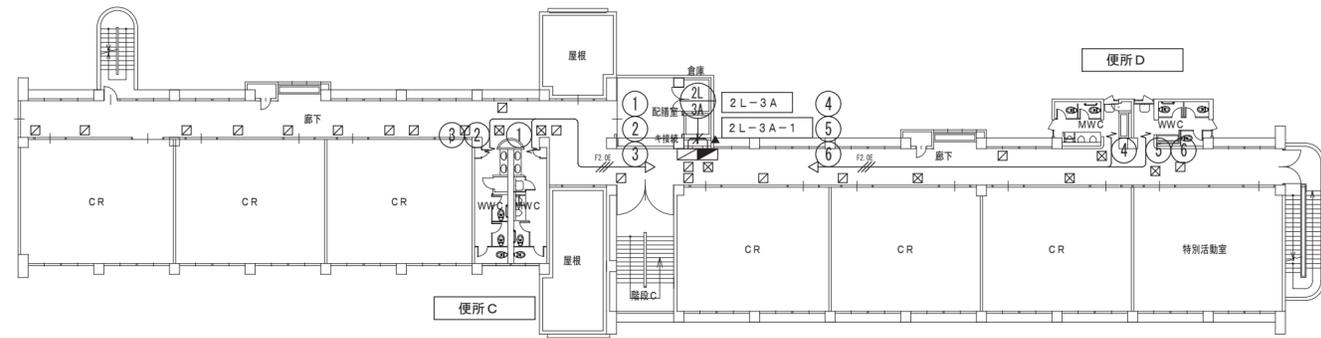
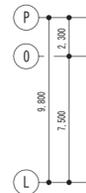
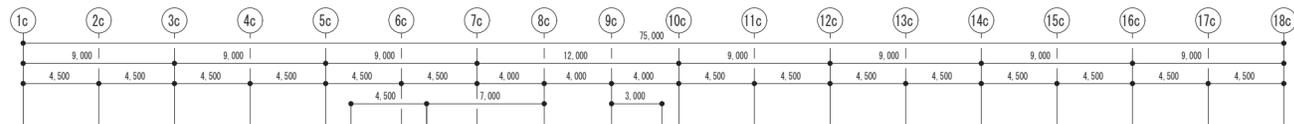


Memo

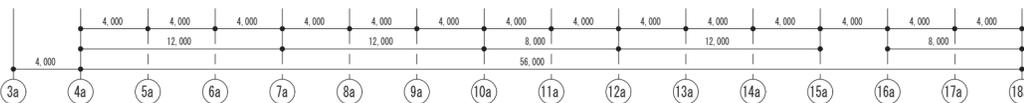
設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project: 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)
 改修後 2階 幹線、コンセント設備図
 Scale: A2: 1/300 A3: ×70%

Date: 2024.10 Draw: F.S Section: 電気 No: 03 / 11
 1級建築士登録第175199号 小林一輝



管理・特別教室棟



線路内訳表 (幹線)

番号	ケーブル・電線	配管			相電圧	用途	送り元 (接続箇所)	
		二重天井内	壁面 (PS内)	壁面 (壁内)				壁面 (露出)
1L 1A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	1L-1A-1	1L-1A (主開閉器一次側へ接続)
1L 2A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	1L-2A-1	1L-2A (主開閉器一次側へ接続)
1L 3A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	1L-3A-1	1L-3A (主開閉器一次側へ接続)
2L 1A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-1A-1	2L-1A (主開閉器一次側へ接続)
2L 2A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-2A-1	2L-2A (主開閉器一次側へ接続)
2L 3A	EM-CE 8sq-3C EM-IE 5.5sq x2	—	—	PF-S36	MM1-B	1φ3W 200/100V	2L-3A-1	2L-3A (主開閉器一次側へ接続)



Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project: 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)

改修後 3階 幹線、コンセント設備図

Scale: A2: 1/300 A3: ×70%

Date: 2024.10

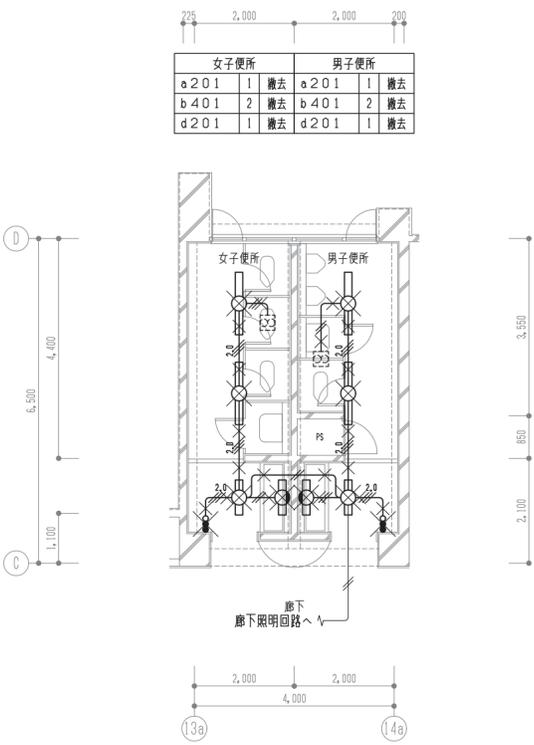
Draw: F.S

Section: 電気 No. 04 / 11

1級建築士登録第175199号

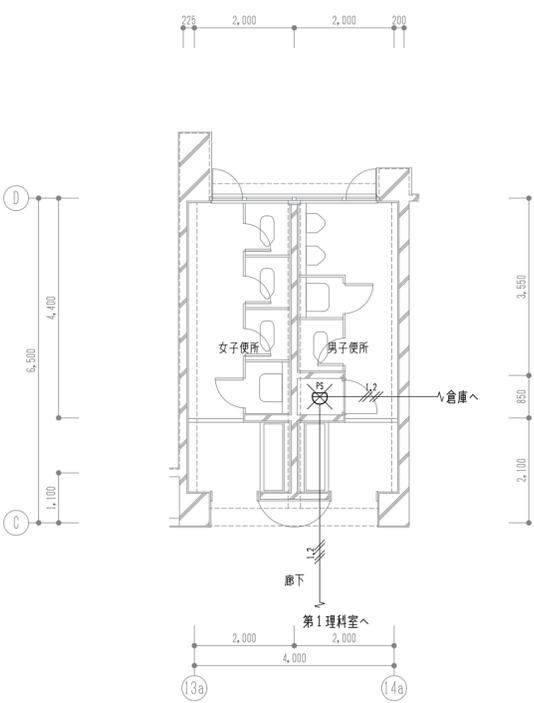
小林 一輝

改修前 管理・特別教室棟 1階 便所A 照明、コンセント設備改修図 1/100



改修前 照明設備図 1/100

- *1 男子便所 トイレ改修に伴う照明設備の撤去。
- *2 女子便所 トイレ改修に伴う照明設備の撤去。



改修前 コンセント・自動火災報知備図 1/100

- *1 男子便所 撤去無し。(コンセント設備無し)
- *2 女子便所 撤去無し。(コンセント設備無し)
- *3 PS 自動火災報知設備 感知器の撤去

線種記入なきは下記とする。

記号	ケーブル・電線	配管					
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部
—	1.2 x 4	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	1.6 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	2.0 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 2 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	VV-F 2.0-3C	(1C:E)			MMI-A	MMI-A	

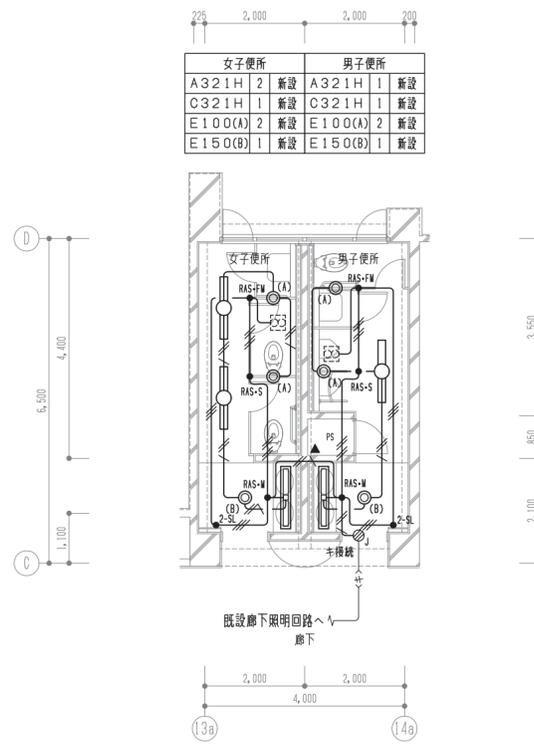
- 注記1) 撤去工事概要
- ・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
 - ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。
 - ・撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。
 - ・図中明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。
 - ・撤去後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。
 - ・撤去後、施設引き渡しとする機器は、清掃及び絶縁測定の上、リストを作成の上、引き渡しとする。
- 注記2) 撤去工事区分
- ・機器撤去 : 本工事
 - ・二重天井内配管配線: 建築工事 (天井撤去に伴う部分)
 - ・二重天井内配管配線: 本工事 (天井撤去無き部分)
 - ・壁内配管配線 : 建築工事 (壁撤去に伴う部分)
 - ・壁内配管配線 : 本工事 (壁撤去無き部分) *配線: 引抜き、配管: 現状のまま廃止

- 撤去工事 凡例
- 配線、配管 配管現状のままを示す。
 - x—x— 配線: 撤去、配管: 撤去又は現状のまま廃止を示す。
 - ⊕—⊕— 配線: 撤去、配管: 再利用を示す。
 - 機器 現状のままを示す。
 - ⊗ 撤去 機器を示す。
 - ⊗ 取外し (再利用) 機器を示す。

- 凡例
- ⊗ ダクト換気扇 撤去・取外し: 機械設備工事
 - ⊗ 換気扇 撤去・取外し: 機械設備工事
 - 埋込スイッチ (1P15A x 1)
 - 3 埋込スイッチ (3W15A x 1)
 - 4 埋込スイッチ (4W15A x 1)
 - L 埋込スイッチ (1P 4A x 1) PL付
 - パイロットランプ (AC100V)
 - ① 埋込コンセント (2P15A x 1)
 - ② 埋込コンセント (2P15A x 2)
 - ①EET 埋込コンセント (2P15A x 1) ET付
 - ②EET 埋込コンセント (2P15A x 2) ET付
 - ⊖ 差動式スポット型感知器 2種
 - ★ ケーブル引下げ部を1種金属線び(MMI-A)で保護を示す

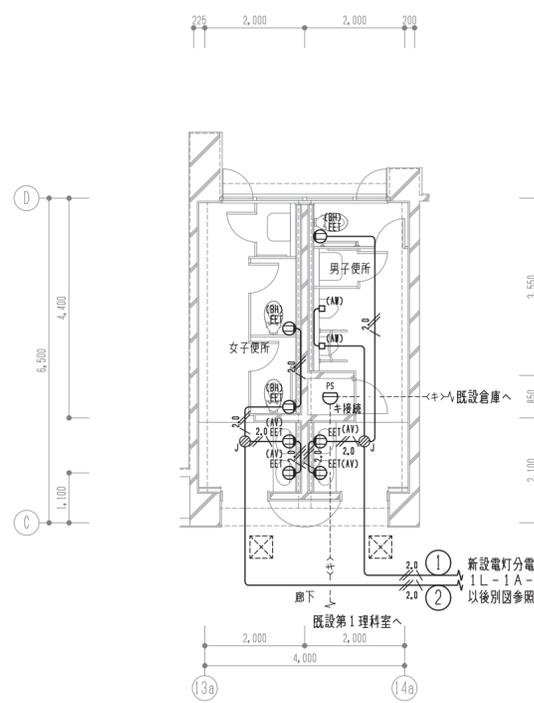
- コンセント他 用途凡例
- (B)① 便座ヒーター用
 - (W)① ウォシュレット用

改修後 管理・特別教室棟 1階 便所A 照明、コンセント設備改修図 1/100



改修後 照明設備図 1/100

- *1 男子便所 トイレ改修に伴う照明設備の新設。
- *2 女子便所 トイレ改修に伴う照明設備の新設。



改修後 コンセント・自動火災報知備図 1/100

- *1 男子便所 トイレ改修に伴うコンセント設備の新設。
- *2 女子便所 トイレ改修に伴うコンセント設備の新設。
- *3 PS 自動火災報知設備 感知器の新設

線種記入なきは下記とする。

記号	ケーブル・電線	配管					
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部
—	EM-EEF 1.6-2C		PF-S16	PF-S16	MMI-A	E-19	E-19
—	EM-EEF 1.6-3C		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 1.6-2C x 2		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 1.6-3C + 1.6-2C		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 1.6-3C x 2		PF-S28	PF-S28	MMI-A	E-31	E-31
—	EM-EEF 2.0-2C		PF-S16	PF-S16	MMI-A	E-19	E-19
—	EM-EEF 1.6-3C (1C:E)		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 1.6-2C x 2 (1C:E)		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 2.0-3C (1C:E)		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 1.6-2C				MMI-A		
—	EM-AE 1.2-4C		PF-S16	PF-S16	MMI-A	E-19	E-19

- 注記1) 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内: 1種金属線び(MMI-A)、その他: 金属製電線管(E管)とする。
- 注記2) 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。
- 注記3) コンクリート躯体内等保護必要箇所の配管はPF-S管にて保護とする。
- 注記4) 露出配管(金属製電線管)は指定色塗装とする。
- 注記5) —▲— 既設コンクリート壁貫通穴開け部を示す。
- 注記6) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。

- 改修工事 凡例
- 今回工事 配線、配管を示す。
 - x—x— 既設 配線、配管を示す。
 - 今回工事 機器を示す。
 - ⊗ 既設 機器を示す。
 - ⊗ 取外し既設機器 再取付を示す。
 - ⊗ 接続 既設配線に接続を示す。
 - ⊗ 接続 既設品に新設配線接続を示す。

- 凡例
- ⊗ J ジョイントボックス OB102x54 (フランクカバー共)
 - NP(K) ノズルプレート (角型)
 - KP(K) カバープレート (角型)
 - KP(W) カバープレート (丸型)
 - KP(C)-NP カバープレート (角型) 防水型SUS製
 - NP 防水入線カバー
 - ⊖ 接地極埋設標示板 (黄銅製)
 - ⊖ 防火区画貫通部を示す。(注記2参照)

- ⊗ 既設天井点検口
- ⊗ 新設天井点検口 (建築工事)
- ⊗ ダクト換気扇 納入・取付: 機械設備工事
- ⊗ 換気扇 納入・取付: 機械設備工事
- RAS-W 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24818
- RAS-S 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 広角検知型 MODEL) WTK29129
- RAS-FW 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 隅欠遅延 MODEL) WTK2933K
- RAS-T 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 明るさセンサ付 換気扇連動機能付 MODEL) WTK2604
- 1-SL 同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 1回路型 P: ガードプレート 取付高: FL+1800 MODEL) WTC5820W
- 2-SL 同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 2回路型 P: ガードプレート 取付高: FL+1800 MODEL) WTC5822W

- ① 埋込コンセント (2P15A x 1)
- ② 埋込コンセント (2P15A x 2)
- ①EET 埋込コンセント (2P15A x 1) E極・ET付
- ②EET 埋込コンセント (2P15A x 2) E極・ET付
- 定温式スポット型感知器 1種 確認灯付
- ★ ケーブル引下げ部を1種金属線び(MMI-A)で保護を示す(今回工事)

- コンセント他 用途凡例
- (B)① 便座ヒーター用
 - (W)① ウォシュレット用
 - (A)① 自動手洗器用
 - (M)□ 小便器自動洗浄器

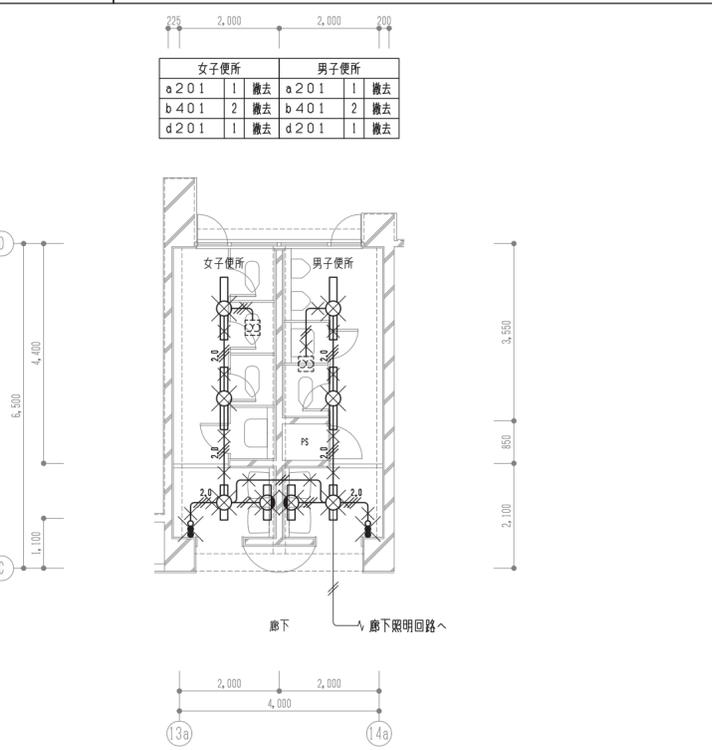
Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事 (II期)
 管理・特別教室棟 1階 便所A 照明、コンセント設備改修図
 Scale. A2: 1/100 A3: x70% Code.

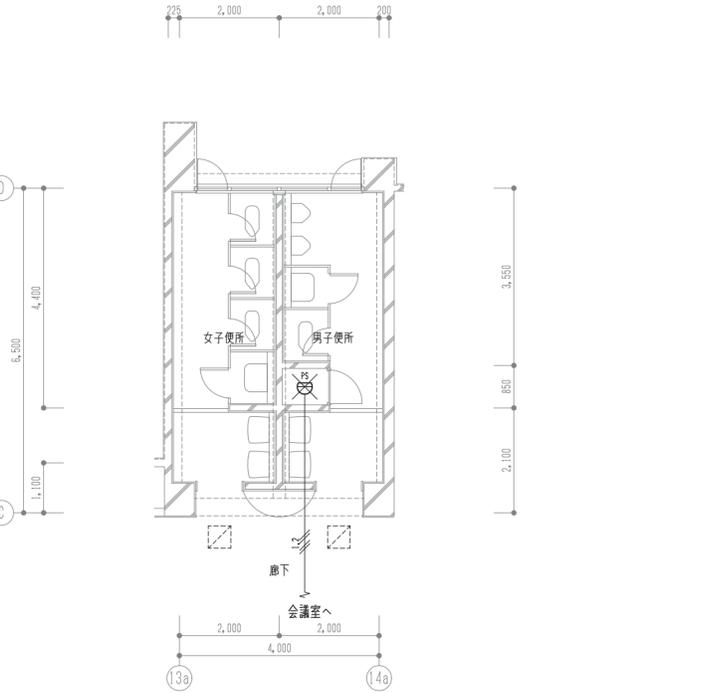
Date. 2024.10 Draw. F.S Section. No. 電気 07/11
 1級建築士登録第175199号 小林 一輝

改修前 管理・特別教室棟 2階 便所A 照明、コンセント設備改修図 1/100



改修前 照明設備図 1/100

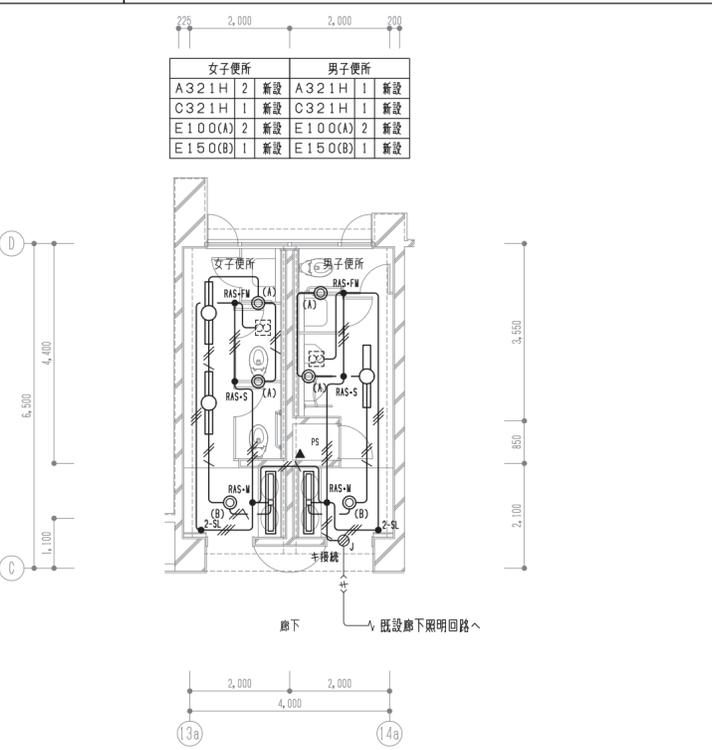
- *1 男子便所 トイレ改修に伴う照明設備の撤去。
- *2 女子便所 トイレ改修に伴う照明設備の撤去。



改修前 コンセント・自動火災報知備図 1/100

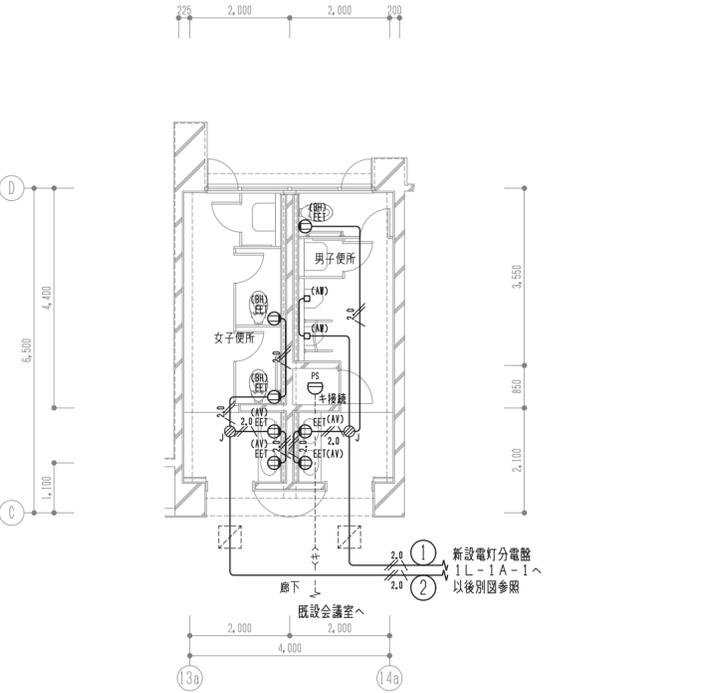
- *1 男子便所 撤去無し。(コンセント設備無し)
- *2 女子便所 撤去無し。(コンセント設備無し)
- *3 PS 自動火災報知設備 感知器の撤去

改修後 管理・特別教室棟 2階 便所A 照明、コンセント設備改修図 1/100



改修後 照明設備図 1/100

- *1 男子便所 トイレ改修に伴う照明設備の新設。
- *2 女子便所 トイレ改修に伴う照明設備の新設。



改修後 コンセント・自動火災報知備図 1/100

- *1 男子便所 トイレ改修に伴うコンセント設備の新設。
- *2 女子便所 トイレ改修に伴うコンセント設備の新設。
- *3 PS 自動火災報知設備 感知器の新設

線種記入なきは下記とする。

記号	ケーブル・電線	配管					
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部
—	1.2 x 4	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	1.6 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	2.0 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 2 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	VV-F 2.0-3C (10:E)	—	—	—	MMI-A	MMI-A	—

- 注記1) 撤去工事概要
- ・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
 - ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。
 - ・撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。
 - ・図中明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。
 - ・撤去後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。
 - ・撤去後、施設引き渡しとする機器は、清掃及び絶縁測定の上、リストを作成の上、引き渡しとする。
- 注記2) 撤去工事区分
- ・機器撤去 : 本工事
 - ・二重天井内配管配線: 建築工事 (天井撤去に伴う部分)
 - ・二重天井内配管配線: 本工事 (天井撤去無き部分)
 - ・壁内配管配線 : 建築工事 (壁撤去に伴う部分)
 - ・壁内配管配線 : 本工事 (壁撤去無き部分) *配線: 引抜き、配管: 現状のまま廃止

- 撤去工事 凡例
- 配線、配管 配管現状のままを示す。
 - x — 配線: 撤去、配管: 撤去又は現状のまま廃止を示す。
 - ⊕ — 配線: 撤去、配管: 再利用を示す。
 - 機器 現状のままを示す。
 - ⊗ 撤去 機器を示す。
 - ⊗ 取外し (再利用) 機器を示す。

- 凡例
- ⊗ ダクト換気扇 撤去・取外し: 機械設備工事
 - ⊗ 換気扇 撤去・取外し: 機械設備工事
 - 埋込スイッチ (1P15A x 1)
 - 3 埋込スイッチ (3W15A x 1)
 - 4 埋込スイッチ (4W15A x 1)
 - L 埋込スイッチ (1P 4A x 1) PL付
 - パイロットランプ (AC100V)
 - ① 埋込コンセント (2P15A x 1)
 - ② 埋込コンセント (2P15A x 2)
 - ① ET 埋込コンセント (2P15A x 1) ET付
 - ② ZET 埋込コンセント (2P15A x 2) ET付
 - ☺ 差動式スポット型感知器 2種
 - ★ ケーブル引下げ部を1種金属線び (MM1-A) で保護を示す

- コンセント他 用途凡例
- (B) ① 便座ヒーター用
 - (W) ① ウォシュレット用

線種記入なきは下記とする。

記号	ケーブル・電線	配管					
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部
—	EM-EFF 1.6-2C	—	PF-S16	PF-S16	MMI-A	E-19	E-19
—	EM-EFF 1.6-3C	—	PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 1.6-2C x 2	—	PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 1.6-3C + 1.6-2C	—	PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 1.6-3C x 2	—	PF-S28	PF-S28	MMI-A	E-31	E-31
—	EM-EFF 2.0-2C	—	PF-S16	PF-S16	MMI-A	E-19	E-19
—	EM-EFF 1.6-3C (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 1.6-2C x 2 (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 2.0-3C (10:E)	—	PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 1.6-2C	—	—	—	MMI-A	—	—
—	EM-AE 1.2-4C	—	PF-S16	PF-S16	MMI-A	E-19	E-19

- 注記1) 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内: 1種金属線び (MM1-A)、その他: 金属製電線管 (E管) とする。
- 注記2) 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。
- 注記3) コンクリート躯体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。
- 注記4) 露出配管 (金属製電線管) は指定色塗装とする。
- 注記5) —▲— 既設コンクリート壁貫通穴開け部を示す。
- 注記6) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。

- 改修工事 凡例
- 今回工事 配線、配管を示す。
 - (x) — 既設 配線、配管を示す。
 - 今回工事 機器を示す。
 - ⊗ 既設 機器を示す。
 - ⊗ 取外し既設機器 再取付を示す。
 - ⊗ 接続 既設配線に接続を示す。
 - ⊗ 接続 既設品に新設配線接続を示す。

- 凡例
- ⊗ J ジョイントボックス OB102 x 54 (フランカカバー共)
 - NP(K) ノズルプレート (角型)
 - KP(K) カバープレート (角型)
 - KP(W) カバープレート (丸型)
 - KP(C)-NP カバープレート (角型) 防水型SUS製
 - WP 防水入線カバー
 - ⊕ 接地極埋設標示板 (黄銅製)
 - ⊗ 防火区画貫通部を示す。(注記2参照)

- ⊗ 既設天井点検口
- ⊗ 新設天井点検口 (建築工事)
- ⊗ ダクト換気扇 納入・取付: 機械設備工事
- ⊗ 換気扇 納入・取付: 機械設備工事
- RAS-W 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24818
- RAS-S 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 広角検知型 MODEL) WTK29129
- RAS-FW 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 隅欠遅延 MODEL) WTK2933K
- RAS-T 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 明るさセンサ付 換気扇連動機能付 MODEL) WTK2604
- 1-SL 同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 1回路型 P: ガードプレート 取付高: FL+1800 MODEL) WTK5820W
- 2-SL 同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 2回路型 P: ガードプレート 取付高: FL+1800 MODEL) WTK5822W

- ① 埋込コンセント (2P15A x 1)
- ② 埋込コンセント (2P15A x 2)
- ① ET 埋込コンセント (2P15A x 1) E極・ET付
- ② ZET 埋込コンセント (2P15A x 2) E極・ET付

- ☺ 定温式スポット型感知器 1種 確認灯付
- ★ ケーブル引下げ部を1種金属線び (MM1-A) で保護を示す (今回工事)

- コンセント他 用途凡例
- (B) ① 便座ヒーター用
 - (W) ① ウォシュレット用
 - (W) ① 自動手洗器用
 - (W) □ 小便器自動洗浄器

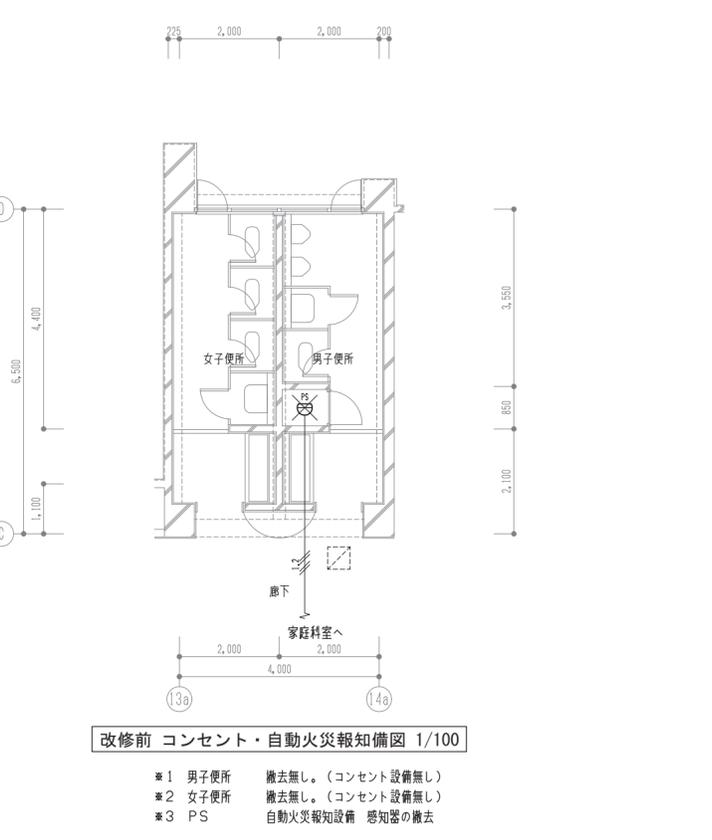
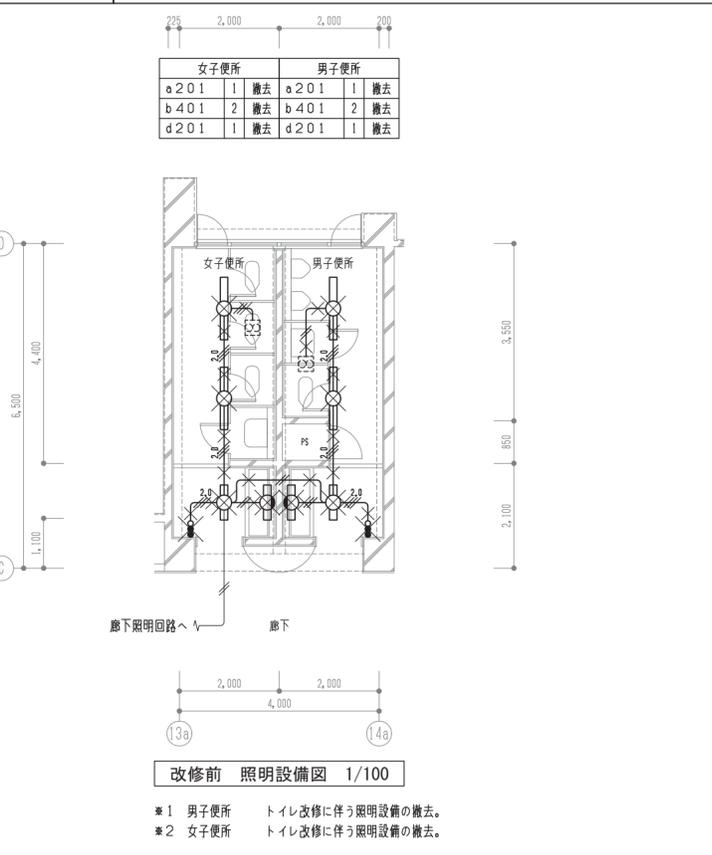
Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事 (II期)
 管理・特別教室棟 2階 便所A 照明、コンセント設備改修図
 Scale. A2: 1/100 A3: x70% Code.

Date. 2024.10 Draw. F.S Section. No. 電気 08/11
 1級建築士登録第175199号 小林 一輝

改修前 管理・特別教室棟 3階 便所A 照明、コンセント設備改修図 1/100



線種記入なきは下記とする。

記号	ケーブル・電線	配管					
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部
—	1.2 x 4	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	1.6 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	2.0 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 2 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	VV-F 2.0-3C (10:E)				MMI-A	MMI-A	

注記1) 撤去工事概要

- ・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
- ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。
- ・撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。
- ・図中明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。
- ・撤去後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。
- ・撤去後、施設引き渡しとする機器は、清掃及び絶縁測定の上、リストを作成の上、引き渡しとする。

注記2) 撤去工事区分

- ・機器撤去 : 本工事
- ・二重天井内配管配線: 建築工事 (天井撤去に伴う部分)
- ・二重天井内配管配線: 本工事 (天井撤去無き部分)
- ・壁内配管配線 : 建築工事 (壁撤去に伴う部分)
- ・壁内配管配線 : 本工事 (壁撤去無き部分) ※配線: 引抜き、配管: 現状のまま廃止

撤去工事 凡例

- 配線、配管 配管現状のままを示す。
- x—x— 配線: 撤去、配管: 撤去又は現状のまま廃止を示す。
- ⊕—⊕— 配線: 撤去、配管: 再利用を示す。
- 機器 現状のままを示す。
- ⊗ 撤去 機器を示す。
- ⊗ 取外し (再利用) 機器を示す。

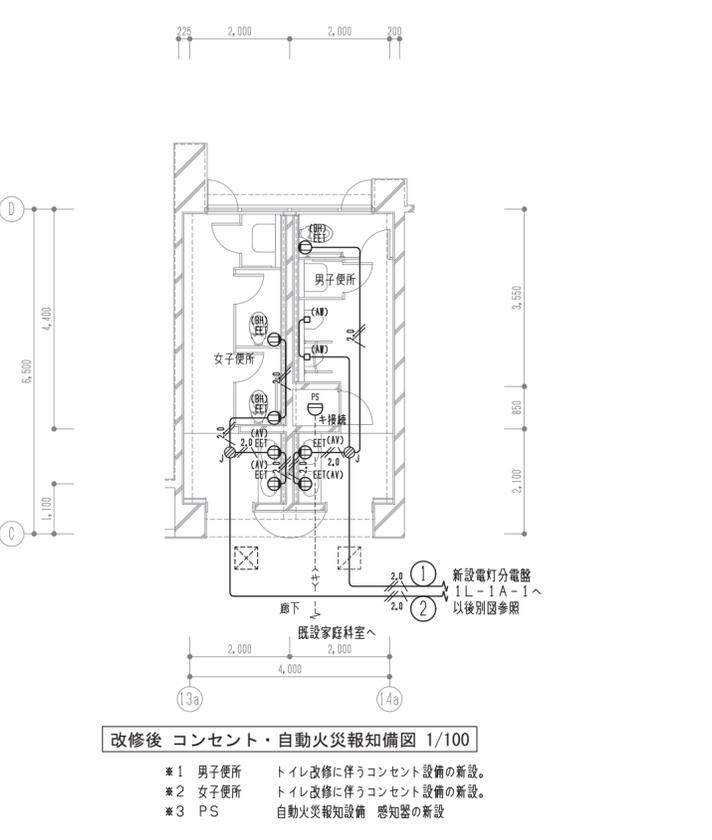
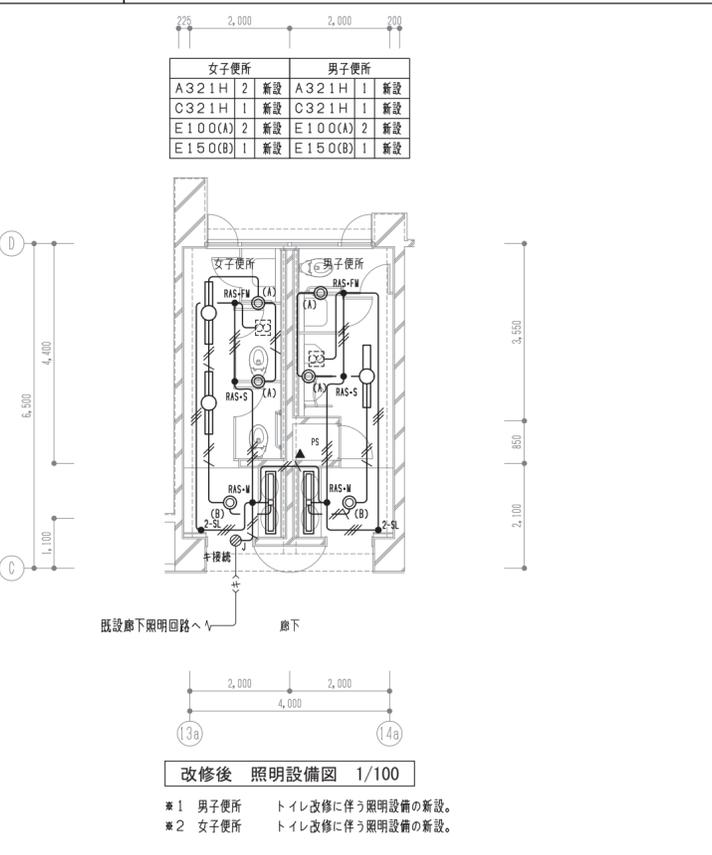
凡例

- ⊗ ダクト換気扇 撤去・取外し: 機械設備工事
- ⊗ 換気扇 撤去・取外し: 機械設備工事
- 埋込スイッチ (1P15A×1)
- 3 埋込スイッチ (3W15A×1)
- 4 埋込スイッチ (4W15A×1)
- L 埋込スイッチ (1P4A×1) PL付
- パイロットランプ (AC100V)
- ① 埋込コンセント (2P15A×1)
- ② 埋込コンセント (2P15A×2)
- ①E 埋込コンセント (2P15A×1) ET付
- ②E 埋込コンセント (2P15A×2) ET付
- ☺ 差動式スポット型感知器 2種
- ★ ケーブル引下げ部を1種金属線び(MMI-A)で保護を示す

コンセント他 用途凡例

- (B)① 便座ヒーター用
- (W)① ウォシュレット用

改修後 管理・特別教室棟 3階 便所A 照明、コンセント設備改修図 1/100



線種記入なきは下記とする。

記号	ケーブル・電線	配管					
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部
—	EM-EEF 1.6-2C		PF-S16	PF-S16	MMI-A	E-19	E-19
—	EM-EEF 1.6-3C		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 1.6-2C x 2		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 1.6-3C + 1.6-2C		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 1.6-3C x 2		PF-S28	PF-S28	MMI-A	E-31	E-31
—	EM-EEF 2.0-2C		PF-S16	PF-S16	MMI-A	E-19	E-19
—	EM-EEF 1.6-3C (10:E)		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 1.6-2C x 2 (10:E)		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 2.0-3C (10:E)		PF-S22	PF-S22	MMI-A	E-25	E-25
—	EM-EEF 1.6-2C				MMI-A		
—	EM-AE 1.2-4C		PF-S16	PF-S16	MMI-A	E-19	E-19

注記1) 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内: 1種金属線び(MMI-A)、その他: 金属製電線管(E管)とする。
注記2) 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。
注記3) コンクリート躯体内等保護必要箇所の配管はPF-S管にて保護とする。
注記4) 露出配管(金属製電線管)は指定色塗装とする。
注記5) ▲ 既設コンクリート壁貫通穴開け部を示す。
注記6) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。

改修工事 凡例

- 今回工事 配線、配管を示す。
- (x)--- 既設 配線、配管を示す。
- 今回工事 機器を示す。
- ⊗ 既設 機器を示す。
- ⊗ 取外し既設機器 再取付を示す。
- ⊗ 接続 既設配線に接続を示す。
- ⊗ 接続 既設品に新設配線接続を示す。

凡例

- ⊗ J ジョイントボックス OB102x54 (フランクカバー共)
- NP(K) ノズルプレート (角型)
- KP(K) カバープレート (角型)
- KP(W) カバープレート (丸型)
- KP(C)-NP カバープレート (角型) 防水型SUS製
- WP 防水入線カバー
- ⊕ 接地極埋設標示板 (黄銅製)
- ⊗ 防火区画貫通部を示す。(注記2参照)

ダクト換気扇 納入・取付: 機械設備工事

換気扇 納入・取付: 機械設備工事

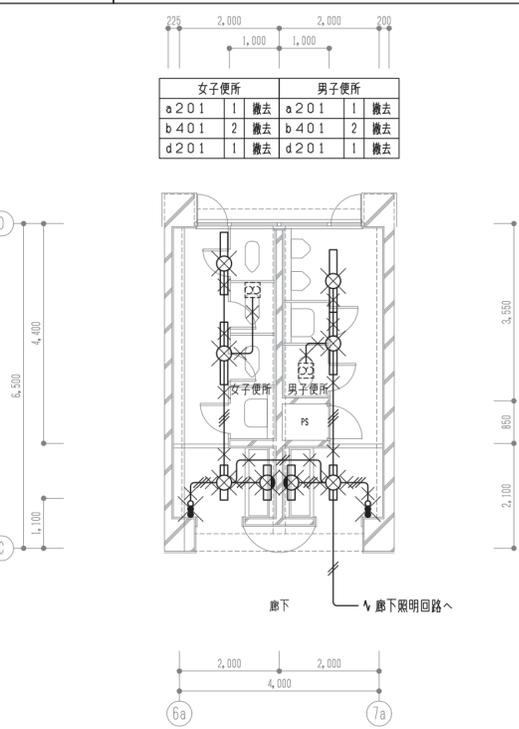
- RAS-W 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24818
- RAS-S 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 広角検知型 MODEL) WTK29129
- RAS-FW 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 隅欠遅延 MODEL) WTK2933K
- RAS-T 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 明るさセンサ付 換気扇連動機能付 MODEL) WTK2604
- 1-SL 同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 1回路型 P: ガードプレート 取付高: FL+1800 MODEL) WTK5820W
- 2-SL 同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 2回路型 P: ガードプレート 取付高: FL+1800 MODEL) WTK5822W

- ① 埋込コンセント (2P15A×1)
- ② 埋込コンセント (2P15A×2)
- ①E 埋込コンセント (2P15A×1) E極・ET付
- ②E 埋込コンセント (2P15A×2) E極・ET付
- ☺ 定温式スポット型感知器 1種 確認灯付
- ★ ケーブル引下げ部を1種金属線び(MMI-A)で保護を示す(今回工事)

コンセント他 用途凡例

- (B)① 便座ヒーター用
- (W)① ウォシュレット用
- (A)① 自動手洗器用
- (M)☺ 小便器自動洗浄器

改修前 管理・特別教室棟 1階 便所B 照明、コンセント設備改修図 1/100



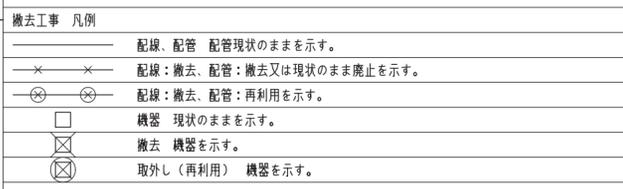
改修前 照明設備図 1/100

- ※1 男子便所 トイレ改修に伴う照明設備の撤去。
※2 女子便所 トイレ改修に伴う照明設備の撤去。

Table with columns: 記号, ケーブル・電線, 二重天井内, 壁内保護管, コンクリート打込部, 屋内露出部(室内), 屋内露出部(その他), 屋外露出部, 屋外埋設部. Lists various cable and pipe specifications.

注記1) 撤去工事概要
・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。

注記2) 撤去工事区分
・機器撤去 : 本工事
・二重天井内配管配線: 建築工事(天井撤去に伴う部分)

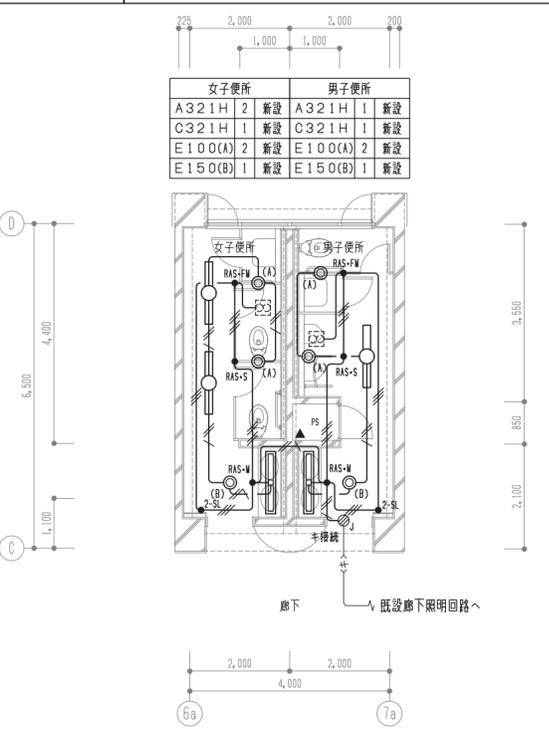


- 凡例
ダクト換気扇 撤去・取外し: 機械設備工事
換気扇 撤去・取外し: 機械設備工事
埋込スイッチ (1P15A x 1)

- 凡例 (continued)
埋込コンセント (2P15A x 1)
埋込コンセント (2P15A x 2)
埋込コンセント (2P15A x 1) ET付

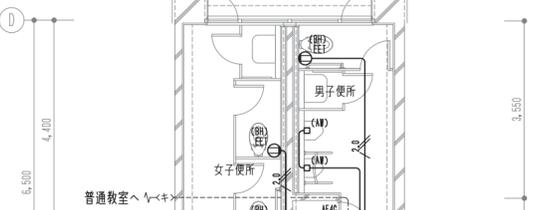
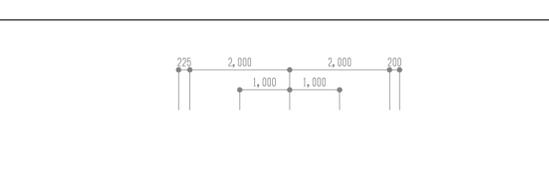
コンセント他 用途凡例
(BN) 便座ヒーター用
(WT) ウォシュレット用

改修後 管理・特別教室棟 1階 便所B 照明、コンセント設備改修図 1/100



改修後 照明設備図 1/100

- ※1 男子便所 トイレ改修に伴う照明設備の新設。
※2 女子便所 トイレ改修に伴う照明設備の新設。



改修後 コンセント備図 1/100

- ※1 男子便所 トイレ改修に伴うコンセント設備の新設。
※2 女子便所 トイレ改修に伴うコンセント設備の新設。
※3 PS 自動火災報知設備 感知器の新設(配線延長)

Table with columns: 記号, ケーブル・電線, 二重天井内, 壁内保護管, コンクリート打込部, 屋内露出部(室内), 屋内露出部(その他), 屋外露出部, 屋外埋設部. Lists various cable and pipe specifications.

注記1) 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内: 1種金属製び(MMI-A)、その他: 金属製電線管(E管)とする。
注記2) 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。

改修工事 凡例
今回事 配線、配管を示す。
既設 配線、配管を示す。
今回事 機器を示す。
既設 機器を示す。

- 凡例
ジョイントボックス OB102x54 (フランクカバー共)
ノズルプレート (角型)
カバープレート (角型)
カバープレート (丸型)
防水型SUS製
防雨入線カバー
接地極埋設標示板(黄銅製)
防火区画貫通部を示す。(注記2参照)

- 既設天井点検口
新設天井点検口 (建築工事)
ダクト換気扇 納入・取付: 機械設備工事
換気扇 納入・取付: 機械設備工事
熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24818

- 埋込コンセント (2P15A x 1)
埋込コンセント (2P15A x 2)
埋込コンセント (2P15A x 1) E種・ET付
埋込コンセント (2P15A x 2) E種・ET付

- 定温式スポット型感知器 1種 確認灯付
ケーブル引下げ部を1種金属製び(MMI-A)で保護を示す(今回工事)

コンセント他 用途凡例
(BN) 便座ヒーター用
(WT) ウォシュレット用
(WV) 自動手洗器用
(M) 小便器自動洗浄器

Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(II期)
管理・特別教室棟 1階 便所B 照明、コンセント設備改修図
Scale. A2: 1/100 A3: x70% Code.

Date. 2024.10 Draw. F.S Section. No. 電気 10/11
1級建築士登録第175199号 小林一輝

改修前 管理・特別教室棟 2階 便所B 照明、コンセント設備改修図 1/100

女子便所
a 201 1 撤去
b 401 2 撤去
d 201 1 撤去

男子便所
a 201 1 撤去
b 401 2 撤去
d 201 1 撤去

廊下

改修前 照明設備図 1/100

※1 男子便所 トイレ改修に伴う照明設備の撤去。
※2 女子便所 トイレ改修に伴う照明設備の撤去。

廊下

改修前 コンセント備図 1/100

※1 男子便所 トイレ改修に伴うコンセント設備の撤去。
※2 女子便所 トイレ改修に伴うコンセント設備の撤去。

改修後 管理・特別教室棟 2階 便所B 照明、コンセント設備改修図 1/100

線種記入なきは下記とする。

記号	ケーブル・電線	配管					
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部
—	1.2 x 4	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	1.6 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	1.6 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	1.6 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 2	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19	E-19
—	2.0 x 3	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 4	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	2.0 x 2 E2.0	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25	E-25
—	VV-F 2.0-3C	(1C:E)			MM1-A	MM1-A	

注記1) 撤去工事概要

- ・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
- ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。
- ・撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。
- ・図中明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。
- ・撤去後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。
- ・撤去後、施設引き渡しとする機器は、清掃及び絶縁測定の上、リストを作成の上、引き渡しとする。

注記2) 撤去工事区分

- ・機器撤去 : 本工事
- ・二重天井内配管配線: 建築工事 (天井撤去に伴う部分)
- ・二重天井内配管配線: 本工事 (天井撤去無き部分)
- ・壁内配管配線 : 建築工事 (壁撤去に伴う部分)
- ・壁内配管配線 : 本工事 (壁撤去無き部分) ※配線: 引抜き、配管: 現状のまま廃止

撤去工事 凡例

- 配線、配管 配管現状のままを示す。
- x — 配線: 撤去、配管: 撤去又は現状のまま廃止を示す。
- ⊕ — 配線: 撤去、配管: 再利用を示す。
- 機器 現状のままを示す。
- ⊗ 撤去 機器を示す。
- ⊗ 取外し (再利用) 機器を示す。

凡例

- ダクト換気扇 撤去・取外し: 機械設備工事
- 換気扇 撤去・取外し: 機械設備工事
- 3 埋込スイッチ (3W15A×1)
- 4 埋込スイッチ (4W15A×1)
- L 埋込スイッチ (1P 4A×1) PL付
- パイロットランプ (AC100V)
- ① 埋込コンセント (2P15A×1)
- ② 埋込コンセント (2P15A×2)
- ③ ET 埋込コンセント (2P15A×1) ET付
- ④ 2ET 埋込コンセント (2P15A×2) ET付
- ⊖ 差動式スポット型感知器 2種
- ★ ケーブル引下げ部を1種金属線び (MM1-A) で保護を示す

コンセント他 用途凡例

- (B) ① 便座ヒーター用
- (W) ① ウォシュレット用

改修後 管理・特別教室棟 2階 便所B 照明、コンセント設備改修図 1/100

女子便所
A321H 1 新設
C321H 1 新設
E100(A) 2 新設
E150(B) 1 新設

男子便所
A321H 2 新設
C321H 1 新設
E100(A) 1 新設
E150(B) 1 新設

廊下

改修後 照明設備図 1/100

※1 男子便所 トイレ改修に伴う照明設備の新設。
※2 女子便所 トイレ改修に伴う照明設備の新設。

廊下

改修後 コンセント備図 1/100

※1 男子便所 トイレ改修に伴うコンセント設備の新設。
※2 女子便所 トイレ改修に伴うコンセント設備の新設。

改修後 管理・特別教室棟 2階 便所B 照明、コンセント設備改修図 1/100

線種記入なきは下記とする。

記号	ケーブル・電線	配管					
		二重天井内	壁内保護管	コンクリート打込部	屋内露出部(室内)	屋内露出部(その他)	屋外露出部
—	EM-EFF 1.6-2C		PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19
—	EM-EFF 1.6-3C		PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 1.6-2C x 2		PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 1.6-3C + 1.6-2C		PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 1.6-3C x 2		PF-S28	PF-S28	MM1-A	E-31	E-31
—	EM-EFF 2.0-2C		PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19
—	EM-EFF 1.6-3C (10:E)		PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 1.6-2C x 2 (10:E)		PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25
—	EM-EFF 2.0-3C (10:E)		PF-S22	PF-S22	MM1-A	E-25	E-25
—	FL(BW)				MM1-A		
—	EM-AE 1.2-4C		PF-S16	PF-S16	MM1-A	E-19	E-19

注記1) 上記に於いて屋内露出配管となる部分は 室内: 1種金属線び (MM1-A)、その他: 金属製電線管 (E管) とする。
注記2) 防火区画等の配管貫通部は「金属製電線管で保護」又は「国土交通大臣認定工法」による措置を行う事とする。
注記3) コンクリート躯体内等保護必要箇所の配線はPF-S管にて保護とする。
注記4) 露出配管 (金属製電線管) は指定色塗装とする。
注記5) ▲ 既設コンクリート壁貫通穴開け部を示す。
注記6) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。

改修工事 凡例

- 今回工事 配線、配管を示す。
- (x) --- 既設 配線、配管を示す。
- 今回工事 機器を示す。
- ⊗ 既設 機器を示す。
- ⊕ 取外し既設機器 再取付を示す。
- ⊕ 接続 既設配線に接続を示す。
- ⊕ 接続 既設品に新設配線接続を示す。

凡例

- ⊗ J ジョイントボックス OB102x54 (フランクカバー共)
- NP(C) ノズルプレート (角型)
- KP(C) カバープレート (角型)
- KP(W) カバープレート (丸型)
- KP(C)-NP カバープレート (角型) 防水型SUS製
- WP 防雨入線カバー
- ⊕ 接地極埋設標示板 (黄銅製)
- ⊕ 防火区画貫通部を示す。(注記2参照)
- ⊗ 既設天井点検口
- ⊗ 新設天井点検口 (建築工事)
- ダクト換気扇 納入・取付: 機械設備工事
- 換気扇 納入・取付: 機械設備工事
- RAS-W 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・親機 明るさセンサ付 広角検知型 MODEL) WTK24818
- RAS-S 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 広角検知型 MODEL) WTK29129
- RAS-FW 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 親子式・子機 換気扇連動端子付 隅欠遅延 MODEL) WTK2933K
- RAS-T 熱線センサ付自動スイッチ 天井付型 明るさセンサ付 換気扇連動機能付 MODEL) WTK2604
- 1-SL 同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 1回路型 P: ガードプレート 取付高: FL+1800 MODEL) WTK5820W
- 2-SL 同上 (自, 切, 手) 切替スイッチ 2回路型 P: ガードプレート 取付高: FL+1800 MODEL) WTK5822W
- ① 埋込コンセント (2P15A×1)
- ② 埋込コンセント (2P15A×2)
- ③ ET 埋込コンセント (2P15A×1) E極・ET付
- ④ 2EET 埋込コンセント (2P15A×2) E極・ET付
- 定温式スポット型感知器 1種 確認灯付
- ★ ケーブル引下げ部を1種金属線び (MM1-A) で保護を示す (今回工事)

コンセント他 用途凡例

- (B) ① 便座ヒーター用
- (W) ① ウォシュレット用
- (W) ① 自動手洗器用
- (W) □ 小便器自動洗浄器

機械設備工事 特記仕様書

A. 工事概要

1. 工事名称	可見市立東可見中学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）
2. 工事場所	可見市皐ヶ丘4丁目71
3. 用途地域等	都市計画区域 <input type="radio"/> 都市計画区域内（ ・ 市街化区域 ・ 市街化調整区域 <input type="radio"/> その他 ） ・ 都市計画区域外 用途地域 ・ 第一種低層住居専用地域 ・ 第二種低層住居専用地域 <input type="radio"/> 第一種中高層住居専用地域 ・ 第二種中高層住居専用地域 ・ 第一種住居地域 ・ 第二種住居地域 ・ 準住居地域 ・ 近隣商業地域 ・ 商業地域 ・ 準工業地域 ・ 工業地域 ・ 工業専用地域 ・ 用途地域の指定のない区域 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 <input type="radio"/> 指定なし その他の指定 ・ 建築基準法第22条指定区域内 ・ 建築基準法第22条指定区域外 ・ 指定なし <input type="radio"/> （ 星ヶ丘地区計画区域 ）
4. 建物概要	

建物名称	構造及び階数	延面積	消防法施行令の適用	備考
管理特別教室棟	RC-3	2402m ²	7項	改修

5. 工事種目

建物別及び屋外		工 事 種 別				
工事種目	管理特別教室棟	管理特別教室棟	プール棟			屋 外
	【便所A】	【便所B】				
<input type="radio"/> 冷暖房設備		<input type="radio"/>				
<input type="radio"/> 換気設備	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
<input type="radio"/> 衛生器具設備	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
<input type="radio"/> 給水設備	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
<input type="radio"/> 排水通気設備	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
・						
・						

6. 設備概要

方式及び種別	設 備 概 要	
・ 空調方式	・ ダクト方式（ ・ 各階ユニット ・ 中央 ） ・ パッケージ方式（ ・ マルチ ・ 個別 ）	
・ 暖房方式	・ ファンコイルユニット・ダクト方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ方式 ・ 灯油エンジンヒートポンプ方式	
・ 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 中央監視制御	
<input type="radio"/> 給水方式	・ 水道直結方式 ・ 高層タンク方式 ・ 圧力タンク方式 <input type="radio"/> ポンプ直送方式 ・ 増圧給水直結方式	
<input type="radio"/> 排水方式	建物内汚水、雑排水（ ・ 合流式 <input type="radio"/> 分流式 ） ポンプ排水 ・ 有（ ・ 汚物 ・ 雑排水 ・ 湧水 ） ・ 無 建物外放流先 汚 水（ <input type="radio"/> 下水管直放流 ・ ） 雑排水（ <input type="radio"/> 下水管直放流 ・ ）	
・ 消火設備の種別	・ 屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 泡消火設備 ・ 連結給水設備 ・ 連結送水管 ・ 不活性ガス消火設備（ ・ ）	
・ ガスの種類	・ 都市ガス（種別： 発熱量 MJ/m ³ （N） 供給事業者名 ） ・ 液化石油ガス（ ・ ポンプ ・ バルクタンク ・ ）	

B. 工事仕様

1. 一般仕様

- 新設工事共通仕様書
 - 特記仕様、図面及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁官廳部監修の公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）による。
 - 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
- 改修工事共通仕様書
 - 特記仕様書、図面及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁官廳部監修の公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）による。
 - 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
- 可見市共通仕様書
 - 上記仕様書の他、可見市建築工事共通仕様書（最新版）による。
- 設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（1）～（5）の順番と取りとする。
 - 質疑回答書（2）現場説明書（3）特記仕様（4）図面（5）標準仕様書及び標準図
- 提出書類等
 - 本工事の施工に関して提出書類は、可見市建築工事における取扱い書類一覧に基づき作成し提出又は提示する。また、工事着工時に工事用製本（A3二つ折り）3部を提出する。
- 完成時の提出書類
 - 工事完成時には可見市建築工事における取扱い書類一覧に基づき書類を整理し完成図書としてまとめ監督員に提出すること。完成図は施工図も含め完成製本（A2二つ折り、A3二つ折り）各2部を提出すること。また、CADデータ（JWW又はDXF）を提出すること。
- 工事書類の簡素化
 - 提出・指示書類は可見市建築工事における取扱い書類一覧に基づき実施するものとする。また、工事工事打合簿（指示・協議・承諾は除く）、材料確認簿、段階確認簿、確認・立会願、夜間・休日作業届の書類を提出する場合は、所定様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。

2. 特記事項

- この仕様書は下記の要領により適用する。
- 章は●印の付いたものを適用し、項目は○印内に数字のあるものを適用する。
 - 特記事項は ○ 印だけを適用する。
 - 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事については「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条（臨機の措置）によって処理されるものとする。

項 目	特 記 事 項
● 一般共通事項	
① 法令その他	本工事は工事に関する法令・条例及び規定等に基づいて施工する。 官公署の検査を必要とするものについては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、CORINS（工事実施情報サービス）への登録を原則とする。
② 工事実績情報の登録	
③ 機材等	1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に定める品質および性能を有する新品とする。ただし、仮設工事材料・その他特に指定したものは新品でなくともよい。また、これらの機器・機材は監督員の承諾を受け施工する。 2) 主要材料については、速やかに主要機材の製作所名等一覧表を提出し、監督員の確認を受ける。 3) 設計図書に記載してあるもの及び監督員の指示する材料、仕上げの程度、色合い等については、あらかじめ見本を提出して確認を受ける。
④ 環境への配慮	使用資材については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・スチレン・エチルベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。 上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。 ・ 要 ・ 不要 基準以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に引渡しを行うこと。又ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準以上だった場合は、直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用の全ては受注者の負担とする。 1) 引き渡しを要するもの（○）レバー式給水栓 ・ ） 2) 特別管理産業廃棄物（ ・ ） 3) 再生資源化を図るもの（ ・ ） 4) 石綿含有品（ ・ 配管用成形保温材 ・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管 ・ ダクト ・ ボイラー本体 ）） 撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理をする。 配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。 処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。 混合物の処理については管理最終処分場に持ち込むものとする。 建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了後に同計画書の実施報告書（COBRIS）を提出すること。
5 室内汚染物質の測定	
⑦ 建設廃棄物	建設発生土（建設工事に伴い発生する土砂等）を搬出又は搬入する場合は「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」（平成19年4月1日施行）を遵守すること。またその実施に際しては事前に計画書を作成し監督員へ提出、承諾を得ること。 ・ 土壌検査（ ・ 実施する ・ 実施しない ・ 実施済み ） ・ 構内敷均し ○ 建築工事にて処分
⑧ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書	
⑨ 残土処分	

● 一般共通事項

- ⑩ 足場その他
- ⑪ 機材（工事材料）の検査等
- ⑫ 技能士
- ⑬ 検査
- ⑭ 概成工期
- ⑮ 火災保険等
- ⑯ 施工計画書
- ⑰ 施工図等
- ⑱ 軽微な変更等
- ⑲ 工事写真
- ⑳ 完成図書
- ㉑ 監督員事務所
- ㉒ 工事用水・電力等
- ㉓ 電気保安技術者
- ㉔ 工事用仮設物
- ㉕ 総合調整
- ㉖ 耐震措置
- ㉗ 案内板
- ㉘ 配 管

- 別契約の関係受注者（包含工事の場合は元請）が設置したものは無償で使用できる。
・ 本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。改修標準仕様書第1編2.2.1より足場の種別は以下による。
・ 内部足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 ）
・ 外部足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 ）
使用する機材について、自主検査記録（任意様式）を作成すること。ただし、主要な機材については監督員の検査を受ける。なお、監督員検査の結果、合格とされた機材と同じ種別の機材は、以後原則として抽出検査とする。
また、製造工場等における検査を行う機材については、監督員の指示による。
○ 配管（建築配管作業） ○ 熱絶縁施工（保温保冷工事作業） ・ 建築板金（ダクト板金作業）
・ 冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業） ・ 空気圧縮装置組立て（空気圧縮装置組立て作業）
・ 塗装 ・ さく井（ ・ パーカッションさく井工事作業 ・ ロータリーさく井工事作業）
・ 鉄工（ ・ 製缶作業 ・ 構造物鉄工作業）
中間検査 ・ 対象工事（対象部分： ） ・ 対象外工事
工事施工途中における技術検査の対象箇所・実施回数等は監督員の指示による。
総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。工事施工中、火災保険又は、それに代わる請負賠償責任保険等に加入し、証書の写しを提出する。
1) 総合施工計画書（仮含む）
2) 工種別施工計画書
施工図等の著作権にかかるとは、発注者に移譲するものとする。
1) 本仕様書・設計図に明記なき事項でも本工事完成の高機能上・構造上・外観上当然施工を要する事項は請負金額の増減なく完全に施工のこと。
2) 本設計図書内明記の既設配管は、既設図面及び所轄支所当該指示に基づき作成されている為、既設の状況と図面との間に差異が生じ、本設計書による事が困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従い施工する。
国土交通省大臣官房官庁官廳部監修「宮繕工事写真撮影要領（平成24年版）・同解説 工事写真の撮り方（建築設備編）」による他、監督員の指示により撮影し提出する。
現場説明書による。
・ 設けない ・ 設ける（ ・ 既設建物を使用 ・ 構内に新設）
本工事に必要な工事用電力・水等及び話し手続きなどに要する費用はすべて受注者の負担とする。
・ 要 ・ 不要
構内につくることが できる ・ できない ）。
○ 本工事として下記の測定表を提出する。
総合調整の項目
・ 風量調整 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内空気流じんあいの測定
・ 騒音の測定 振動調整 ○ 初期運転状態の記録 ○ 飲料水の水质の測定（26項目）
耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。
1) 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水櫃その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数 $[\text{○} 1.0 \cdot 1.2]$ 及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度

部 位	機器種別	・ 特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上・及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水櫃類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水櫃類	1.5	1.0	1.0	0.6

- 上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
重要機器は次のものを示す。
・ 給水機器（受水櫃） ・ 排水機器（ ）
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災設備
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備
・ 避難経路上に設置する機器
2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする。
機器システム図及び重要な定期点検項目等を記載した案内板を設備機械室に設ける。
1) 呼び径60SU以下のステンレス鋼管の継手は、下記による。
メカニカル形管継手（ ・ 拡管式 ・ プレス式）
2) 建物導入部配管の変位吸収方法は標準図施工4・5（建築物導入部の変位吸収要領）による。
・ (a) フレキブルジョイントを使用 ・ (b) ボールジョイントを使用 ○ (c) スリークッション
3) 溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要（ ）



Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

Project.	可見市立東可見中学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）	Date.	2024.10	Draw.	neo-m	Section.	No.	01 / 16
	特記仕様書 - 1							
Scale.	N.S	Code.						1級建築士登録第175199号 小林一輝

<p>● 一般共通事項</p> <p>29. 地中埋設管等</p> <p>30. 弁 類</p> <p>31. 絶縁ワガ・絶縁継手</p> <p>32. 鋼管用伸縮管継手</p> <p>33. 防振吊り金物 及び防振支持金物</p> <p>34. 保温工事</p> <p>35. 塗 装</p> <p>36. はつり</p> <p>37. 天井仕上区分</p> <p>38. 他工事又は他工種 とのとりあい</p> <p>39. 電線類</p> <p>40. その他</p>	<p>1) 地中埋設配管（排水管を除く）</p> <p>(1) 地中埋設種 ・ 要（分岐点・曲点）（ ・ 樹脂製（SUSプレート） ・ 鉄製 ） ・ 不要</p> <p>(2) 埋設表示テープ ・ 要（表示テープ） ・ 要（ロケータングワイヤー） ・ 不要</p> <p>2) 埋戻土及び盛土</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根切土中の良質土 ・ 場外搬入土 ・ 山砂の類 排水管 0.16m³、給水・消火・ガス管 0.1m³、 <p>3) 地中埋設の鋼管類（排水配管の鋼管類及び合成樹脂等で外面を被覆された部分は除く）の防食処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベトロウム系 ・ プチルゴム系 ・ プラスチックテープ <p>4) 保温を施さないの鋼管類でコンクリート埋込又は貫通部の防食処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベトロウム系 ・ プチルゴム系 ・ プラスチックテープ <p>特記のない弁の耐圧は、JIS又はJV 10Kとする。</p> <p>油系に使用する弁の耐圧は、10K（マレアップ弁等）とする。</p> <p>水道直結給水配管系に使用する弁の耐圧は、JIS又はJV 10Kとする。</p> <p>ステンレス鋼管に取り付ける呼び径65以上の弁は、ステンレス製とする。</p> <p>○ 弁名札及び開閉状況札を取付ける。</p> <p>図示の位置に取り付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベローズ形 ・ スリーブ形 <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>標準仕様書第2編3章1節によるほか次による。ただし各工事種目で別に指定されたものは除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多湿箇所 室 名： ・ 共同溝内 ダクト： 配管： ・ 保温無し屋外露出の配管及びダクトは塗装を行う。（ただし、機械室内及び屋上は除く） ・ <p>既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。</p> <p>穴開けを行う際は、電磁誘導等の機器で鉄筋探査を行う。</p> <p>また、鉄筋の切断が必要な場合は監理者、発注者に確認の上、行う事。</p> <p>() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。</p> <p>図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。</p> <p>電線及びEMケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。</p> <p>電線類は、EMケーブルを使用する。（機器、盤類を除いてもよい）</p> <p>屋外設置のマノホール類には用途名を入れる。</p> <p>屋外で使用する鋼材等は、（ ・ 溶融亜鉛めっき仕上げ ○ステンレス鋼材 ）とする。</p>	<p>● 空気調和設備</p> <p>1. 設計温湿度</p> <p>2. ばいじん量測定口</p> <p>3. ばい煙濃度計取付座</p> <p>4. ダクト</p> <p>5. チャンバー</p> <p>6. ダンパー</p> <p>7. 風量測定口</p> <p>8. 配管材料</p> <p>9. 弁 類</p> <p>10. 温度計・圧力計</p>	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋 内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">凍結防止系統</th> </tr> <tr> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> <th>温度（DB）</th> <th>湿度（RH）</th> </tr> <tr> <th>夏季</th> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <th>冬季</th> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>設ける（測定口は80mm以上とし、取り付け箇所は煙道の直線部とする）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設ける ・ 設けない ・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ・ アンダルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。） <p>1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。</p> <p>2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼したチャンバーには内貼したチャンバーには点検口を設置し、寸法は図示による。</p> <p>3) 外壁に面するガラリに直接取り付けするチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。</p> <p>1) 防煙ダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔（定格入力DC24V 0.7A以下） ・ ）</p> <p>2) ピストンダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ）</p> <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼管（白） ・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 架橋ポリエチレン管（20A以下） <p>2) 冷却水管 ・ 配管用炭素鋼管（白） ・</p> <p>3) 空調用排水管 ・ 配管用炭素鋼管（白） ・</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 <p>4) 冷媒管 ・ 断熱材被覆銅管（難燃性）</p> <p>5) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼管（白）とする。</p> <p>6) 加湿用給水管 ・ ステンレス鋼管 ・ ポリ粉体鋼管（PA又はPB） <ul style="list-style-type: none"> ・ 塩ビライニング鋼管（VA又はVB） <p>7) 蒸気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼管（黒） ・ <ul style="list-style-type: none"> ・ 圧力配管用炭素鋼管（黒）Sch40 <p>選管 ・ 圧力配管用炭素鋼管（黒）Sch80 <ul style="list-style-type: none"> ・ 配管用炭素鋼管（黒） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ 灯油用被覆銅管 <p>8) 油管</p> <p>1) 冷温水コイル廻り（標準図）の弁は（ ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ）とする。</p> <p>2) 蒸気加熱コイル廻り（標準図）の弁は仕切弁とする。</p> <p>3) ファンコイルユニットと冷水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。</p> <p>また、ファンコイルユニットには、（ ・ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ）を設置する。</p> <p>下記の表に○をつけた箇所に設置する。なお円形指示計は100mmφ以上とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機材名</th> <th rowspan="2">計測部位</th> <th rowspan="2">温度計の種類</th> <th colspan="2">温度計</th> <th colspan="2">圧力計</th> </tr> <tr> <th>入口側</th> <th>出口側</th> <th>入口側</th> <th>出口側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷温水機</td> <td>冷温水</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>冷凍機</td> <td>冷却水</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>パッケージ形</td> <td>サブライチャンバー</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>空気調和機</td> <td>レタンチャンバー</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ユニット形</td> <td>冷温水</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>空気調和機</td> <td>サブライチャンバー</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>レタンチャンバー</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>防振支持の機器</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td>水體類</td> <td>円形指示計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>瞬間流量計はビトー管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。</p> <p>なお瞬間流量計の形式は、（ ・ 固定式 ・ 着脱式 ）とする。</p> <p>着脱式の場合、（40A 個 100A 個 ）を付属する。</p> <p>制御盤には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。</p> <p>なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。</p> <p>また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。</p> <p>標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。 ・ 建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項により、空気抜き対象管から空気抜きまでとする。 ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。 ・ 冷媒管の保温外装は下記による。（ただし、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要） <p>屋外露出（ ・ 合成樹脂製カバー ・ 保温化粧ケース（材質： ））</p> <p>屋外露出（ ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース（材質： ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カラー亜鉛鉄板 ・ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板） <ul style="list-style-type: none"> ・ 外気取入れ用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ・ 排気用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ・ 還気用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） </p></p></p>		外 気				屋 内（調整目標値）				一 般 系 統				一 般 系 統		凍結防止系統		温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	夏季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	冬季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	機材名	計測部位	温度計の種類	温度計		圧力計		入口側	出口側	入口側	出口側	冷温水機	冷温水	円形指示計	-	-	-	-	冷凍機	冷却水	円形指示計	-	-	-	-	パッケージ形	サブライチャンバー	円形指示計	-	-	-	-	空気調和機	レタンチャンバー	円形指示計	-	-	-	-	ユニット形	冷温水	円形指示計	-	-	-	-	空気調和機	サブライチャンバー	円形指示計	-	-	-		レタンチャンバー					熱交換器	防振支持の機器	円形指示計	-	-	-	-	ヘッダー	水體類	円形指示計	-	-	-	-	<p>● 換気設備</p> <p>1. ダクト</p> <p>2. 風量測定口</p> <p>3. ダンパー</p> <p>4. シールする排気</p> <p>5. チャンバー</p> <p>6. 保 温</p>	<p>○ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンダルフランジ工法 ○ スバイフルダクト ・ フレキシブルダクト（ ・ 保温付 ・ 保温無 ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。） ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト（範囲及び仕様は図示による） ・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。（範囲は図示による） <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>空気調和設備の当該項目による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房系統 ・ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ・ <p>空気調和設備の当該項目による。</p> <p>次のダクトは保温を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外気取入れ用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ＊取り入れ口より吹き出し口まで全て ○ 排気用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ＊外壁より1m ・ 多湿箇所のダクトの保温要 （保温の厚さ50mm、範囲は図示による） ・ 厨房及び湯沸室の排気ダクトの保温要 （保温の厚さ50mm（RW）、範囲は図示による）
	外 気				屋 内（調整目標値）																																																																																																																			
	一 般 系 統				一 般 系 統		凍結防止系統																																																																																																																	
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）																																																																																																																
夏季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																																
冬季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																																
機材名	計測部位	温度計の種類	温度計		圧力計																																																																																																																			
			入口側	出口側	入口側	出口側																																																																																																																		
冷温水機	冷温水	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																		
冷凍機	冷却水	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																		
パッケージ形	サブライチャンバー	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																		
空気調和機	レタンチャンバー	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																		
ユニット形	冷温水	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																		
	空気調和機	サブライチャンバー	円形指示計	-	-	-																																																																																																																		
	レタンチャンバー																																																																																																																							
熱交換器	防振支持の機器	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																		
ヘッダー	水體類	円形指示計	-	-	-	-																																																																																																																		
<p>● 改修関係事項</p> <p>1. 既設との取合い</p> <p>2. 施工調査</p> <p>3. 仮設囲仕切</p> <p>4. 養生</p> <p>5. 既設ダクトの再利用</p> <p>6. 非破壊検査</p> <p>7. 試 験</p> <p>8. あと施工アンカー</p> <p>9. 撤去工事</p> <p>10. 冷媒（フロン類） の回収</p>	<p>1) 本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。</p> <p>2) 撤去及び取壊し工事は、既存設備の概要を十分に調査・把握・検討した後着工する事。</p> <p>事前調査 ○ 本工事 ・ 別途</p> <p>調査項目 ○ 既存資料調査</p> <p>調査範囲・方法 ・ 図示 ○ 工事範囲</p> <p>仮設囲仕切は、改修標準仕様書第1編2.2.3による。種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ）</p> <p>既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編3章による。</p> <p>改修標準仕様書第3編2.2.8「既設ダクトの再利用」による。</p> <p>改修標準仕様書第3編2.2.9「ダクト清掃」を ・ 行う ・ 行わない</p> <p>放射線透過検査等による埋設物の調査は（ ・ 要 ・ 不要 ）とする。</p> <p>範囲は監督職員の指示による。なお、検査費は別途とする。</p> <p>1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。</p> <p>2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。</p> <p>3) 配管試験は ○ 水圧試験 ○ 満水試験 ○ 通水試験 を行う。</p> <p>改修標準仕様書第2編5.1.3「インサート及びアンカー」による。</p> <p>下記の試験を行う場合には、範囲は監督員と協議による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンカー引抜試験（ ・ 性能確認試験 ・ 施工後確認試験 ） <p>撤去する配管（断熱材被覆銅管を含む）、ダクト等の保温は分離する。</p> <p>撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。</p> <p>石綿含有分析調査 ・ 本工事 ○ 別途工事</p> <p>石綿撤去方法 ・ 本工事（ ・ 図示による ） ・ 別途工事</p> <p>業務用冷凍空調機器の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により、次の書類の写しを監督員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷媒充填・回収証明書 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券） <p>撤去する前にフロンを屋外側ユニットに集める作業（ボンダウン）を行う。</p> <p>パッケージ形空気調和機の移設等により、冷媒の回収・再充填が必要となる場合においては、上記に準じて冷媒の大気中への放出を防止する措置を講ずること。</p>	<p>11. 瞬間流量計</p> <p>12. 油面制御装置</p> <p>13. 保温及び消音内貼</p>	<p>瞬間流量計はビトー管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。</p> <p>なお瞬間流量計の形式は、（ ・ 固定式 ・ 着脱式 ）とする。</p> <p>着脱式の場合、（40A 個 100A 個 ）を付属する。</p> <p>制御盤には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。</p> <p>なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。</p> <p>また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。</p> <p>標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。 ・ 建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項により、空気抜き対象管から空気抜きまでとする。 ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。 ・ 冷媒管の保温外装は下記による。（ただし、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要） <p>屋外露出（ ・ 合成樹脂製カバー ・ 保温化粧ケース（材質： ））</p> <p>屋外露出（ ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース（材質： ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カラー亜鉛鉄板 ・ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板） <ul style="list-style-type: none"> ・ 外気取入れ用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ・ 排気用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ・ 還気用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） 	<p>● 換気設備</p> <p>1. ダクト</p> <p>2. 風量測定口</p> <p>3. ダンパー</p> <p>4. シールする排気</p> <p>5. チャンバー</p> <p>6. 保 温</p>	<p>○ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンダルフランジ工法 ○ スバイフルダクト ・ フレキシブルダクト（ ・ 保温付 ・ 保温無 ） <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧1ダクト（範囲は図示による。） ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト（範囲及び仕様は図示による） ・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。（範囲は図示による） <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>空気調和設備の当該項目による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厨房系統 ・ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ・ <p>空気調和設備の当該項目による。</p> <p>次のダクトは保温を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外気取入れ用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ＊取り入れ口より吹き出し口まで全て ○ 排気用ダクトの保温要 （保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ＊外壁より1m ・ 多湿箇所のダクトの保温要 （保温の厚さ50mm、範囲は図示による） ・ 厨房及び湯沸室の排気ダクトの保温要 （保温の厚さ50mm（RW）、範囲は図示による） 																																																																																																																			



Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

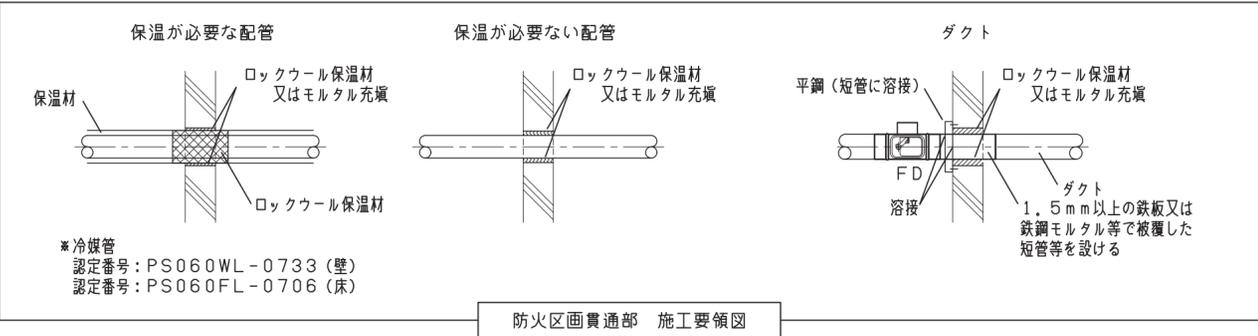
Project.	可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）	Date.	2024.10	Draw.	neo-m	Section.	機械	No.	02 / 16
Scale.	N.S	Code.		1級建築士登録第175199号 小林一輝					

<p>●衛生器具設備</p> <p>① 大便器 ② 小便器 ③ 水栓 ④ 掃除流し ⑤ 和風大便器 耐火カバー</p>	<p>洋風便器の洗浄弁の洗浄水量は8、5L/回以下とする。ただし、タンク式の洗浄水量は6、5L/回以下とする。 洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 ・カウンター取付け形 ・耐寒水栓(吊コマ) ・湯沸室流し用の水栓は泡沫式とする。 排水口は(○)目皿 ・鎖付きゴム栓)とする。 和風大便器の防火区画貫通処理は標準図による。</p>
<p>●給水設備</p> <p>① 配管材料 ② 引き込み納付金 ③ 量水器 ④ 量水器併 ⑤ 水栓柱 ⑥ 管の地中埋設深さ ⑦ 凍結深度</p>	<p>1) 一般配管 ・ ステンレス鋼管(SUS304) ○ 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 ※地中配管 ○ 塩ビファイニング鋼管(○)VB ・) ・ ポリ粉体鋼管(・PB) 上記の選択で、ポリ粉体鋼管又は塩ビファイニング鋼管を使用する場合、厨房、浴室等のシンダー内配管はPD又はVDとする。 2) 地中埋設配管 ・ ステンレス鋼管(SUS316)(・建物内 ・ 屋外部分) ○ 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 3) 水道直結配管 引込みは水道事業者の指定による。量水器以降は、1)及び2)による。 ・ 要(・本工事 ・ 別途工事) ・ 不要 親メーター(・貸与品 ・) 親メーターの形式(・直読 ・ バルス) 子メーター(・買取り ・) 子メーターの形式(・直読 ・ バルス) ・ 水道事業者指定品(・貸与品 ・ 買取り) ・ 標準図MC形(子メーター用) ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製 ○ 埋設深さは原則として、車両通行部分では管の上端より(○)600mm ・ mm)以上 その他の部分では管の上端より(○)300mm ・ 600mm)以上 屋外配管の凍結深度は 600mm</p>
<p>●排水設備</p> <p>① 配管材料 ② 洗面器等の排水管 ③ 放流納付金 ④ 満水試験継手</p>	<p>1) 屋内 汚水管 ・ 排水用塩ビファイニング鋼管 ・ ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(○)VP ・ VU) ※地中配管 ○ 耐火二層管(・VP ・ VU) 雑排水管・通気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(○)VP ・ VU) ※地中配管 ○ 耐火二層管(・VP ・ VU) ポンプアップ排水管 ・ 排水用塩ビファイニング鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(・VP ・ VU) 衛生器具廻り ○ビニル管 ・ 鉛管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(・VP ○)VU) 2) 屋外 第1樹以降及び併用 ・ 1) 洗面器及び手洗器に直結する排水管は器具トランプより1サイズアップとする。 2) 給湯室台所流し等の床上部分の配管は、ビニル管でもよい。 ・ 要(・本工事 ・ 別途工事) ・ 不要 図示の位置に取り付ける。</p>

C. 工事区分表						
項 目		機械設備	建築	電気設備		
開 口 部	鉄骨部材のはり貫通部	穴開け(補強を含む)	-	-	-	
	鉄骨鉄筋コンクリート部材のはり貫通部	補 強	-	-	-	
		スリーブ	-	-	-	
	RC部材のはりの貫通部	補 強	-	○	-	
		スリーブ	○	-	○	
	RC部材の床・壁の貫通部	補 強	-	○	-	
		スリーブ	○	-	○	
		型枠(補強の有るもの)	○	-	○	
		型 枠	○	-	○	
		床デッキプレートの貫通部	補 強	-	-	-
		切り込み	-	-	-	
	開口部の穴埋め補修	○	-	○		
	天井・軽鉄懸仕切りの開口	ボードの切込み及び補強共	-	○	-	
基 礎 等	屋上設置の設備機器の基礎		-	-	-	
	大形設備機器の基礎		-	-	-	
	防水層に影響する基礎		-	-	-	
	上記以外の機器の基礎		-	-	-	
	架台、アンカーボルト		○	-	-	
	外部取付ガワリ	ダクトチャンバーの接続用フランジを含む	-	-	-	
	換気扇の取付枠		-	-	-	
	厨房床貫通部止水処理		-	-	-	
	湯沸室等流し台	排水トランプ共	○	-	-	
	湯沸室等の排気フード	ステンレス製天蓋	-	-	-	
床、天井点検口		-	○	-		
防油堤	建物内、油サービスタシクの防油堤	-	-	-		
電 気 配 管 配 線	機器付属の制御盤以降の二次側配管配線(接地共)		-	-	-	
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		-	-	○	
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線		-	-	-	
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線		-	-	-	
	機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線(接地共)		○	-	○	
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパーに至る配管配線		-	-	-	
	小便器用節水装置の制御盤以降の二次側の配管配線		-	-	-	
	改修工事	コンクリート壁、床など	はつり	○	○	-
			荒補修	○	○	-
			仕上げ補修	-	○	-
	天井、壁などのボード類	撤去(ボード類のみ)	-	○	-	
		撤去(下地開口補強を含む)	-	○	-	
		復旧	-	○	-	

凡 例

記 号	名 称	新設管種	既設管種
-----	給水管	【地中埋設】硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) 【上記以外】水道用ポリ粉体ファイニング鋼管 JWWAK-116 SGP-VB	便所A・C 水道用ポリエチレン粉体ファイニング鋼管 WSP-016 便所B・D 【地中埋設】硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) 【上記以外】水道用ポリ粉体ファイニング鋼管 JWWAK-132 SGP-PA
-----	排水管	【地中埋設】硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	汚水管 排水用鉛管(メカニカル) 雑排水管・通気管 配管用炭素鋼鋼管(白) 器具接続部 排水用鉛管
-----	通気管	【上記以外】耐火二層管	
—D—	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	配管用炭素鋼鋼管(白) 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)※地中配管
—既設— —撤去—		既設配管切断撤去後、プラグ止め箇所を示す。	
—既設— —新設— (撤去)		既設配管切断撤去後、新設配管接続箇所を示す。(改修前因では、撤去配管を示す。)	
—X—X—		既設残置配管を示す。※撤去工事にて撤去の事。	



Memo

設計・監理
有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)
特記仕様書-3
Scale. N.S. Code.

Date. 2024.10 Draw. neo-m Section. No. 機械 03 / 16
1級建築士登録第175199号 小林一輝

衛生 機器一覧表

名称	記号	仕様	消費電力	参考品番 (TOTO)	参考品番 (LIXIL)	数量	便所A	便所B	プール棟
壁掛便器	C-1	パブリック向け。床置床排水便器。リモコン対応。掃除口付き。フラッシュバルブ式。附属金具一式。暖房便座。棚付二連紙巻器 (SUS製)。	1φ100V 52w	CFS494MCHNS, T56PH, HP4307, TCF116, YH701。	C-P25HM, CF-T7114A, CF-115-1, CF-115-2, CF-103BB, CF-18ALJ, CF-63HS。	12	9	3	-
壁掛便器	C-2	パブリック向け。床置床排水便器。リモコン対応。掃除口付き。フラッシュバルブ式。附属金具一式。普通便座。棚付二連紙巻器 (SUS製)。		CFS494MCHNS, TS153S, T56PH, HP4307, TC301, YH701。	C-P25HM, CF-T7114A, CF-115-1, CF-115-2, CF-103BB, CF-49AT, CF-51B, CF-63HS。	5	-	-	5
壁掛便器	C-3	パブリック向け。床置壁排水便器。掃除口付き。クイックタンク式。附属金具一式。温水洗浄暖房便座 (蓋なし・発電式リモコン (洗浄・操作))。棚付二連紙巻器 (ステンレス製)。	1φ100V 350w	CFS497BPC, Y9207, TCF5554AUPR, YH701。	BC-P110PMA, DQ-PA150PCH, CF-020-SET, CW-PA21LQE-NEC-R1, CF-11P, CF-63HS。	-	-	-	-
壁掛小便器	U-1	低リップ形。壁排水。節水。自動洗浄弁。排水ソケット (塩ビ管用)。	1φ100V	UFS900JS。	U-A51AP。	11	6	5	-
洗面カウンター	ML-1	カウンター: 1540L。一方エプロン。取付ブラケット。フロントパネル: 扉式。4枚。取っ手。洗面器 (2組): アンダーカウンター式。自動単水栓 (壁給水・止水栓付)。排水金具 (壁排水)。	1φ100V	ブレーション, ML55, M9P50A x3, MFT3, M261 x4, L530, TEL28SS1A, TLDP2105JA。	ベイツ, MB-600SS, MBF-620A x2, MBF-620B, MTP1-60C, L-2260, AM-300CV1, LF-105PAL, A-6224, LF-625K。	-	-	-	-
洗面カウンター	ML-2	カウンター: 1400L。一方エプロン。取付ブラケット。フロントパネル: 扉式。4枚。取っ手。洗面器 (2組): アンダーカウンター式。自動単水栓 (壁給水・止水栓付)。排水金具 (壁排水)。	1φ100V	ブレーション, ML55, M9P50A x3, MFT3, M261 x4, L530, TEL28SS1A, TLDP2105JA。	ベイツ, MB-600SS, MBF-620A x2, MBF-620B, MTP1-60C, L-2260, AM-300CV1, LF-105PAL, A-6224, LF-625K。	9	6	3	-
洗面カウンター	ML-3	カウンター: 1400L。二方エプロン。取付ブラケット。フロントパネル: 扉式。4枚。取っ手。サイドパネル。洗面器 (2組): アンダーカウンター式。自動単水栓 (壁給水・止水栓付)。排水金具 (壁排水)。	1φ100V	ブレーション, ML55, M9P50A x3, MFT3, M261 x4, L530, TEL28SS1A, TLDP2105JA。	ベイツ, MB-600SL, MBF-620A x2, MBF-620B, MTP1-60C, L-2260, AM-300CV1, LF-105PAL, A-6224, LF-625K。	1	-	1	-
壁掛洗面器	L-1	ハイバック形。自動単水栓 (止水栓付)。排水金具 (壁排水)。取付金具。	1φ100V	LSA125AN。	L-A951A2E, LF-30PAL, A-6223。	-	-	-	-
掃除用流し	SK-1	バック付。リムカバー。20mm送り座付桶水栓。アングル形止水栓 (給水ホース)。床排水金具 (ストラップ)。取付金具。		SK22A, TK22, T23AE20C, TN114, T37SGEP, T9R。	S-202A, LF-7E-19-U, SF-202, SF-20SAF-P, SF-10E。	9	6	3	-
オストメイトバック	SK-2	符来工事。	1φ100V	-	-	-	-
背もたれ	BR-1	壁掛便器: クイックタンク用。フレーム塗装。		EWC283CR。	KFC-275T1U。	-	-	-	-
L型手摺り	TR-1	700 x 700 x 120。樹脂被覆タイプ。取付金具。		T112CL10。	KF-920AE70D12J。	10	6	4	-
L型手摺り	TR-2	800 x 800 x 230 ~ 250。樹脂被覆タイプ。取付金具。		T112CL11。	KF-926AE80D25J。	-	-	-	-
はね上げ手摺り	TR-3	700 x 150 ~ 160。ロック付。樹脂被覆タイプ。取付金具。		T112HK7R。	KF-471EH70JU。	-	-	-	-
小便器用手摺り	TR-4	600 x 550 ~ 600 x 390 ~ 470。樹脂被覆タイプ。取付金具。		T112CU22。	KF-701AEJ。	5	3	2	-
化粧鏡	M-1	450 x 600。一般鏡。盗難防止取付金具。		YM4560AE。	KF-4560, A-669-2。	20	12	8	-
化粧鏡	M-2	360 x 1000 ~ 1100。取付金具。		YMK51K。	KF-3610AS。	-	-	-	-
手洗水栓	F-1	口径: 13mm。自動水栓。	1φ100V	TEL26SP1A。	AM-230CV1。	-	-	-	-
掃除用水栓	F-2	口径: 13mm。ホース接続。自動接手カップリング。		T28AUNH13。	LF-35-13-CV。	1	-	-	1

換気 機器一覧表

改修後【新設】										改修前【撤去】				接続ダクト
記号	名称	仕様	参考品番	消費電力	数量	便所A	便所B	プール棟	仕様	仕様				
FE-1	天井換気扇	φ150 x 340 m ³ /h。定風量タイプ。本体: 樹脂製。高密封風圧式シャッター。天吊金具。 ※既設機器取替	VD-20ZVC7	1φ100V 9.0w	22	6	4	-	KF-1: φ150天井換気扇。 換気扇本体のみ撤去とし屋外フードは既設利用。	φ150 撤去→新設。 外壁にて既設ダクトへ接続。				
FE-2	バイブファン	φ150 x 145 m ³ /h。壁取付。電気式シャッター。 附属品: 格子グリル。取付バイブ。SUS深形フード (ギャラリ付)。その他一式。	V-12PS8	1φ100V 6.5w	1	-	-	-						

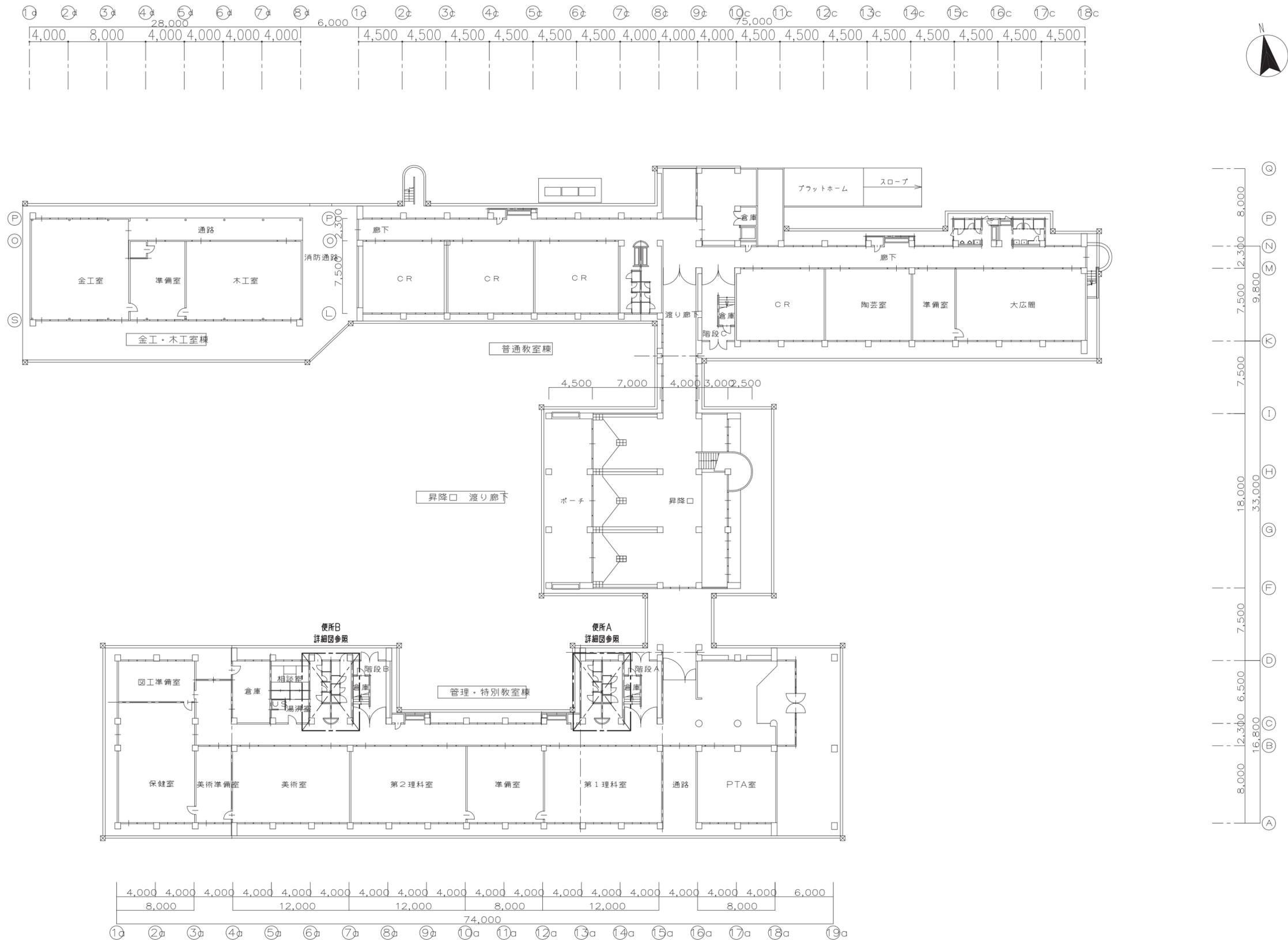


Memo

設計・監理
 株式会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事 (II期)
 衛生器具・換気機器一覧表
 Scale. N.S Code.

Date. 2024.10 Draw. neo-m Section. No. 機械 04 / 16
 1級建築士登録第175199号 小林一輝

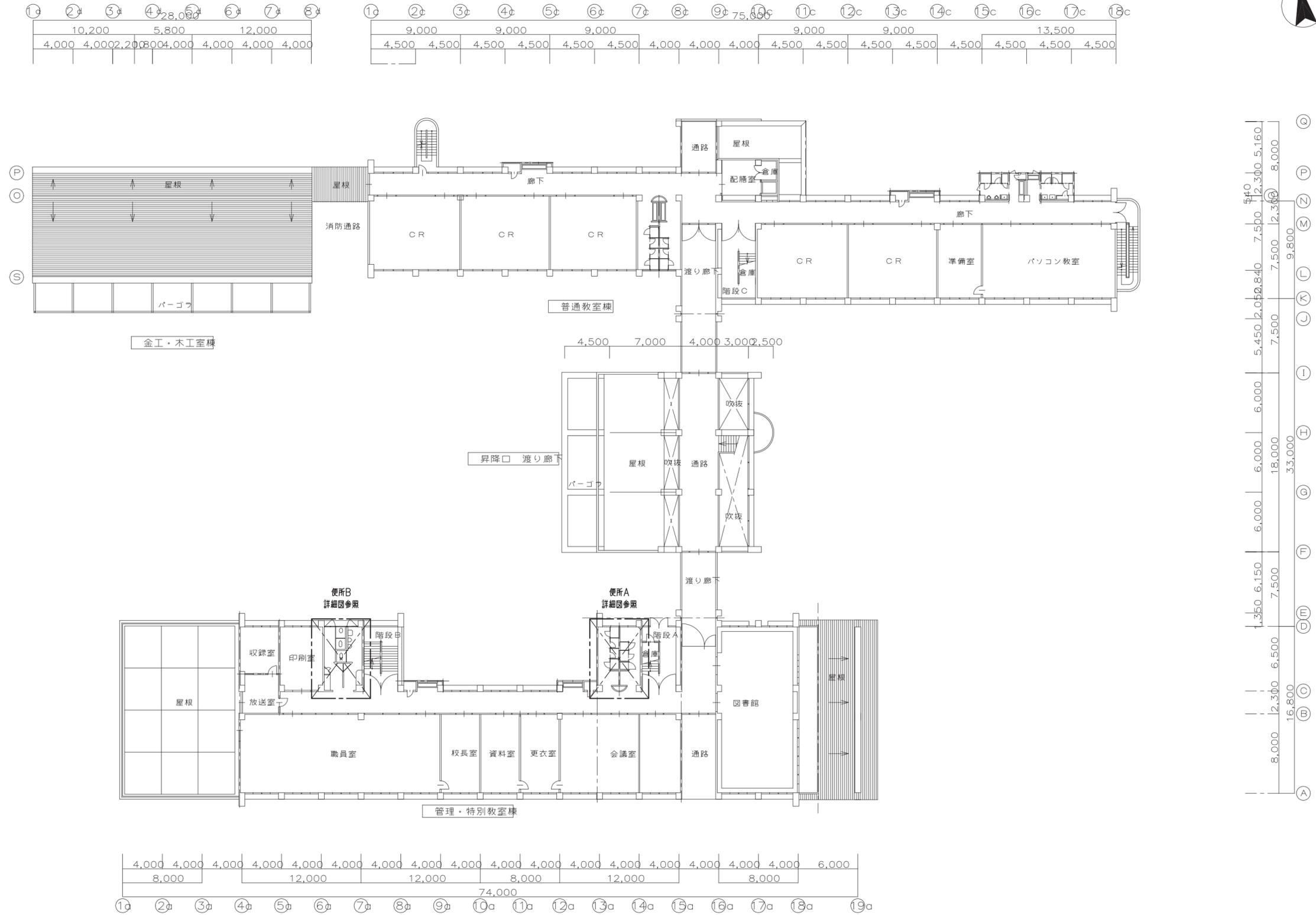


Memo

設計・監理
 株式会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)
 改修前 1階 平面図
 Scale. A2:1/300 A3:x70% Code.

Date. 2024.10 Draw. neo-m Section. No. 機械 05 / 16
 1級建築士登録第175199号 小林一輝

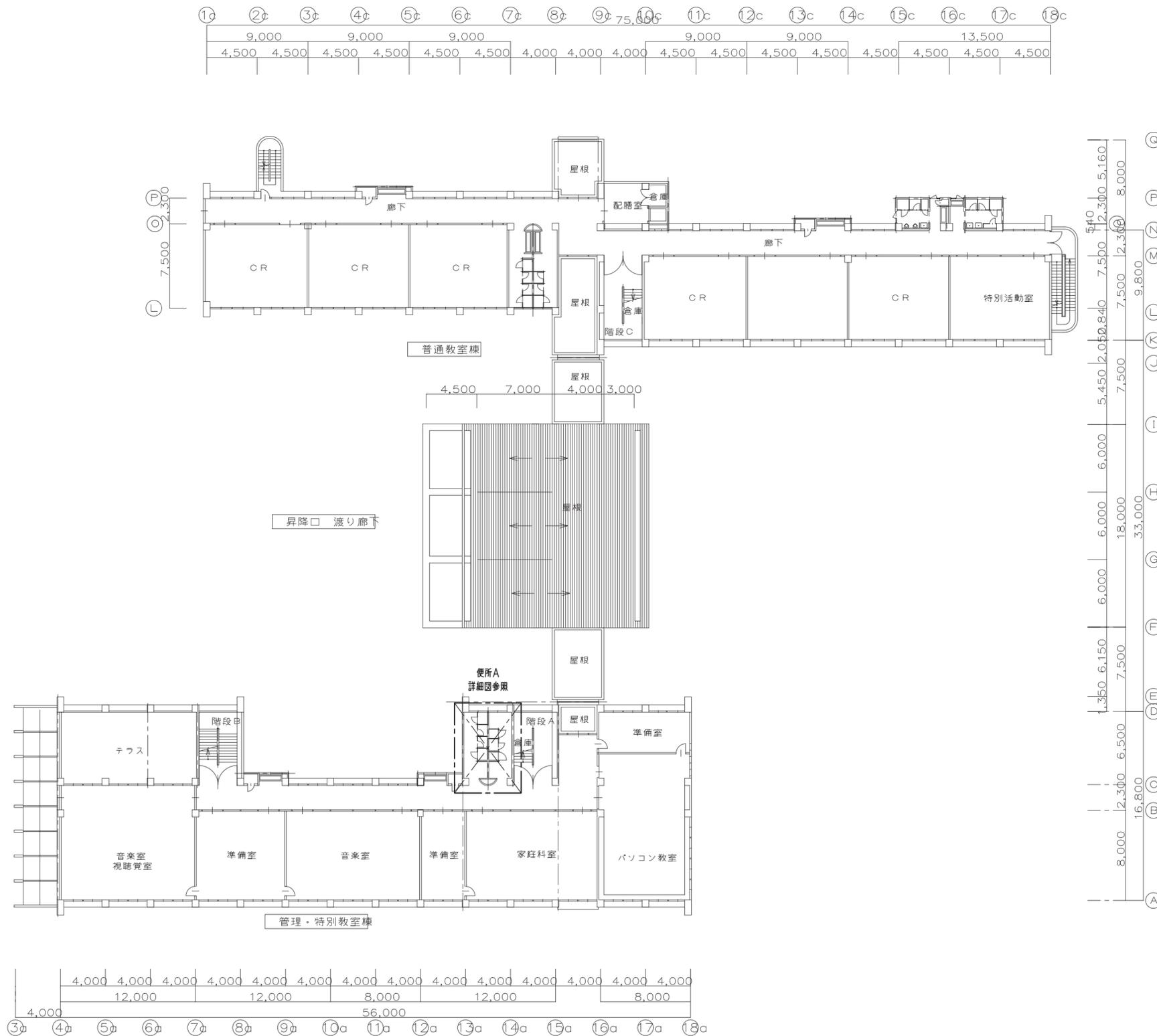


Memo

設計・監理
 株式会社 小林建築設計事務所

Project: 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)
 改修前 2階 平面図
 Scale: A2:1/300 A3:x70% Code.

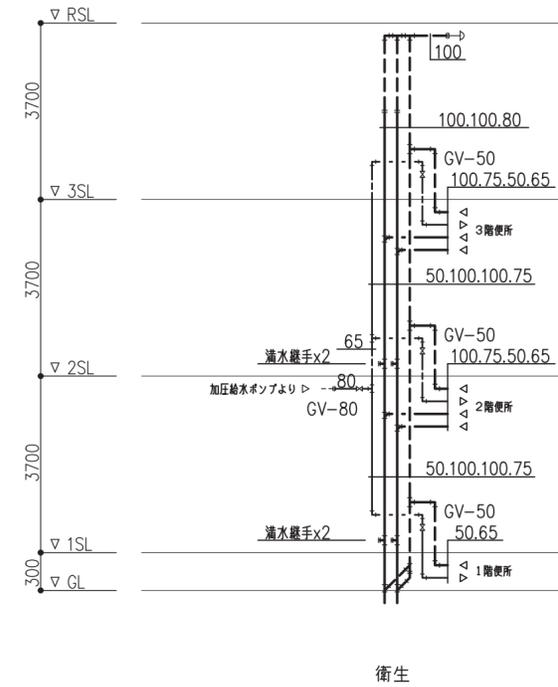
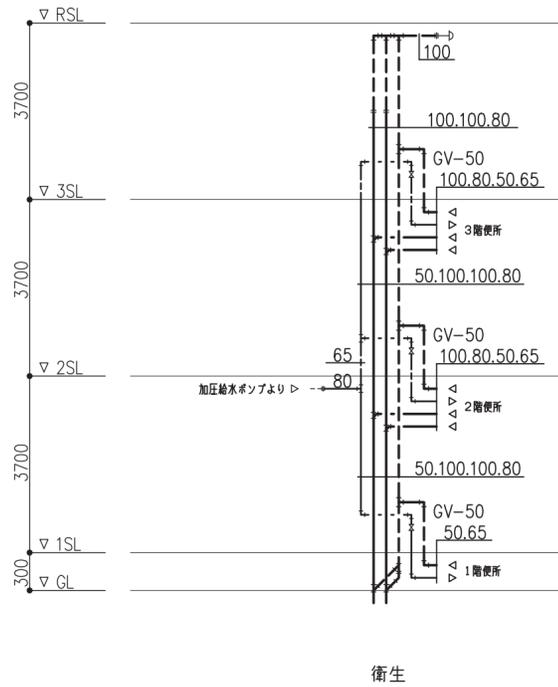
Date: 2024.10 Draw: neo-m Section: 機械 No. 06 / 16
 1級建築士登録第175199号 小林一輝



Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project.	可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)	Date.	2024.10	Draw.	neo-m	Section.	機械	No.	07 / 16
改修前 3階 平面図									
Scale.	A2:1/300 A3:x70%	Code.	1級建築士登録第175199号 小林一輝						



Memo

設計・監理
 株式会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)

便所 A 改修前・後 系統図

Scale. N.S

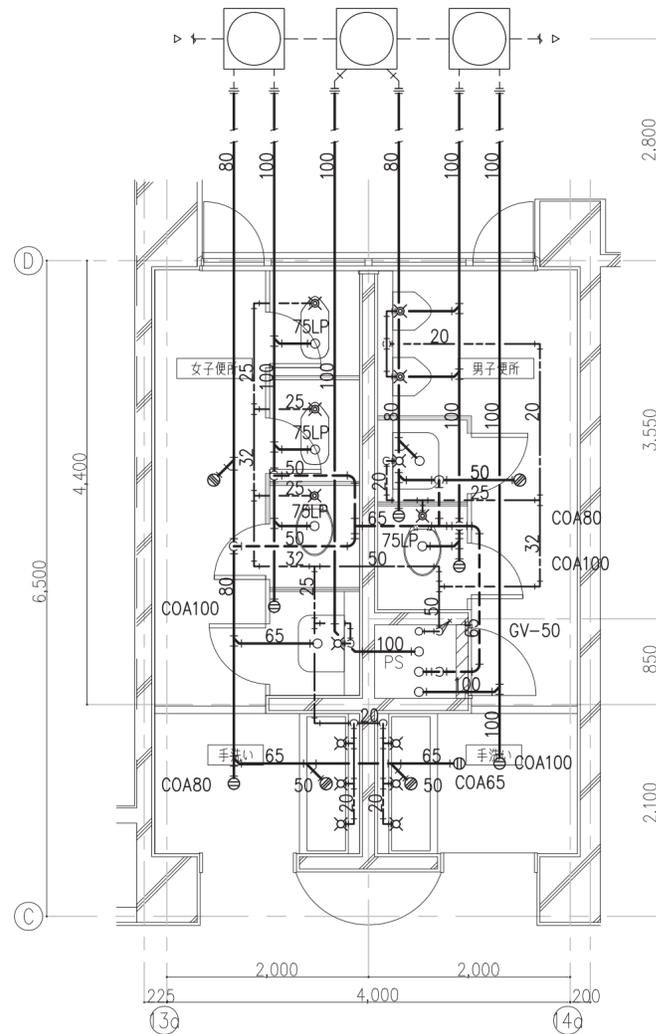
Code.

Date. 2024.10

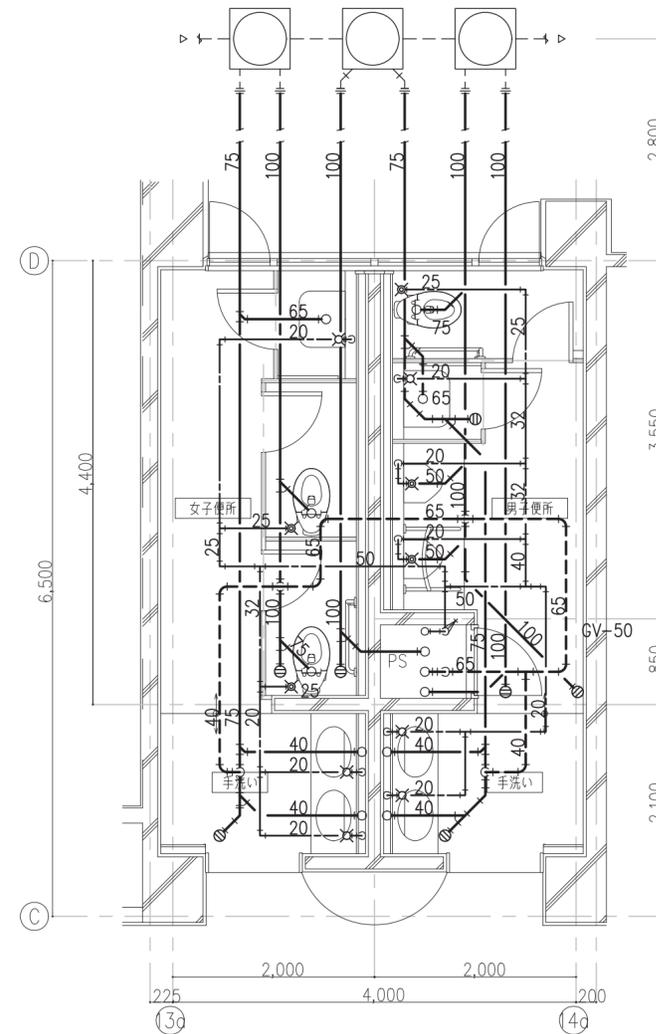
Draw. neo-m

Section. No. 機械 08 / 16

1級建築士登録第175199号 小林一輝



※1 PS内配管は系統図参照



※1 PS内配管は系統図参照
 ※2 床上掃除口はCIR型とし口径は全て65Aとする。

便所		女子	男子	種別
壁掛便器	FV式・附属品共	1	1	撤去・処分
L型手すり		1	1	撤去・処分
和風便器	FV式・附属品共	2	-	撤去・処分
壁掛小便器	FV式・附属品共	-	2	撤去・処分
掃除用流し	バック付・附属品共	1	1	撤去・処分
手洗い流し	【建築工事】	1	1	撤去・処分
単水栓	13mm	3	3	撤去・処分
化粧鏡	350x450	2	2	撤去・処分
排水金具	T14A-50	1	1	撤去・処分
排水金具	T5A-50	1	1	撤去・処分

便所		女子	男子	種別
壁掛便器	C-1	2	1	新設
L型手すり	TR-1	1	1	新設
壁掛小便器	U-1	-	2	新設
小便器用手すり	TR-4	-	1	新設
洗面カウンター	ML-2	1	1	新設
化粧鏡	M-1	2	2	新設
掃除用流し	SK-1	1	1	新設



Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可見市立東可見中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）

便所 A 衛生 改修前・後 1階平面図

Scale. A2:1/50 A3:x70%

Date.

2024.10

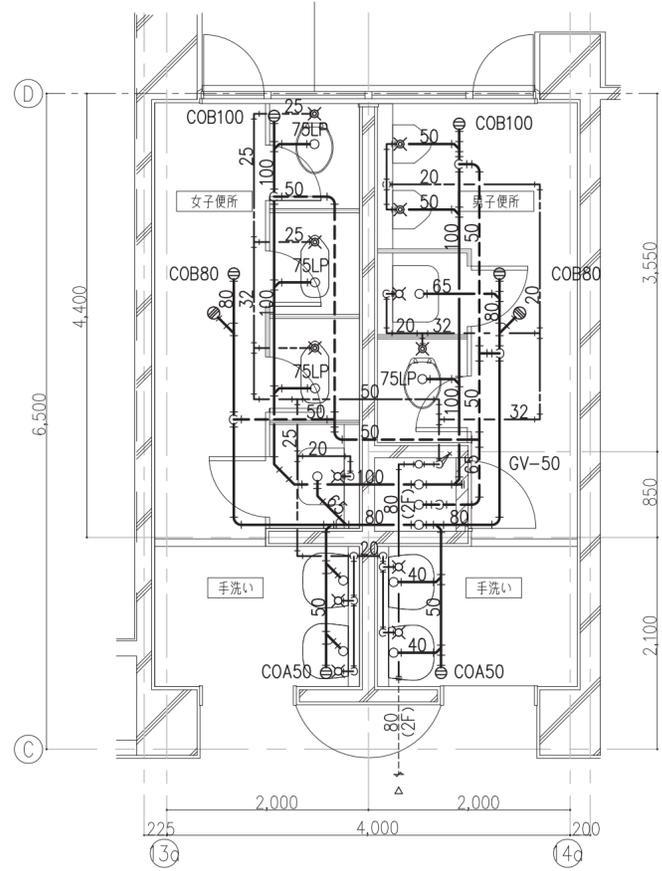
Draw.

neo-m

Section. No.

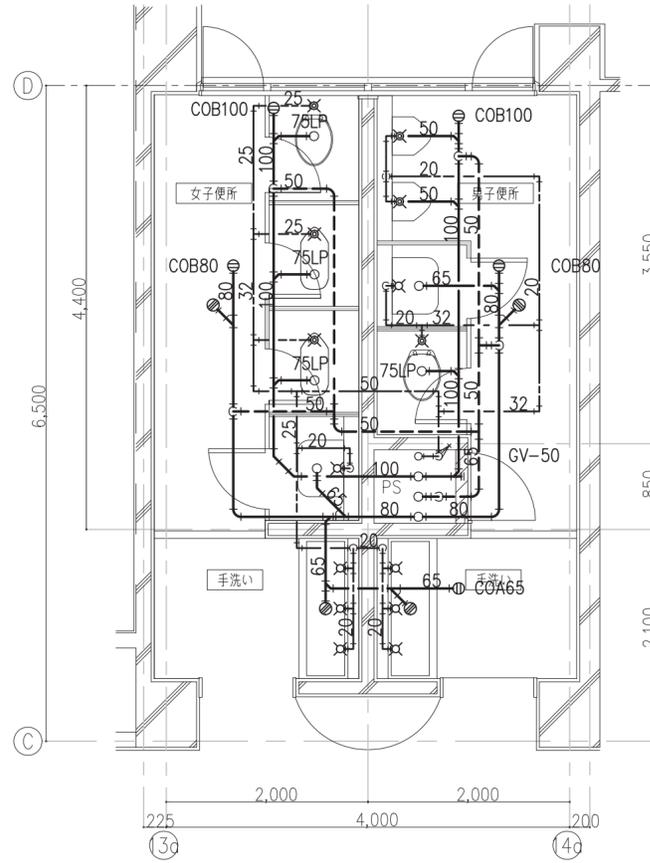
機械 09 / 16

1級建築士登録第175199号 小林一輝

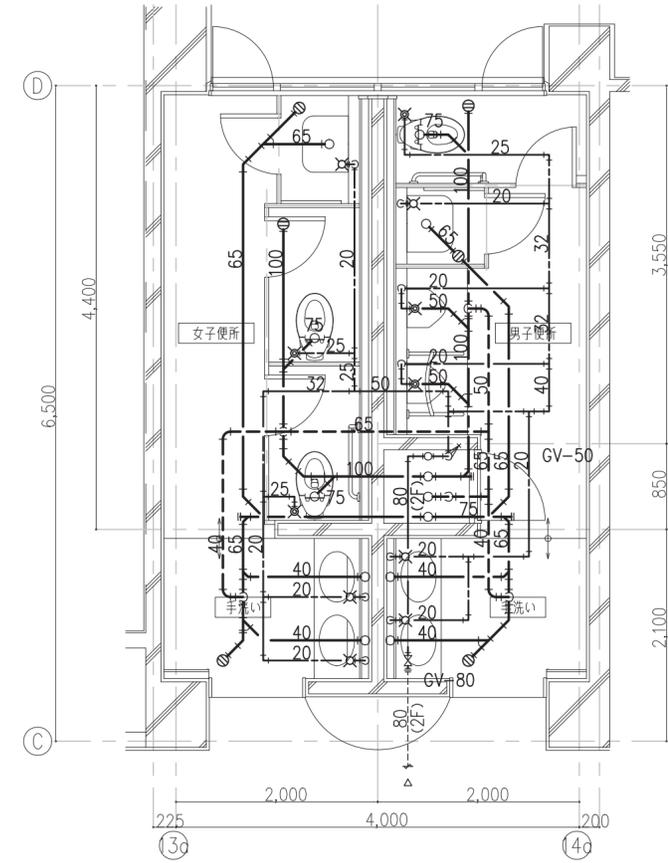


2階

※1 PS内配管は系統図参照



3階



※1 PS内配管は系統図参照

※2 床上柵除口はCIR型とし口径は全て65Aとする。

便所		2階		3階		種別
		女子	男子	女子	男子	
腰掛便器	FV式・附属品共	1	1	1	1	撤去・処分
L型手すり		1	1	1	1	撤去・処分
和風便器	FV式・附属品共	2	-	2	-	撤去・処分
壁掛小便器	FV式・附属品共	-	2	-	2	撤去・処分
柵除用流し	バック付・附属品共	1	1	1	1	撤去・処分
壁掛洗面器	ハンドル水栓・附属品共	2	2	-	-	撤去・処分
手洗い流し	【建築工事】	-	-	1	1	撤去・処分
単水栓	13mm	-	-	3	3	撤去・処分
化粧鏡	350x450	2	2	2	2	撤去・処分
排水金具	T14A-50	-	-	1	1	撤去・処分
排水金具	T5B-50	1	1	1	1	撤去・処分

便所 (x2)		女子	男子	種別
腰掛便器	C-1	2	1	新設
L型手すり	TR-1	1	1	新設
壁掛小便器	U-1	-	2	新設
小便器用手すり	TR-4	-	1	新設
洗面カウンター	ML-2	1	1	新設
化粧鏡	M-1	2	2	新設
柵除用流し	SK-1	1	1	新設



Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

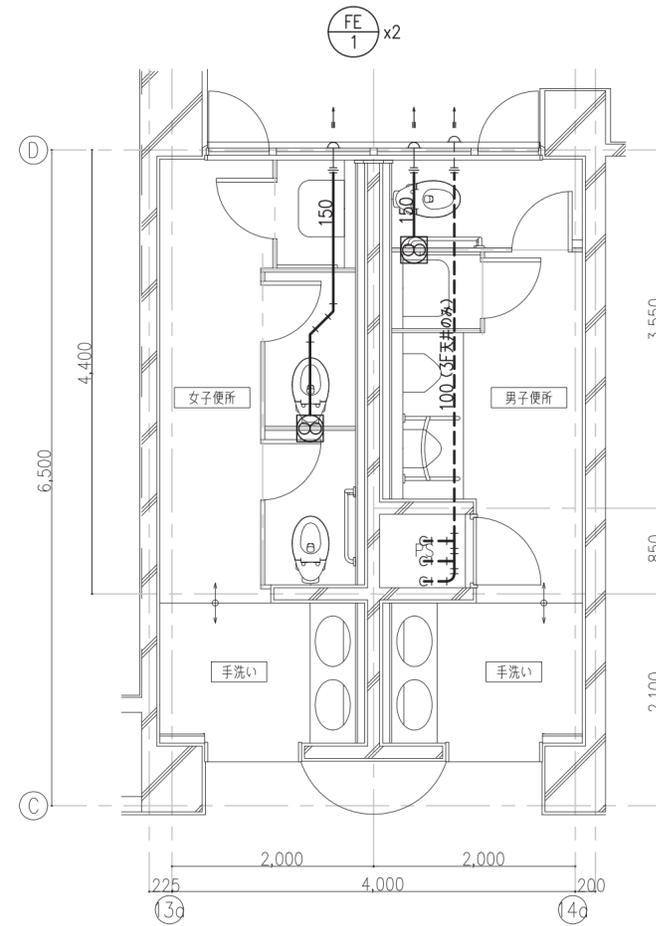
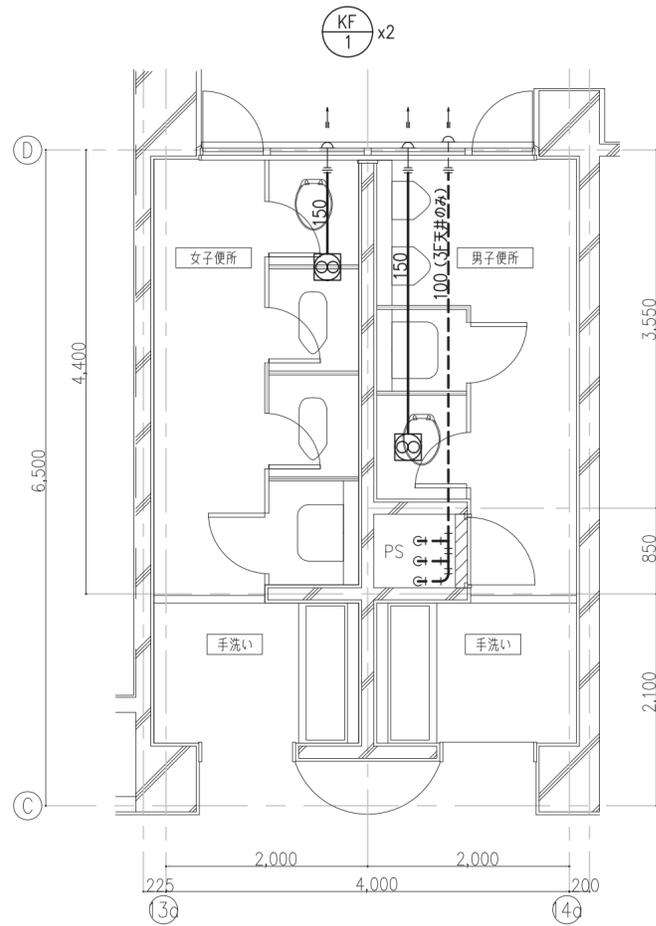
Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事 (II期)

便所A 衛生 改修前・後 2・3階平面図

Scale. A2:1/50 A3:x70%

Date. 2024.10 Draw. neo-m Section. No. 機械 10 / 16

1級建築士登録第175199号 小林一輝



Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事（Ⅱ期）

便所A 空調 改修前・後 1~3階平面図

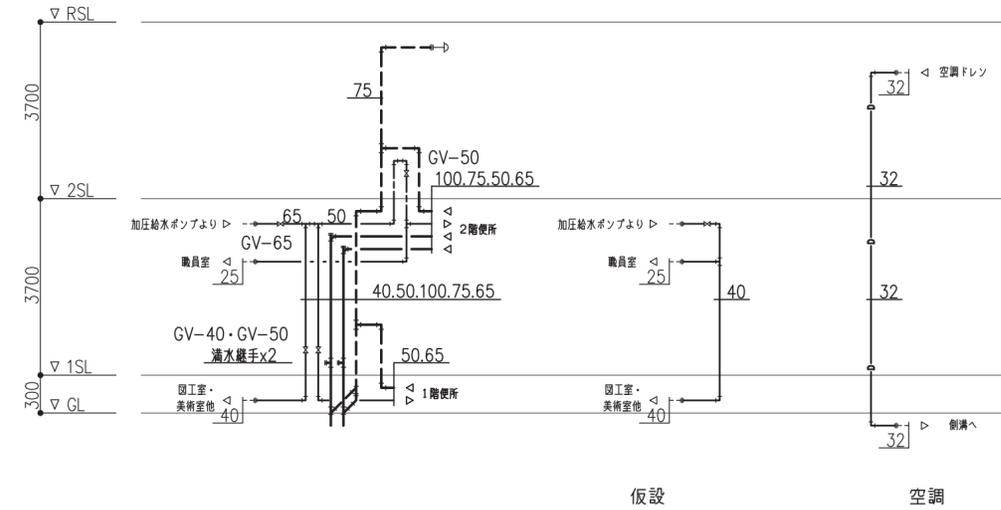
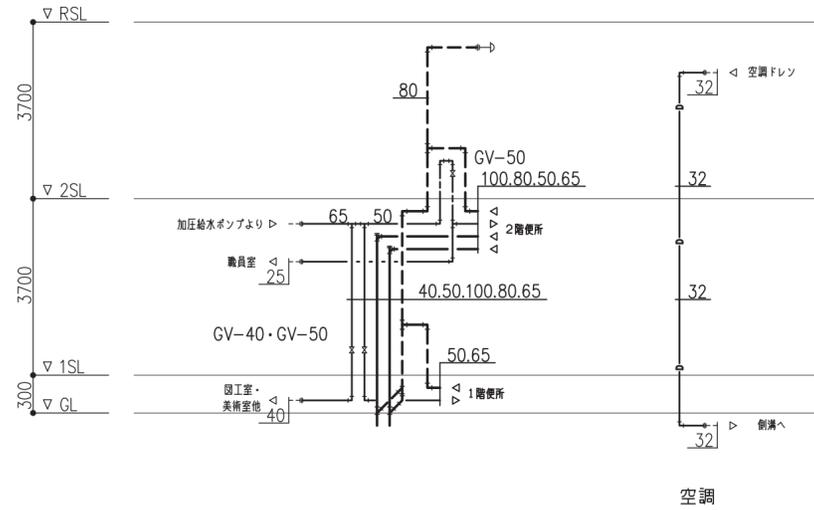
Scale. A2:1/50 A3:x70% Code.

Date. 2024.10

Draw. neo-m

Section. No. 機械 11 / 16

1級建築士登録第175199号 小林一輝

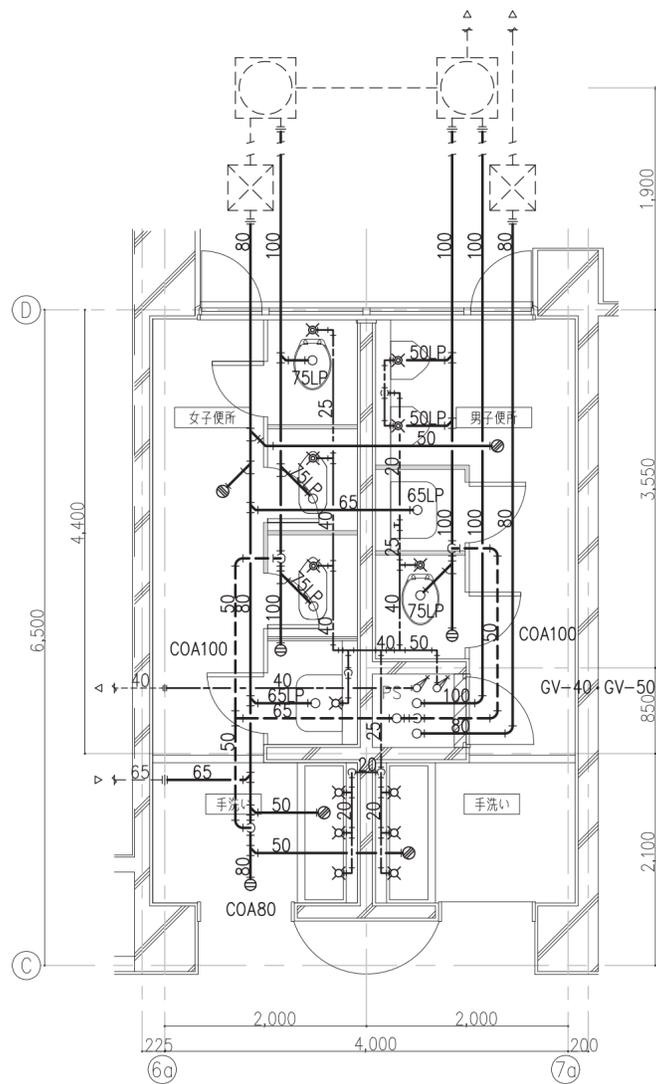


※仮設配管は工事完了後、撤去の事。

Memo

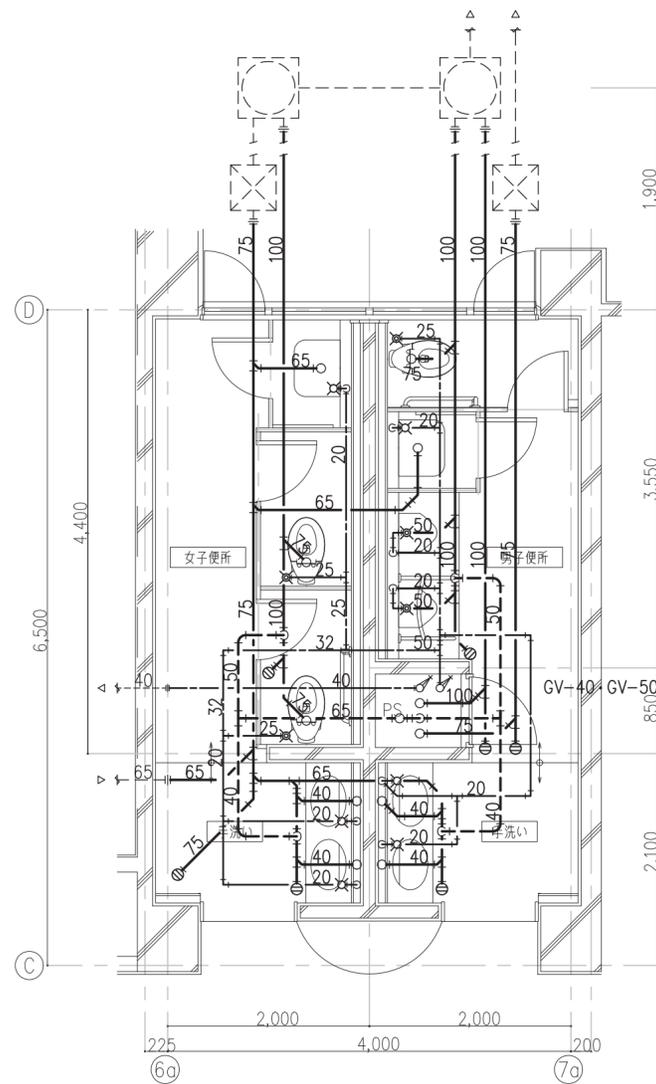
設計・監理
 株式会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事（Ⅱ期）	Date. 2024.10	Draw. neo-m	Section. 機械	No. 12 / 16
Scale. N.S	Code. 1級建築士登録第175199号 小林一輝			



※1 PS内配管は系統図参照

便所		女子	男子	種別
懸掛便器	FV式・附属品共	1	1	撤去・処分
L型手すり		1	1	撤去・処分
和風便器	FV式・附属品共	2	-	撤去・処分
壁掛小便器	FV式・附属品共	-	2	撤去・処分
掃除用流し	バック付・附属品共	1	1	撤去・処分
手洗い流し	【建築工事】	1	1	撤去・処分
単水栓	13mm	3	3	撤去・処分
化粧鏡	350x450	3	3	撤去・処分
排水金具	T14A-50	1	1	撤去・処分
排水金具	T5A-50	1	1	撤去・処分



※1 PS内配管は系統図参照
 ※2 床上掃除口はCIR型とし口径は全て65Aとする。

便所		女子	男子	種別
懸掛便器	C-1	2	1	新設
L型手すり	TR-1	1	1	新設
壁掛小便器	U-1	-	2	新設
小便器用手すり	TR-4	-	1	新設
洗面カウンター	ML-2	1	1	新設
化粧鏡	M-1	2	2	新設
掃除用流し	SK-1	1	1	新設



Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事(Ⅱ期)

便所B 衛生 改修前・後 1階平面図

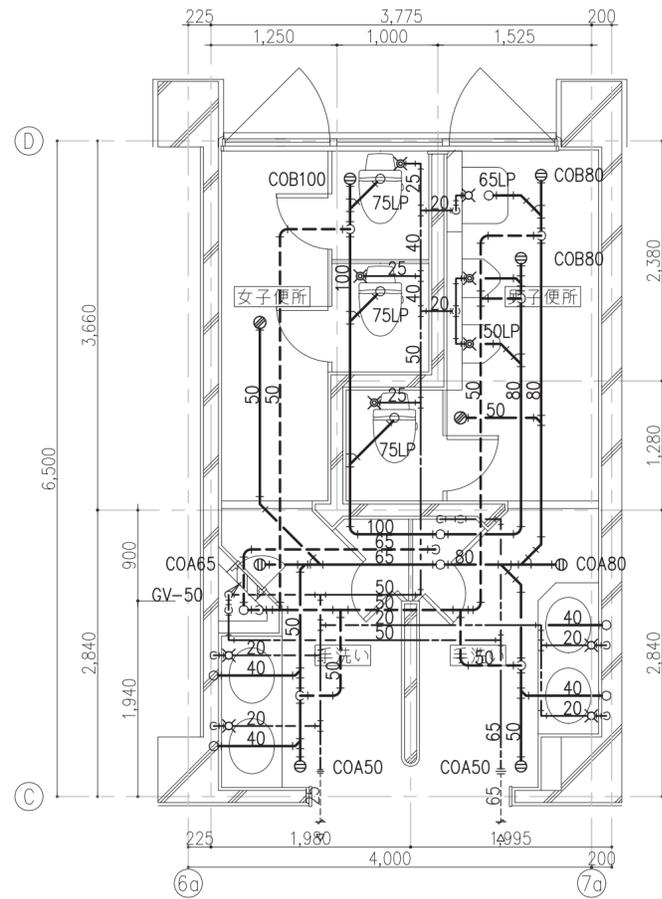
Scale. A2:1/50 A3:x70%

Date. 2024.10

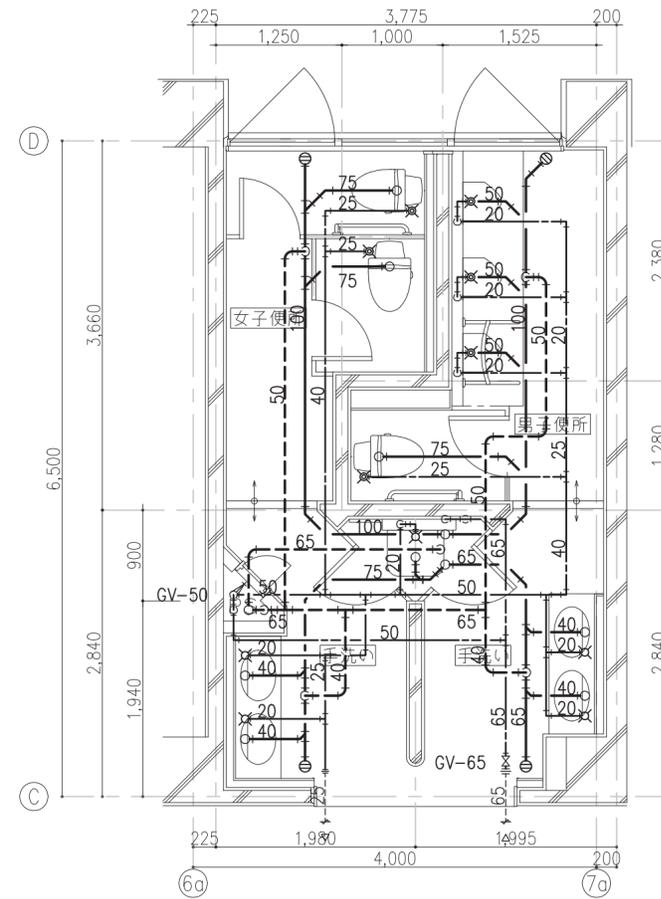
Draw. neo-m

Section. No. 機械 13 / 16

1級建築士登録第175199号 小林一輝



※1 PS内配管は系統図参照



※1 PS内配管は系統図参照

※2 床上掃除口はCIR型とし口径は全て65Aとする。

便所		女子	男子	種別
腰掛便器	FV式・附属品共	2	1	取外・再利用
壁掛小便器	FV式・附属品共	-	2	撤去・処分
掃除用流し	バック付・附属品共	-	1	撤去・処分
洗面カウンター	1500L	1	1	撤去・処分
	下部キャビネット はめ込み洗面器 x 2			
化粧鏡	一面鏡	1	1	撤去・処分
排水金具	T5B-50	1	1	撤去・処分

便所		女子	男子	種別
腰掛便器	既設品	2	1	再取付
L型手摺り	TR-1	1	1	新設
壁掛小便器	U-1	-	3	新設
小便器用手摺り	TR-4	-	1	新設
洗面カウンター	ML-2	1	-	新設
洗面カウンター	ML-3	-	1	新設
化粧鏡	M-1	2	2	新設
掃除用流し	SK-1	1		新設



Memo

設計・監理
 株式会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事(Ⅱ期)

便所B 衛生 改修前・後 2階平面図

Scale. A2:1/50 A3:x70%

Date.

2024.10

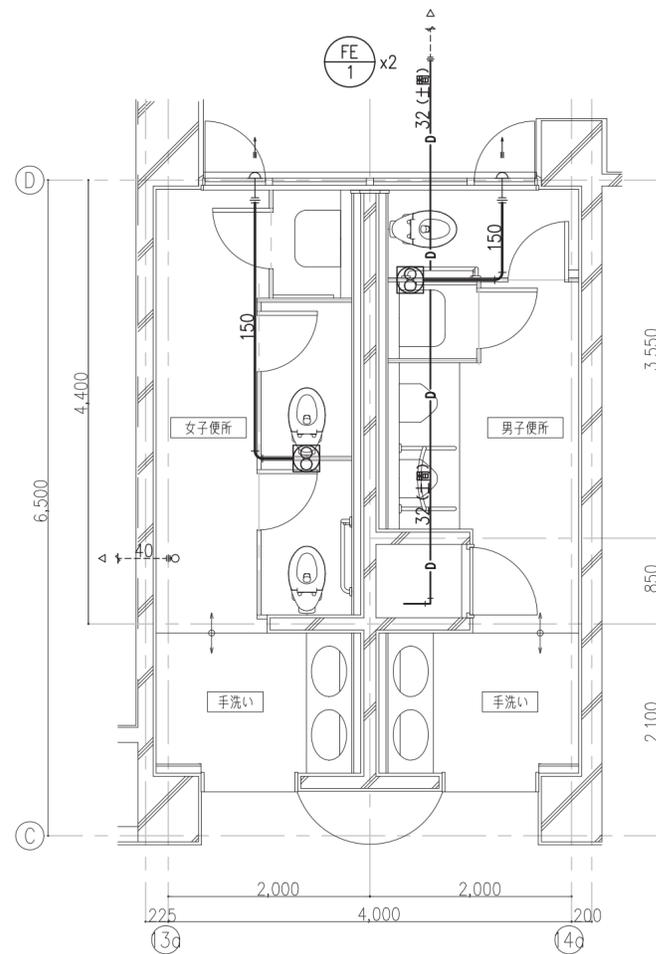
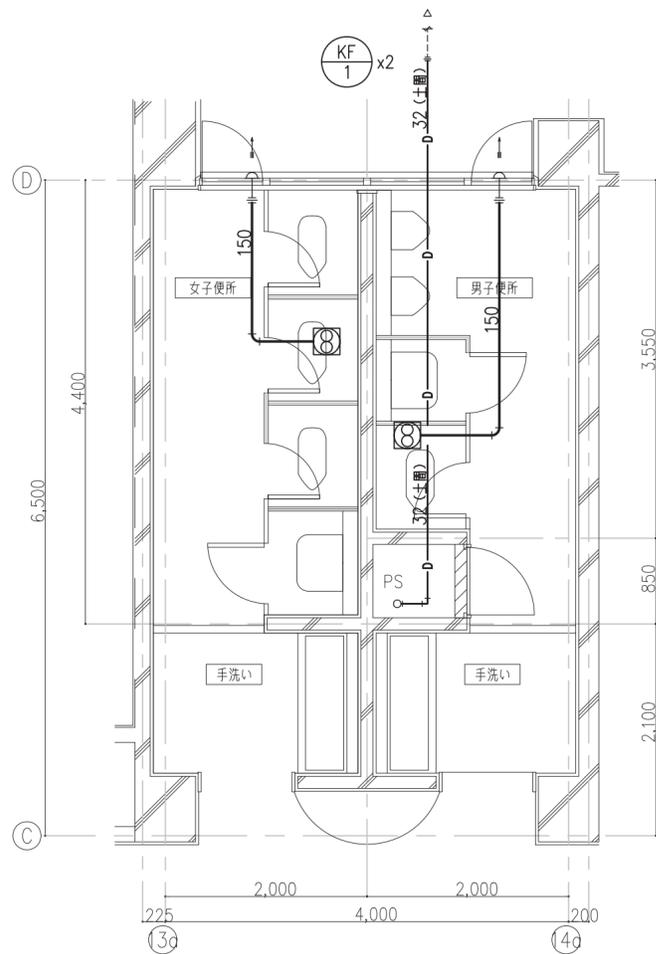
Draw.

neo-m

Section. No.

機械 14 / 16

1級建築士登録第175199号 小林一輝



Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改修工事 (Ⅱ期)

便所B 空調 改修前・後 1階平面図

Scale. A2:1/50 A3:x70% Code.

Date.

2024.10

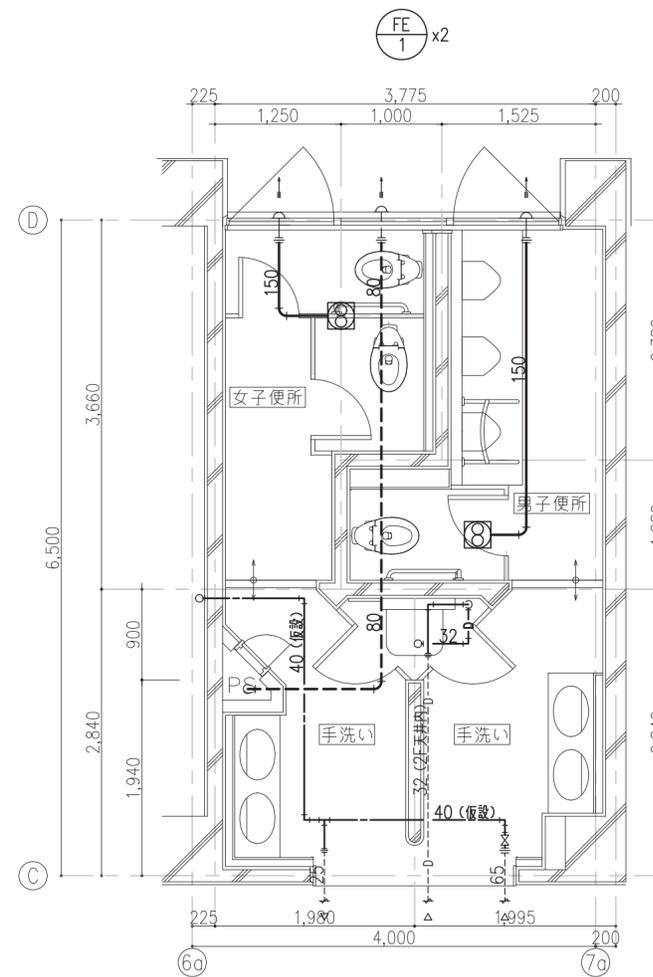
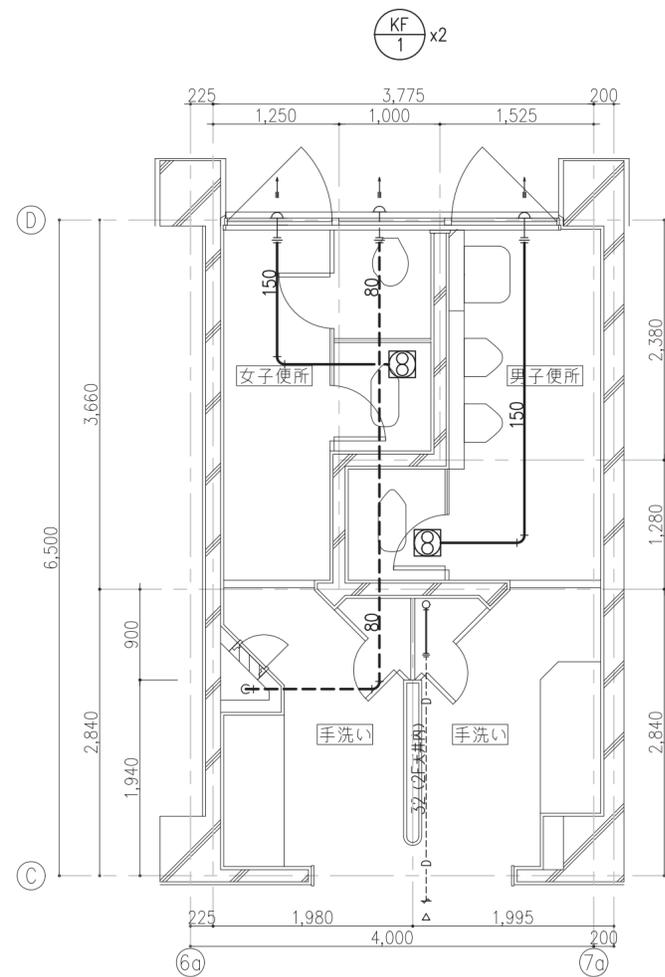
Draw.

neo-m

Section. No.

機械 15 / 16

1級建築士登録第175199号 小林一輝



Memo

設計・監理
 有限会社 小林建築設計事務所

Project. 可児市立東可児中学校トイレ大規模改造工事 (Ⅱ期)
 便所B 空調 改修前・後 2階平面図
 Scale. A2:1/50 A3:x70% Code.

Date.	Draw.	Section.	No.
2024.10	neo-m	機械	16 / 16

1級建築士登録第175199号 小林一輝